令和２年度決算主要事業の概要
令和２年度決算事業等説明資料

◆地方自治法第 233 条第５項に規定する「主要な施策の成果を説明する資料」

令和２年度主要事業の概要・・・Ｐ１

令和２年度決算事業等説明資料・・・Ｐ36

京都府　宮津市

令和２年度決算(案)　主要事業の概要

※事業の番号に〇がついているものは、別添の「令和２年度決算　事業等説明資料」での説明があるもの。

■「安全・安心で健やかな」暮らしの実現

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
1		地域防犯の推進 （行政事務事業）	1,518	1,300	1,300,000	882,970	◆市による防犯カメラ設置（由良、府中） ※市内設置　R元3箇所と合わせ累計5箇所	総　務　課
	充実	地域生活を支える交通対策						
②	充実	公共交通空白地有償運送支援事業	740	当初予算 7,706 R2.6補正 600 R2.9補正 1,400	9,901,000	6,569,618	◆住民主体の公共交通空白地有償運送)上宮津有償運送運営協議会･橋北移送サービス運営協議会、由良有償運送運営協議会)への支援 ◆栗田地区のタクシー輸送サービス(200円タクシー)の運行開始	企　画　課
		地方バス路線運行維持対策事業	45,028	当初予算 46,658 R3.3補正 18,462	65,120,000	63,327,021	◆地方バス路線（幹線、枝線）維持のための支援 ※幹線…４路線 ※枝線…R元.10～R2.3分　６路線 R2.4～R2.9分　3路線	企　画　課
	充実	総合的な健康寿命延伸対策						
③	充実	いきいき健康長寿のまち“みやづ”推進事業	40,445	29,389	28,127,000	27,578,628	◆健康診査･がん検診の実施 ◆保健事業充実（健診項目追加、健康課題の分析、高齢者サロンでの指導　ほか） ◆健康相談、食生活改善推進員の活動支援　等	健康・介護課
4		人間ドック助成事業 〈国民健康保険事業特別会計〉 〈後期高齢者医療特別会計〉	15,204	14,942	14,942,000	12,391,840	◆人間ドック受診助成　304件	税務・国保課
⑤		スポーツ振興事業	5,086	5,800	5,134,000	2,838,874	◆第２期宮津市スポーツ推進計画に基づく「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」への取組 ・「SOMPOボールゲームフェスタ」との共催による市民スポーツDAY、全国規模大会等開催支援ほか	企　画　課
⑥	充実	市民体育館整備事業	1,877	4,500	5,166,000	5,108,972	◆スポーツ振興くじ助成金を活用したトレーニング室機器（サーキットステーション）更新ほか	企　画　課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
7		新し尿処理施設整備準備事業	10,698	20,548	20,548,000	6,435,710	◆新し尿処理施設整備に向けた基本設計等	上下水道課 市民環境課
8	新規	ため池ハザードマップの作成 （農業基盤整備事業）	―	2,541	2,618,000	2,618,000	◆防災重点ため池に係るハザードマップ作成 （国分、田原）	農林水産課
9	新規	未就学児等緊急交通安全対策事業	―	17,867	17,961,000	17,959,700	◆未就学児集団移動経路安全対策工事 ◆道路法面防災減災対策業務委託	土木管理課
10	新規	河川整備事業	―	120,000	118,666,000	56,458,285	◆滝馬川改修工事（緊急自然災害防止対策事業）	土木管理課
11	充実	日置地区公民館の移転整備 （公民館整備事業）	1,257	88,600	88,820,000	88,819,510	◆旧日置中学校を活用した日置地区公民館移転整備	社会教育課
12	新規	災害に強い森づくり事業	―	R2.6補正 3,500	3,503,000	3,501,280	◆国分地区（仏川）における治山事業 【全体計画】R2～R3年度 R2：森林整備（竹林整備）、測量設計等	農林水産課

■未来を育む「教育と子育て支援」の充実

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
13		国際交流推進事業	684	当初予算 364 R2.9補正 △ 265	99,000	99,000	◆日本語支援ボランティア養成講座の開催	総　務　課
14	充実	子育ての輪づくり支援 (地域子育て支援事業)	14,458	当初予算 16,418 R2.9補正 1,000	15,370,000	15,320,905	◆地域子育て支援拠点（にっこりあ）の運営 ◆ファミリー･サポート･センターの運営 ◆子育て世帯の交流事業実施、LINEによる子育て情報の発信	社会福祉課
15		病児・病後児保育施設運営事業	1,689	2,616	579,000	578,352	◆宮津市、伊根町、与謝野町の共同実施による病児・病後児保育施設「りりふる」の運営	社会福祉課
再掲	新規	未就学児等緊急交通安全対策事業	―	17,867	17,961,000	17,959,700	◆未就学児集団移動経路安全対策工事 ◆道路法面防災減災対策業務委託	土木管理課
16	充実	小中一貫教育推進事業	11,261	11,289	11,345,000	11,281,917	◆小中一貫教育の推進（質の高い学力の充実･向上） ・栗田学院、宮津学院本格実施 ・小中一貫教育専門職員 ・学力サポートコーディネーターの配置　ほか	学校教育課
17		スクールバス運行事業	52,909	55,672	53,887,000	49,867,827	◆専用スクールバス等の運行	学校教育課
18	充実	のびのび放課後クラブ事業	59,116	当初予算 36,599 R2.9補正 1,893	38,492,000	36,021,655	◆市設置のびのび放課後児童クラブの運営 吉津について学校敷地内に新規開設 ◆臨時休校中の特別開設に係る経費	学校教育課
再掲		スポーツ振興事業	5,086	5,800	5,134,000	2,838,874	◆第２期宮津市スポーツ推進計画に基づく「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」への取組 ・「SOMPOボールゲームフェスタ」との共催による市民スポーツDAY、全国規模大会等開催支援ほか	企　画　課
19	新規	幼稚園給食導入に向けて （学校給食運営事業）	―	当初予算 1,500 R2.9補正 28,300	30,390,000	30,374,900	◆令和3年度幼稚園給食導入に向けた準備経費 （実施設計） ◆令和3年度からの幼稚園給食開始に向けた給食配膳室等の整備、給食用備品の購入等	学校教育課

■地域経済の「活性化と持続的発展」

（単位:千円）

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
20	充実	強い農業づくり支援事業 （元気な営農推進事業と里の地域資源活用事業を統合）	26,630	当初予算 7,623 R2.12補正 1,000	8,604,000	7,686,752	◆AI・ICT等先端技術の生産現場への実装及び需要に対応した米の生産に係る農業用機械の導入に対する支援 ◆オリーブの栽培・加工技術及び品質の向上を図る取組に対する支援 ◆地域おこし協力隊の配置及び起業等支援	農林水産課
21		新規就農者育成支援事業	5,709	10,230	9,750,000	8,970,972	◆人･農地プラン策定地域等における農業次世代人材投資資金の支給 ◆就農研修資金償還助成	農林水産課
22	充実	強い水産業づくり支援事業 （海の地域資源活用事業から名称変更）	2,820	1,894	1,893,000	1,608,000	◆府補助金の活用による生産性の向上等を図るスマート技術導入支援 ◆水産振興の取組（岩がき育成筏や原木魚礁の設置など)に対する支援	農林水産課
23		新規就漁者育成支援事業	495	1,495	1,495,000	1,495,000	◆新規漁業就業者の育成及び若手･中堅漁業者の経営力向上を図る実践型研修機関「海の民学舎」の運営 ◆担い手用漁船リース事業への支援	農林水産課
24	充実	浜町にぎわいづくり推進事業	58,292	当初予算 33,989 R2.12補正 3,500	37,489,000	33,975,111	◆道の駅「海の京都　宮津」及び立体駐車場の運営 ※立体駐車場24時間営業開始、指定管理運営開始 ※観光客受入体制の整備(平面駐車場区画増等･地方創生臨時交付金活用)を含む(一部繰越)	商工観光課
25		魅力ある商いづくり事業 （農水商工観連携事業と魅力あるまち“みやづ”にＵＩＪターン推進事業の一部を統合）	—	当初予算 6,804 R3.3補正 6,000	12,604,000	6,274,000	◆空き家等店舗改修支援　4件、4,470千円 ◆特産品等振興事業助成　1,000千円 ◆大和学園連携事業　804千円	商工観光課
26	新規	大河ドラマ「麒麟がくる」ゆかりの地観光推進事業	—	3,000	3,000,000	2,969,628	◆大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会負担金 ◆宮津市推進協議会による情報発信、誘客推進事業等に対する補助金	商工観光課
27	新規	食の魅力づくり推進事業	—	R3.3補正 3,172	2,348,000	2,348,000	◆観光商業施設等の食の魅力向上の取組支援 ・海の京都 宮津（厨房機材の導入等）　1,373千円 ・ととまーと（水槽導入）　975千円	商工観光課

■地域の宝を活かした「魅力づくりとプロモーション」強化

（単位:千円）

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
	充実	シティプロモーションの強化						
28	新規	シティプロモーション事業	—	当初予算 10,000 R2.9補正 6,000 R3.3補正 1,300	17,820,000	13,471,234	◆ホームページリニューアル ◆デジタルコンテンツの制作 ◆シティプロモーションの推進	企　画　課
		広報活動事業	6,407	6,067	6,067,000	5,867,497	◆広報誌の発行 ◆動画コンテンツの制作･発信、ＳＮＳの活用	企　画　課
29	充実	宮津湾にぎわいづくり促進事業	200	600	600,000	328,630	◆宮津湾の賑わいづくりに向けた検討 ◆Ｂ＆Ｇ艇庫の管理	企　画　課
30	新規	「自然との共生」による環境施策の推進 （持続可能な環境政策推進計画策定事業）	—	5,825	3,445,000	148,882	◆第2期宮津市地球温暖化防止計画の期間満了に伴う新たな環境政策推進計画の策定	市民環境課
31		丹後ちりめん創業300年事業	109	153	153,000	109,000	◆丹後ちりめん創業300年事業実行委員会への負担金	商工観光課
32	新規	もうひとつの京都「光のアトリエ」支援事業	—	2,000	2,000,000	2,000,000	◆京都府「日本博府域展開アート・プロジェクト」との連携による夜のライトアップ事業	商工観光課
33		インバウンド推進事業	649	2,700	2,700,000	282,000	◆世界で最も美しい湾クラブ活動 ・プロモーションの実施（リーフレットの増刷など）	商工観光課
34		天橋立の「国内暫定リスト」入りを目指して （世界遺産登録推進事業）	1,416	1,414	1,414,000	1,152,000	◆天橋立を世界遺産にする会の活動支援（補助金交付） ・研究及び普及啓発事業（講座・パネル展開催等） ・機運醸成活動（ＰＲ活動等）	社会教育課
35	新規	文化財保存活用地域計画の策定に向けて （文化財保護・活用推進事業）	—	2,500	2,162,000	1,500,000	◆文化財の保護、活用に係るマスタープラン策定 ・事前把握（市内文化財の調査データの整理等） ・調査事業（市民の地域文化財に係る意識調査）	社会教育課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
36	新規	東京2020オリンピック聖火リレー事業 東京2020パラリンピック聖火リレー事業	―	当初予算 5,250 R2.9補正 △ 3,930	1,320,000	1,320,000	◆東京2020オリンピック聖火リレー準備 ◆東京2020パラリンピック聖火リレー準備 ※聖火リレーの延期	企　画　課

■「関係人口創出」を核とする移住・定住対策

（単位:千円）

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
37	充実	魅力あるまち“みやづ”にＵＩＪターン推進事業	12,835	当初予算 15,377 R2.9補正 4,400	19,777,000	12,920,126	◆サポートセンターの運営と広域連携事業の展開 ◆空家改修補助金（8件） ◆総合的な空家空地対策の推進 ◆地域おこし協力隊募集経費	企　画　課
38		次世代人材育成事業	11,598	9,816	9,816,000	8,819,597	◆次世代人材の育成 ・提案型地域おこし協力隊の配置（3人） ・市内高校との連携事業（2高校）	企　画　課
39	充実	大学等地域活動連携推進事業	554	1,000	1,000,000	867,000	◆大学との連携による地域の課題解決に向けた取組の推進（3大学5プロジェクト）	企　画　課
40		まちづくり応援事業	42,905	当初予算 10,200 R2.12補正 1,700	11,900,000	9,480,000	◆地域会議の活動支援 ◆まちづくり補助金 ◆コミュニティ助成事業（4団体）	企　画　課
41		ふるさと納税事業 （まちづくり応援事業から独立）	36,745	当初予算 59,695 R3.3補正 18,554	78,249,000	76,387,556	◆ふるさと宮津応援寄附に係る経費	企　画　課

■ 新型コロナウィルス感染症対策

	事業名	R元年度 決算額 （千円）	R2年度 補正額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決算額 （円）	事業の概要	課名
■ 感染防止・健康保持対策							
42	避難所における感染防止対策 （防災活動事業）	—	R2.6補正 2,000	2,000,000	1,980,000	◆指定避難所における感染防止対策の強化 ・ワンタッチパーテーションの購入 （2.1m×2.1m×高さ1.8m）	消防防災課
43	子どものための感染防止対策の強化 （新型コロナウィルス対策事業、新型コロナウイルス感染拡大防止事業）	2,041	当初予算 5,207 R2.6補正 17,839 R2.7補正 8,500 R2.9補正 1,712 R3.3補正 11,600	44,858,114	30,970,047	◆保育所（園）、小中学校、幼稚園、放課後児童クラブ等における感染防止物品等の購入	社会福祉課 学校教育課
44	公共交通機関、図書館の感染防止対策の強化 （新型コロナウイルス感染拡大防止事業）	—	R2.7補正 1,750	1,750,000	1,743,808	◆感染防止物品の購入等 ・公共交通事業者への感染防止対策支援 ・図書館の感染防止物品等購入	企画課 社会教育課
45	福祉施設の感染防止対策の強化 （新型コロナウイルス感染拡大防止事業）	—	R2.9補正 2,091 R2.12補正 5,973 R2.12補正 1,000	9,064,000	3,089,940	◆福祉施設の感染防止対策強化 ・障害者福祉施設の感染防止物品の購入支援 1,796,340円 ・介護施設の感染防止設備(簡易陰圧装置)の導入支援 1,293,600円	社会福祉課
46	新型コロナウイルス感染拡大防止事業 （公共施設等の感染防止対策など）	—	R2.5月補正 2,500 R2.6月補正 4,600 R2.12月補正 2,000 R3.3月補正 2,200	11,300,000	9,364,801	◆公共施設等における感染防止対策 ・マスク、消毒液、飛沫防止用仕切り版、タブレット型サーマルカメラなどの整備等 ◆妊婦及び高齢者等への感染防止物品配布 ・妊婦 102人 ・高齢者等 約1,400人 ◆自治会集会施設への感染防止物品の配布	総務課 健康・介護課
47	新型コロナウイルスワクチン接種事業	—	R3.1専決 7,500 R3.3補正 122,676	130,176,000	9,193,741	◆新型コロナウイルスワクチン接種の体制確保 ・健康管理システムの改修 ・予約システムの構築 ・接種券等の印刷　など	健康・介護課

	事業名	R元年度 決算額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決算額 （円）	事業の概要	課名
	■ 生活支援対策						
	新型コロナウイルス感染症対策給付金事業		1,793,200				
48	特別定額給付金事業	—	R2.5専決 1,793,200	1,793,200,000	1,761,484,215	◆特別定額給付金　1,752,600千円 ・給付：8,430世帯　17,526人（1人10万円） ◆事務費　8,884千円 ・時間外手当、報酬、事務用消耗品ほか	社会福祉課
49	くらしの資金貸付事業	—	R2.5補正 2,000	2,000,000	200,000	◆生活の不安定な世帯への生活資金の貸付 ・新型コロナウィルス感染症による生活困窮者対策の貸付　1件　200千円	社会福祉課
50	生活困窮者自立支援事業	—	R2.5補正 5,640	5,640,000	541,500	◆住宅確保給付金 ・新型コロナウィルス感染症の影響による休業等に伴う収入減少のため、住居を失うおそれが生じている世帯に対し、家賃相当額を家主に支給 支給件数６件　541,500円	社会福祉課
51	水道使用料金の減免 （水道事業会計繰出金）	—	R2.7補正 33,000 R3.3補正 2,031	35,031,000	35,031,000	◆水道使用料金の減免に伴う水道事業会計への繰出金 ・減免対象　全市民及び事業者等 ・減免期間　R2.10～12月（3か月間） ・減免額　水道使用料金値上げ相当分	上下水道課
52	飲食店等応援商品券の配布 （飲食店等応援商品券事業）	—	R2.7補正 42,800 R3.3補正 △ 14,100	35,806,500	35,805,319	◆市内飲食店等で利用できる商品券を全世帯に配布 ・発行額 ２千円/人（18歳までの児童 ３千円/人） ・換金経費31,240千円(利用率約84%) ほか事務費	商工観光課
53	プレミアム付き商品券の発行 （地域内消費拡大事業）	—	R2.12補正 68,000	69,000,000	2,850,000	◆市内店舗で利用できるプレミアム付き商品券の発行 ・券発行準備経費（委託料）　2,850千円 ※発行はR3に繰越	商工観光課
	■子育て支援・教育環境充実対策						
	新型コロナウイルス感染症対策給付金事業		35,000				
48	子育て世帯への臨時特別給付金事業	—	R2.5専決 18,700	19,000,000	18,782,515	◆子育て世帯への臨時特別給付金　17,730千円 ・給付：対象児童　1,773人（1人1万円） ◆事務費　1,052千円 ・報酬、システム対応委託料、事務用消耗品ほか	社会福祉課
54	ひとり親世帯臨時特別給付金事業	—	R2.6補正 19,000 R2.12補正 11,000	25,880,000	25,862,987	◆ひとり世帯臨時特別給付金（基本給付の再支給含む） ・基本給付　１世帯50,000円×148人×２回 第２子以降　１人　30,000円×108人×２回 ・追加給付　１世帯50,000円×68件 ◆事務費（報酬、事務用消耗品ほか）	社会福祉課
55	子育て世帯生活応援給付金事業	—	R2.9補正 5,000	5,000,000	4,700,000	◆低所得の子育て世帯への給付金 ・対象世帯　住民税非課税　115世帯 ・給付金額　2万円/18歳までの児童1人×235人	社会福祉課

	事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
56	学校における1人1台ICT端末整備等（GIGAスクール構想）の推進 （小学校・中学校施設整備事業）	—	R2.6補正 142,000	142,000,000	141,994,600	◆児童生徒1人1台端末環境・高速通信ﾈｯﾄﾜｰｸ整備 ・タブレット端末の購入(全児童生徒分等1,040台) ・校内ネットワーク(LAN)の整備　等	学校教育課
■ 経済回復対策・ 経営支援対策							
57	宮津天橋立観光Ｖ字回復に向けた誘客推進 （宮津天橋立観光Ｖ字回復推進事業、水産業施設改修事業、海水浴場施設管理運営事業）	—	R2.7補正 40,500 R2.12補正 10,000 R3.3補正 1,300 R3.3補正 △ 11,314	40,486,000	39,137,380	◆観光Ｖ字回復に向けた誘客等の推進 ・新たな旅行商品（高付加価値等）の造成、PR支援 ・宮津エール花火の打ち上げ ◆観光施設における感染防止対策の強化 ・海水浴場の監視員を増員し、感染対策を実施 ◆観光施設における感染防止対策 ・海洋釣り場の衛生施設等整備及び啓発看板設置等	商工観光課 農林水産課
58	観光客の受け入れ態勢の充実 （浜町にぎわいづくり推進事業）		R2.12補正 3,500	3,500,000	930,160	◆道の駅「海の京都 宮津」の観光客受入機能の強化 ・車両誘導看板の整備等　930,160円 ※平面駐車場区画数の増はR3へ繰越	商工観光課
59	公共交通事業者への支援 （公共交通事業者支援事業）	—	R2.9補正 49,551 R3.3補正 13,296 R3.3補正 3,858	66,705,000	58,192,000	◆公共交通事業者への事業継続支援 ・鉄道事業者支援(WILLER TRAINS㈱) (対象期間：令和２年３月～11月)　31,834千円 ・タクシー事業者支援(日本交通(株)) (100千円/台×15台)　1,500千円 ・高速バス事業者支援(丹後海陸交通㈱) (沿線２市１町による協調支援)　3,858千円 （対象期間）令和３年２月～３月分 ◆ＫＴＲの利用促進等に対する支援　21,000千円 ・観光列車の改良、車内券売機の導入等	企　画　課
60	新型コロナウイルス対応資金特別支援事業	—	R2.5補正 20,000 R3.3補正 △ 10,100	7,210,000	6,846,145	◆新型コロナウイルス対応融資に係る支援 ・利子補給 18件 1,593千円 ・信用保証料助成 22件 5,249千円　ほか事務費	商工観光課
61	新型コロナウイルス対応休業要請対象事業者支援事業	—	R2.5補正 41,000 R3.3補正 △ 8,980	21,200,000	21,200,000	◆休業要請支援給付金 （京都府の休業要請支援給付金へ同額上乗せ） ・163件 21,200千円	商工観光課

	事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
62	新型コロナウイルス対策事業者等緊急支援事業		44,000				
	小規模事業者等事業継続支援金	—	R2.6補正 41,100	51,022,000	51,021,351	◆小規模事業者等事業継続支援金 （R2.1～5月に売上30%以上減少の事業者支援） ・510件 51,000千円	商工観光課
	新型コロナウイルス対策事業者等支援補助金	—	R2.6補正 2,600	3,680,000	3,680,000	◆新型コロナウイルス対策事業等支援補助金 （京都府の新型コロナ関連補助金への上乗せ支援） ・88件 3,680千円	商工観光課
	飲食店等応援プロジェクトの推進	—	R2.6補正 300	300,000	300,000	◆飲食店等応援プロジェクト（宮津市飲食店等応援プロジェクト推進協議会）への支援 ・ｸﾗｳﾄﾞﾌｧﾝﾃﾞｨﾝｸﾞによる応援額 2,216,500円	商工観光課
63	天橋立観光協会への運営支援 （魅力ある観光地づくり支援事業）	—	R3.3補正 3,800	3,800,000	3,800,000	◆観光協会の活動原資となる入湯税減収分の運営支援	商工観光課
	■ 新しい生活様式への対応						
64	地区連絡所等におけるweb会議システムの整備 （電算管理事業）	—	R2.7補正 9,000	9,000,000	8,998,977	◆庁舎・地区連絡所等へのWeb会議システムの整備 ・市庁舎及び地区連絡所へ配置するPC・Webカメラ等の購入 ・ネットワーク環境の整備	総　務　課
65	「新しい働き方」に向けた環境づくり （”新しい働き方”テレワーク環境整備事業）	—	R2.9補正 900	900,000	738,982	◆テレワーク環境の整備 ・Wi-Fi環境、大型モニター等の整備 ・設置場所　福祉・教育総合プラザ （コミュニティルーム）	企　画　課
66	地図情報システムの整備 （賦課徴収事業）	—	R2.9補正 9,300	9,300,000	9,295,000	◆行政情報のデジタル化の推進 ・農地を含む地図情報システムの整備	税務・国保課
67	新しい生活様式を踏まえた都市部からの副業・兼業人材の受入推進 （副業・兼業プロ人材活用事業）	—	R2.12補正 3,500 R3.3補正 2,000	5,500,000	3,000,000	◆都市部等からの副業・兼業人材の受入等取組支援 ・外部人材マッチングセンターへの支援　3,000千円	企　画　課

【みやづビジョン2011に基づく事業】

1　観光を基軸とした産業振興

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
68		北前船港町まちづくり事業	1,327	1,113	1,113,000	712,920	◆北前船まちづくり委員会への活動支援 ◆北前船寄港地の日本遺産に係る活動	商工観光課
69		宮津市Ｂ＆Ｇ海洋センター指定管理料	9,000	8,700	8,700,000	8,375,000	◆宮津市Ｂ＆Ｇ海洋センターの管理運営 ・(公社)京都府青少年育成協会への指定管理料	企　画　課
70		美しく豊かな阿蘇海推進事業	280	343	343,000	0	◆美しく豊かな阿蘇海をつくり未来につなぐ条例に基づく取組の推進 ※新型コロナウィルス感染症により事業中止・未執行	市民環境課
71		宮津与謝広域シルバー人材センター運営補助事業	4,140	2,985	2,985,000	2,985,000	◆シルバー人材センターへの運営助成	商工観光課
72		農業委員会運営事業	5,844	当初予算 6,074 R3.3補正 495	6,569,000	5,669,674	◆農業委員会の運営	農業委員会
73		機構集積支援事業	1,395	1,647	1,647,000	1,420,000	◆農地の利用状況調査及び利用意向調査等の実施	農業委員会
74		地産地消促進事業	549	551	570,000	569,695	◆地元農産物の給食利用促進支援	農林水産課
75		農業経営安定化対策事業	39	37	37,000	36,032	◆農業経営基盤強化資金に係る利子補給	農林水産課
76		中山間地域等直接支払交付金事業	38,063	38,973	38,003,000	37,182,142	◆中山間地域の農業生産活動への支援	農林水産課
77		多面的機能支払交付金等事業	25,460	26,413	24,696,000	24,481,826	◆農道･水路等の維持･資源向上活動への支援 ◆環境保全型農業への支援　ほか	農林水産課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
78	充実	農山村活性化事業 （元気な里づくり推進事業から名称変更）	3,921	4,100	4,100,000	4,028,021	◆集落活性化に向けた取組への支援（上宮津） ◆農村集落活性化を担う人材の育成 ・地域おこし協力隊の配置	農林水産課
79		人・農地プラン策定事業 農地中間管理事業	7,363	2,519	3,242,000	3,171,800	◆人･農地プランの見直し ◆農地中間管理事業による農地集積の推進	農林水産課
80		ふるさと産品等価格安定事業	23	30	30,000	23,400	◆地域特産品(コギク)生産農家の経営安定と産地育成を図るための価格安定制度の運用	農林水産課
81		経営所得安定対策推進事業	2,522	2,522	3,115,000	2,889,000	◆農業者の経営所得安定対策の推進	農林水産課
82		畜産業経営安定化対策事業	45	42	50,000	49,700	◆飼料作物生産への支援	農林水産課
83		農業基盤整備事業 （元気な里づくり基盤整備事業から名称変更）	5,451	7,139	9,224,000	9,221,682	◆農業用用排水路等生産基盤改修　４箇所 ◆材料支給等の支援　など	農林水産課
84		緑の担い手等支援事業	182	271	271,000	235,849	◆新規就労者や林業労働者の共済事業に対する助成	農林水産課
85		放置竹林対策事業 （山の地域資源活用事業から名称変更）	2,254	2,190	2,190,000	2,187,200	◆放置竹林の整備（宮村地区、山中地区　1.3ha）	商工観光課
86		林道等維持管理事業	3,069	3,100	3,097,000	3,094,960	◆丹後縦貫林道等の維持管理（草刈、側溝清掃）	農林水産課
87		林道等整備事業	4,840	3,000	3,298,000	3,297,800	◆林道杉山線改修（舗装 L=324m）	農林水産課
88	充実	森林管理事業	641	2,797	2,712,000	1,172,600	◆新たな森林の経営管理の取組の推進 ・森林管理システムの更新（機器含む）（基金充当） ※令和２年度森林環境譲与税額9,194千円	農林水産課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
89		森林整備事業	95	3,942	3,729,000	3,728,178	◆市有林における造林･保育施業（松尾）の実施 ◆森林整備地域活動支援（宮津地方森林組合へ交付）	農林水産課
90	充実	有害鳥獣対策事業	73,167	24,390	24,390,000	20,095,903	◆有害鳥獣の駆除委託経費 ◆有害鳥獣処理施設の運営 ◆ニホンジカ捕獲強化奨励金　ほか	農林水産課
91		水産業経営安定化対策事業	387	429	429,000	428,259	◆漁業近代化資金に係る利子補給	農林水産課
92		水産業施設指定管理料	490	当初予算 500 R3.3補正 565	1,066,000	1,065,180	◆海洋つり場の管理 ・小田宿野自治会への指定管理料	農林水産課
93		漁港管理事業	2,004	1,800	1,862,000	1,859,975	◆漁港・漁港海岸施設維持のための修繕等の実施	農林水産課
94		海岸保全施設整備事業	90,242	115,501	115,501,800	115,501,600	◆栗田漁港海岸の離岸堤整備 ・脇地区　３基完了（Ｌ=110m整備） ・小寺地区の一部　（Ｌ=18.6m整備）	農林水産課
95		消費者行政活性化事業	3,977	3,977	3,726,000	3,216,835	◆宮津与謝消費生活センターの運営	商工観光課
96		観光商業施設運営支援事業	3,000	2,000	2,000,000	2,000,000	◆宮津漁師町観光商業センター（ととまーと）の指定管理者に対する立上げ支援（3年目）	商工観光課
97		商工会議所経営改善普及活動等支援事業 （商工会議所小規模事業者指導助成事業と商工事務事業の一部を統合）	10,550	12,000	12,000,000	12,000,000	◆中小企業者支援や経営指導等を行う商工会議所経営改善普及活動等への支援	商工観光課
98		中小企業等制度融資事業	162	282	239,000	238,297	◆中小企業等の制度融資に係る利子補給 ・47件　238,297円	商工観光課
99		企業誘致推進事業	3,349	4,868	3,747,000	3,745,232	◆雇用促進奨励金　１件、800千円 ◆企業誘致土地借上料　2,701千円　ほか誘致活動	商工観光課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
100		海水浴場施設管理運営事業	3,885	当初予算 3,659 R2.7補正 2,900 R3.3補正 1,300	7,869,000	6,569,000	◆天橋立、天橋立府中、丹後由良海水浴場の安全管理のための監視員配置等	商工観光課
101		世屋高原家族旅行村指定管理料	6,500	6,500	6,500,000	6,500,000	◆世屋高原家族旅行村の管理運営 ・世屋高原活用協議会への指定管理料	商工観光課
102		魅力ある観光地づくり支援事業	46,514	当初予算 45,465 R2.9補正 7,624 R3.3補正 3,800	56,889,000	56,323,928	◆海の京都ＤＭＯへの負担金、同天橋立地域本部（天橋立観光協会）への支援 ◆地域おこし協力隊2名の募集、活動実施	商工観光課
103		宮津天橋立周遊観光推進事業	4,200	1,800	1,800,000	619,990	◆海を活用した宮津天橋立周遊の実施(渋滞緩和策と海上交通を活用した新たな観光コースの定着)	商工観光課
104		宮津燈籠流し花火大会補助事業	6,000	当初予算 6,000 R2.9補正 △ 6,000	0	0	◆宮津燈籠流し花火大会の開催支援 ※新型コロナウィルス感染症により中止･未執行	商工観光課
105		丹後きものまつりin天橋立補助事業	300	当初予算 300 R2.9補正 △ 300	0	0	◆丹後きものまつりin天橋立の開催支援 ※新型コロナウィルス感染症により中止･未執行	商工観光課
106		郷土芸能保存伝承補助事業	300	300	300,000	300,000	◆郷土芸能の保存伝承支援	商工観光課
107		景観まちづくり推進事業	43,520	6,720	3,406,000	0	◆海の京都の重点整備地区である文珠･府中地区の界隈景観まちづくり助成　ほか ※実績なし	都市住宅課
108		重要文化的景観保護推進事業	700	3,301	3,302,000	1,360,000	◆国の文化的景観の宮津地区追加選定に向けた調査報告書の刊行	社会教育課
109		農地農業用施設災害復旧事業	141,304	当初予算 101,000 R2.12補正 2,700	103,700,000	98,658,750	◆豪雨等により被災した農地・農業用施設の復旧 ・（30年災）農地2箇所、施設３箇所ほか ・（ ２年災）材料支給ほか	農林水産課

２　環境保全と生活環境の向上

		事　　業　　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　　業　の　概　　要	課　名
110		環境保全推進事業	4,708	4,919	4,919,000	4,753,947	◆環境保全活動の実施	市民環境課
111		みやづ環の地域づくり推進事業	268	400	400,000	142,429	◆「みやづ環ネットワーク」の活動を支援し、「みやづ環の地域づくり行動計画」を推進	市民環境課
112		新エネルギー普及促進事業	460	460	460,000	448,000	◆住宅用の太陽光発電システム及び蓄電システムの設置支援（２件）	市民環境課
113		街路灯等ＬＥＤ化事業	9,830	9,890	9,890,000	9,745,320	◆25年度実施の市内全域ＬＥＤ化(リプレイス等:3,906基)に係るリース料 ◆新設要望等への対応（２基分）	市民環境課
114		火葬場管理運営事業	13,014	11,801	12,505,000	12,060,468	◆火葬場の管理運営	市民環境課
115		公衆衛生対策事業	157	440	535,000	290,686	◆犬の登録事務、狂犬病予防注射の実施　ほか	市民環境課
116		浄化槽補助事業	24,160	25,787	25,787,000	22,617,800	◆浄化槽の設置補助 ◆高齢者世帯の排水設備補助 ◆浄化槽の維持管理補助	市民環境課
117		清掃工場管理運営事業	214,543	67,921	65,011,000	46,970,359	◆清掃工場の管理運営等 ※ごみの受入れはＲ2.3月末で終了 ◆今後の解体に向けた土壌調査　ほか	市民環境課
118		粗大ごみ処理施設管理運営事業	35,348	223	264,000	261,580	◆粗大ごみ処理施設の管理等 ※ごみの受入れはＲ2.3月末で終了	市民環境課
119		リサイクルセンター管理運営事業	39,181	723	774,000	685,033	◆リサイクルセンターの管理等 ※ごみの受入れはＲ2.3月末で終了	市民環境課
120		不燃物処理場管理運営事業	53,966	48,486	48,486,000	45,054,748	◆不燃物処理場の管理運営等	市民環境課

		事　　業　　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　　業　　の　　概　　要	課　名
121		ごみ等収集運搬処分事業	283,473	159,165	159,165,000	156,649,086	◆ごみ等の収集運搬処分	市民環境課
122		リサイクル等活動費助成事業	3,179	3,123	3,123,000	2,855,410	◆資源ごみリサイクル報奨金 ◆資源ごみ回収活動報奨金 ◆環境美化事業補助金	市民環境課
123		宮津与謝環境組合分担金等	1,610,559	当初予算 529,942 R3.3補正 △5,647	524,295,000	523,685,000	◆宮津与謝クリーンセンターの整備･運営を行う宮津与謝環境組合への分担金 ◆焼却灰運搬　ほか	市民環境課
124		し尿処理施設管理運営事業	76,513	70,400	73,155,000	71,258,512	◆し尿処理施設の管理運営等	市民環境課
125		し尿収集運搬事業	75,102	78,499	78,499,000	77,000,982	◆し尿の収集運搬	市民環境課
126		海岸漂着物回収・処理事業	1,365	1,610	1,547,000	812,100	◆宮津市管理海岸等における海岸漂着物の回収･処理	市民環境課 農林水産課

3　教育の充実と人材育成

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
127	充実	男女共同参画推進事業	362	当初予算 463 R2.9補正 500	963,000	788,488	◆「宮津市男女共同参画基本計画～ウインドプラン2017～」の推進 ・男女共同参画講演会　など ◆子育てにやさしい「職場づくり」の展開に向けた取組 ・ワーク・ライフ・バランス講演会の開催　など	市民環境課
128		市民相談事業	415	526	526,000	395,232	◆法律相談など市民からの相談業務の実施　など	市民環境課
129		人権啓発事業	1,460	2,966	2,966,000	2,244,586	◆人権に関する啓発 ◆「人権に関する市民意識調査」・「人権市民のつどい」の実施　など	市民環境課
130		隣保館等管理運営事業	8,326	8,633	8,633,000	8,350,763	◆隣保館の管理運営	市民環境課
131		教育委員会活動事業	3,526	3,540	3,540,000	3,468,617	◆教育委員会の活動経費	学校教育課
132		いじめ防止対策推進事業	0	230	230,000	0	◆宮津市いじめ問題対策連絡会議、宮津市いじめ防止対策推進委員会、宮津市いじめ調査委員会の運営に係る経費 ・実績０件	市民環境課 学校教育課
133		英語指導事業	6,316	7,770	7,770,000	7,624,856	◆英語教育の充実を図るため、小･中学校に英語指導助手(ＡＥＴ)を２名配置	学校教育課
134		教育支援センター事業	4,380	4,221	4,266,000	4,215,781	◆いじめ問題への迅速な対応と不登校児童生徒への支援（教育相談室「こころのまど」、適応指導教室「こころのひろば」の運営）	学校教育課
135		与謝野町宮津市中学校組合分担金	21,886	当初予算 23,685 R2.9補正 8,828	32,515,000	32,515,000	◆与謝野町宮津市中学校組合分担金 ・ICT端末整備や感染防止対策の強化	学校教育課
136		私立幼稚園振興助成事業	6,082	11,886	11,886,000	9,891,680	◆私立幼稚園に対する施設型給付	学校教育課

		事　　業　　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　　業　　の　　概　　要	課　名
137		教育委員会事務局経費 （コミュニティ･スクール推進コーディネーターの配置等）	12,144	17,630	18,924,000	18,633,182	◆コミュニティ･スクール導入をフォローする「コミュニティ･スクール推進コーディネーター」の配置など	学校教育課
138		教育バス運行事業	3,922	3,955	3,955,000	1,388,408	◆教育バスの運行	学校教育課
139		小学校管理・教育振興事業	105,405	126,217	126,372,000	119,826,252	◆小学校の管理運営、保健管理、教育振興	学校教育課
140		中学校管理・教育振興事業	42,828	47,806	47,806,000	45,921,066	◆中学校の管理運営、保健管理、教育振興	学校教育課
141		幼稚園管理・教育振興事業	24,456	27,478	27,478,000	21,173,699	◆幼稚園の管理運営、保健管理、教育振興	学校教育課
142		就学児童援助事業 就学生徒援助事業	28,902	33,489	33,489,000	25,572,324	◆就学困難な児童･生徒や特別支援教育を受ける児童･生徒の保護者の経済的負担の軽減 （学用品費、修学旅行費等の支給）	学校教育課
143		遠距離通学児童援助事業 遠距離通学生徒援助事業	1,390	1,225	1,225,000	1,193,795	◆遠距離通学児童･生徒通学費に係る保護者の経済的負担の軽減(定期代等の補助)	学校教育課
144		社会教育推進事業	7,804	8,065	8,065,000	5,329,311	◆中学生の主張大会、成人式　◆すこやか大学 ◆障害者青年学級 ◆企業人権教育推進協議会への支援 ◆社会教育委員会の開催　など	社会教育課
145		社会教育活用施設管理運営事業	5,345	3,523	3,743,000	3,629,345	◆社会教育活用施設の管理運営 （由良地区、日ヶ谷地区、上宮津地区、養老地区）	社会教育課
146	新規	社会教育活用施設整備事業	―	5,000	4,780,000	4,653,000	◆下水道接続工事（上宮津地区）	社会教育課
147		文化振興推進事業	83	83	83,000	83,000	◆丹後文化芸術祭に係る負担金	企　画　課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
148		公民館管理運営事業	21,054	19,462	19,242,000	18,613,558	◆地区公民館の管理運営･活動や中央公民館事業の実施	社会教育課
149		図書館管理運営事業	28,955	24,132	24,132,000	23,633,760	◆図書館の管理運営 ◆「はまなす文庫」（移動図書館車）の運行	社会教育課
150		市内遺跡発掘調査事業	2,096	2,000	2,000,000	2,000,000	◆開発行為の対応（工事立会等） ◆市内重要遺跡の発掘調査 ・安国寺遺跡発掘調査（H28から年次計画調査）	社会教育課
151		文化財保護・活用推進事業	376	404	404,000	362,835	◆宮津市文化財保護審議会の開催 ◆文化財説明板の更新（1基）　ほか	社会教育課
152		重要文化財旧三上家住宅指定管理料	4,550	4,200	4,650,000	4,650,000	◆重要文化財旧三上家住宅の管理運営 ・元結屋27への指定管理料	社会教育課
153		みやづ歴史の館管理運営事業	730	509	556,000	553,474	◆テレビ共聴システム保守管理	社会教育課
154		みやづ歴史の館整備事業	1,265	1,700	1,540,000	1,540,000	◆テレビ共聴システムに係る地上デジタル放送用ヘッドアンプの更新	社会教育課
155		市民実践活動施設指定管理料	99,940	99,207	99,207,000	95,249,848	◆市民実践活動施設（宮津会館等）の管理運営 ・（公財）市民実践活動センターへの指定管理料	総　務　課
156		歴史資料館管理運営事業	10	10	10,000	9,891	◆展示室、収蔵庫等設備の維持管理経費 （防虫剤等購入費）	社会教育課
157		学校給食運営事業	198,340	208,395	207,805,000	202,624,730	◆学校給食の実施	学校教育課

4　健康増進と福祉の推進

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
158		地域ささえあいセンター指定管理料	2,407	当初予算 2,407 R3.3補正 800	3,207,000	3,207,000	◆地域ささえあいセンターの管理運営 ・宮津市社会福祉協議会への指定管理料 ・感染防止対策の強化	社会福祉課
159		民生児童委員協議会補助事業 児童委員活動費補助事業	6,425	6,584	6,620,000	6,612,449	◆民生児童委員による地域での助け合い活動の支援	社会福祉課
160		社会福祉協議会運営補助事業	16,140	17,500	17,500,000	17,500,000	◆社会福祉協議会が行う社会福祉活動の支援	社会福祉課
161		介護人材確保推進事業	2,517	1,550	1,550,000	1,128,000	◆福祉職場に従事する人材の育成 ・介護福祉士奨学金制度、民間が行う講座や介護福祉士等受験対策講座受講者への支援	社会福祉課
162		くらしの資金貸付事業	1,785	当初予算 2,500 R2.5補正 2,000	4,500,000	1,380,000	◆生活の不安定な世帯への生活資金の貸付 ・雇止め等による離職者に対する貸付限度額の拡大（10万→20万）(H21～) ・事業主の都合等により解雇又は休業等によって著しく生活が不安定になった者に対する貸付限度額の拡大(10万→20万)(R元～) R2利用件数１件20万円 ・くらしの資金貸付金　貸付件数 14件 1,380千円	社会福祉課
163		生活困窮者自立支援事業	2,741	当初予算 3,171 R2.5補正 5,640	8,811,000	3,320,000	◆生活困窮者の自立に向けた支援（相談支援、住宅手当、就労支援等） ◆住宅確保給付金 ・支給要件の緩和（休職等による収入減の者も対象） ・支給件数６件　541,500円	社会福祉課
164		障害者福祉施設整備費補助事業	1,222	1,204	1,204,000	1,203,728	◆障害者福祉施設整備借入金償還助成	社会福祉課
165		障害支援区分認定事業	1,326	1,244	1,244,000	943,803	◆障害支援区分認定審査会の設置･運営 ・1市2町による共同設置 ◆障害支援区分認定のための調査等	社会福祉課
166		障害福祉サービス事業	562,759	当初予算 561,577 R3.3補正 28,000	589,575,000	581,439,758	◆障害福祉サービス費等の支給	社会福祉課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
167		自立支援医療給付事業	21,219	21,006	21,006,000	19,575,950	◆身体の機能障害の除去･軽減を行い、日常生活に適応することを目的とした医療の提供	社会福祉課
168		補装具給付事業 日常生活用具給付事業	10,806	12,275	12,488,000	11,869,286	◆障害者の日常生活を容易にするための補装具等の給付	社会福祉課
169		地域生活支援事業	20,025	20,506	20,660,000	16,573,574	◆障害者の地域社会での自立した生活をサポート（相談支援、地域活動支援、移動支援等） ◆コミュニケーション支援、生活訓練等の実施 ◆外出困難な障害者に対する交通費の助成等	社会福祉課
170		特別障害者手当等給付事業	10,797	12,715	12,472,000	10,671,690	◆特別の介護を必要とする在宅重度障害者等に対する手当の支給	社会福祉課
171		障害者福祉施設運営補助事業	126	90	92,000	91,205	◆北部障害者歯科診療所の運営補助	社会福祉課
172	新規	障害者計画等策定事業	―	530	582,000	513,796	◆障害者計画、障害福祉計画（第6期）及び障害児福祉計画（第2期）の策定	社会福祉課
173		重度心身障害児者医療費支給事業	35,828	33,180	32,770,000	30,421,258	◆75歳未満の重度心身障害児者医療費助成	社会福祉課
174		重度心身障害老人健康管理費支給事業	27,936	27,240	27,650,000	27,553,631	◆後期高齢者医療制度対象の重度心身障害者医療費助成	社会福祉課
175		老人ホーム入所措置事業	56,959	59,003	59,003,000	57,635,271	◆養護老人ホームへの入所措置	社会福祉課
176		敬老事業	2,482	2,550	2,550,000	2,351,913	◆地域ぐるみでの敬老活動支援	社会福祉課
177		老人クラブ等助成事業	2,087	2,088	2,046,000	1,989,984	◆老人クラブの活動支援	社会福祉課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
178		特別養護老人ホーム整備費等補助事業	9,531	116,558	116,558,000	115,250,750	◆グループホームの拡大等に対する支援 ◆雇用機会拡大補助金の交付 ◆特養等福祉施設整備に係る償還金への助成	社会福祉課
179		介護保険低所得者対策事業	1,202	1,800	1,800,000	810,455	◆生計が困難なサービス利用者の負担軽減を行う社会福祉法人への支援 ・軽減人数80人　軽減総額4,955,099円	健康・介護課
180		介護予防安心住まい推進事業	0	160	160,000	0	◆要介護状態になるおそれの高い高齢者に対する住宅改修費の助成 ・実施件数0件	健康・介護課
181	新規	高齢者保健福祉計画策定事業	―	4,102	4,102,000	3,836,791	◆第９次高齢者保健福祉計画・第８期介護保険事業計画（R3～R5）の策定	健康・介護課
182		老人医療費支給事業	12,568	9,587	9,587,000	9,541,741	◆老人医療費の助成（65歳以上70歳未満）	税務・国保課
183		国民年金事業	1,930	1,611	1,611,000	1,589,196	◆国民年金制度窓口業務	税務・国保課
184		入院助産実施事業	0	450	452,000	451,204	◆経済的な理由で病院等での出産が困難な妊婦に対する出産経費助成 ・１件	社会福祉課
185		子育て支援医療費助成事業	37,192	36,350	34,950,000	29,914,239	◆中学校卒業までの乳幼児･児童･生徒の健康保持･増進を図るため、医療費を助成	社会福祉課
186		子ども・子育て会議運営事業	422	241	241,000	0	◆子ども･子育て会議の開催 ※新型コロナウィルス感染症により会議開催なし	社会福祉課
187		児童手当支給事業	200,419	198,315	195,352,000	195,149,640	◆児童手当の支給	社会福祉課
188		児童扶養手当支給事業	80,334	61,569	69,250,000	69,249,180	◆母子･父子家庭への児童扶養手当の支給	社会福祉課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
189		保育所運営事業	123,738	99,511	106,479,000	103,916,286	◆公立保育所の運営(上宮津、養老、日置)	社会福祉課
190		民間保育園運営事業	270,750	256,929	260,152,000	260,125,470	◆民間保育園への保育の実施委託　ほか	社会福祉課
191		認定こども園運営事業	181,655	当初予算 171,398 R3.3補正 29,583	203,141,000	201,931,390	◆認定こども園に対する施設型給付 ◆医療的ケア児保育支援　ほか	社会福祉課
192		子育てのための施設等利用給付事業	2,058	7,992	7,194,000	7,194,000	◆認可外保育施設（キッズスクール等）への利用給付	社会福祉課
193		児童館運営事業	778	1,090	1,090,000	687,009	◆杉末児童館の管理運営	市民環境課
194		児童遊園管理事業	957	1,184	1,184,000	1,048,752	◆児童遊園の維持管理	社会福祉課
195		ひとり親家庭等支援事業	120	1,473	73,000	32,000	◆母子寡婦福祉会への運営費補助	社会福祉課
196		ひとり親家庭医療費支給事業	11,675	11,293	12,693,000	12,442,892	◆ひとり親家庭の医療費助成	社会福祉課
197		生活保護費給付事業	186,417	210,000	210,000,000	185,600,180	◆生活困窮者の必要最低限の生活保障 ◆自立に向けたサポートの実施	社会福祉課
198		就労自立給付金支給事業	0	100	100,000	0	◆就労による自立を促進させるための給付金	社会福祉課
199		災害救助事業	330	100	100,000	0	◆災害見舞金の支給	社会福祉課

		事　　業　　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　　業　の　概　　要	課　名
200		地域再建被災者住宅等支援事業	1,000	40	40,000	0	◆被災者住宅再建支援	社会福祉課
201		妊活支援事業	148	200	265,000	264,470	◆不妊治療に係る経済的負担の軽減 ・一般不妊治療に要する費用の一部助成 ・助成件数7件	健康・介護課
202		出産安心サポート事業 子育て保健事業	13,884	10,780	10,966,000	10,538,206	◆乳幼児健診の実施 ◆妊婦健診119人　◆産婦健診78人 ◆未熟児医療費支援4人　等	健康・介護課
203		地域医療推進事業 （公共施設ＡＥＤ管理事業、在宅当番医制運営事業、（新）救急安心センター事業を統合）	9,847	9,373	9,443,000	9,424,736	◆公共施設へのＡＥＤ(自動体外除細動器)の更新 ◆日曜･祝日･年末年始における外科救急診療体制の確保　開所日数71日　受診者数988人 ◆＃7119（救急安心センター事業）負担金	健康・介護課
204		診療所管理事業	7,157	当初予算 6,061 R2.12補正 3,000	9,818,000	9,807,416	◆養老診療所･養老歯科診療所、日置診療所、由良診療所に対する運営支援 ◆養老診療所の医師交代に伴う診療体制支援	健康・介護課
205	新規	診療所整備事業	―	1,800	1,789,000	1,607,100	◆養老診療所屋根防水改修	健康・介護課
206		休日応急診療所の運営 ＜休日応急診療所事業特別会計＞	21,268	21,386	21,386,000	19,728,430	◆日曜･祝日･年末年始における内科･小児科救急診療体制の確保 開所日数71日　受診者数217人	健康・介護課
207		医師確保対策事業 看護師等確保対策事業	8,000	13,600	13,600,000	9,000,000	◆府立医大附属北部医療センター等で医師として勤務しようとする者への奨学金　実績なし ◆府立医大附属北部医療センター等で看護師等として勤務しようとする者への奨学金　9名に貸与	健康・介護課
208		骨髄ドナー助成事業	0	140	140,000	0	◆日本骨髄バンクが実施する骨髄等提供斡旋事業の骨髄等提供者への支援 ・実績0件	健康・介護課
209		天橋立健康ウォーク開催補助事業	1,900	当初予算 1,900 R2.9補正 △ 1,900	0	0	◆天橋立ツーデーウオークの開催支援 ※新型コロナウィルス感染症のため中止・未執行	健康・介護課
210	充実	予防接種事業	46,623	48,492	48,492,000	48,003,704	◆各種予防接種の実施 ・R2.10月からロタウィルスワクチン定期接種化	健康・介護課

5　暮らしの基盤の整備

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
211		電算管理事業	126,377	当初予算 140,856 R2.7補正 9,000 R3.3補正 11,500	160,836,000	147,340,538	◆電算システムの維持管理等 ◆庁舎･地区連絡所等へのWeb会議システム環境の整備 ◆行政手続き等のデジタル化（R3繰越） ・公共施設予約案内システムの導入 ・業務効率化システムの導入（電子決裁、RPA）	総　務　課
212		財産管理事業	6,953	当初予算 4,491 R3.3補正 5,700	11,139,000	5,266,662	◆市有財産の維持管理　ほか	財　政　課
213		財産管理事業 （宮津市福祉・教育総合プラザ関連）	48,409	当初予算 48,838 R3.3補正 2,300	51,020,000	50,565,533	◆宮津市福祉･教育総合プラザの維持管理	財　政　課
214		庁舎等管理事業	31,975	21,627	24,581,000	24,398,718	◆市役所庁舎の維持管理	総　務　課 財　政　課
215		交通安全対策事業	2,580	1,856	2,278,000	2,266,140	◆交通安全に関する普及啓発活動の実施 ◆高齢者運転免許証自主返納支援	市民環境課
216		地域交通政策事業	119	199	199,000	32,314	◆地域公共交通会議の開催	企　画　課
217		公共交通利用促進事業	8,263	8,335	6,866,000	5,244,838	◆高齢者片道200円レール事業の実施 ・宮津市内延べ利用者数 13,709人(R1:20,914人) ・２市２町延べ利用者数 26,229人(R1:43,924人)	企　画　課
218		宮津市ターミナルセンター管理事業	16,530	16,256	17,108,000	17,097,038	◆ターミナルセンターの管理運営	企　画　課
219		宮津市ターミナルセンター整備事業	987	4,400	4,400,000	3,867,600	◆宮津ターミナルセンター壁面改修	企　画　課
220		ＫＴＲ支援事業	237,893	当初予算 239,044 R3.3補正 16,132	255,176,000	219,361,474	◆鉄道施設等の維持管理･整備を沿線自治体で支援 ◆国土強靭化対策(法面補強工事)の実施	企　画　課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
221		丹後地区土地開発公社負担金	152	100	100,000	100,000	◆丹後地区土地開発公社への運営費負担金	財　政　課
222		地域情報化施設管理事業	28,560	当初予算 37,643 R3.3補正 109,010	146,653,000	31,678,804	◆ブロードバンド施設の通信施設の運営・管理 ◆同施設の民間譲渡に要する負担金	企　画　課
223		ふるさと宮津を守り育てる条例審議会運営事業	0	81	81,000	0	◆審議会未設置	消防防災課
224		税収入等過誤納還付金 税収入等還付加算金	10,725	5,100	11,664,000	11,657,136	◆市税の過年度税額更正等による過誤納金の還付 ◆過年度還付金に係る還付加算金	税務・国保課
225		固定資産評価審査委員会運営事業	157	71	65,000	35,442	◆固定資産評価審査委員会の運営 ・委員会開催　１回	税務・国保課
226		税務共同化事業	20,375	当初予算 20,119 R3.3補正 2,180	22,299,000	21,966,557	◆京都地方税機構の運営費負担金	税務・国保課
227		固定資産評価替事業	12,239	9,877	9,877,000	9,876,900	◆固定資産の適正な評価の実施	税務・国保課
228		戸籍住民基本台帳管理運営事業	20,599	当初予算 38,883 R2.9補正 4,997	43,880,000	38,617,750	◆住基･戸籍等の窓口サービスの実施 ◆マイナンバーカード交付促進に伴う体制強化の実施 マイナンバーカード交付 2,506件(累計4,613件) ◆マイナンバー制度に係るシステム改修経費	市民環境課
229		道路維持修繕事業	37,107	27,462	27,462,000	27,106,334	◆道路パトロールの実施 ◆道路等の維持修繕	土木管理課
230		除雪事業	43,397	当初予算 52,122 R3.1専決 50,000	102,122,000	94,144,848	◆除雪の実施	土木管理課
231		道路新設改良事業	74,657	当初予算 140,594 R3.3補正 24,799	165,299,000	89,224,786	◆安全で快適な生活環境づくりのための道路の整備 ・通学路安全対策、橋梁長寿命化対策、危険法面対策など	土木管理課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
232		交通安全施設整備事業	3,730	3,210	3,210,000	3,198,514	◆交通安全施設の整備	土木管理課
233		河川管理事業	11,725	13,875	13,875,000	13,566,405	◆河川施設の維持管理	土木管理課
234		急傾斜地崩壊対策事業	7,400	7,000	8,334,000	8,334,000	◆小香河、小田宿野に係る急傾斜地崩壊対策事業負担金	土木管理課
235		公共土木施設災害復旧事業	714,563	103,730	103,730,000	96,567,100	◆H30年7月豪雨により被災した公共土木施設の災害復旧	土木管理課
236		都市計画事務事業	5,217	5,671	5,456,000	4,697,627	◆都市計画マスタープラン見直し　ほか	都市住宅課
237		都市下水路管理事業	12,419	10,650	10,650,000	10,610,480	◆都市下水路の維持管理及び修繕 ◆雨水貯水タンク助成	土木管理課
238		排水機場維持管理事業	3,178	6,491	6,491,000	6,021,609	◆浜町排水機場の維持管理	土木管理課
239	新規	排水機場整備事業	5,236	8,000	7,525,000	7,458,000	◆浜町排水機場の排水能力確保に向けた改修 ・除塵槽改良ほか	土木管理課
240		都市公園等管理運営事業	17,300	当初予算 17,475 R2.12補正 △ 777	17,606,000	17,304,350	◆都市公園等の管理運営等経費	都市住宅課
241		都市公園等整備事業	8,119	6,000	8,700,000	0	◆西宮津公園プール改修（漏水対応） （次年度へ繰越）	都市住宅課
242		自然公園施設管理事業	1,767	1,788	1,709,000	1,592,404	◆自然公園施設の管理等経費	都市住宅課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
243		市営駐車場管理運営事業	5,932	5,989	5,989,000	5,880,644	◆宮津駅前･天橋立駐車場の管理	商工観光課
244		地籍調査事業	5,801	24,114	24,589,000	24,575,868	◆新規調査（由良地区） ◆過年度調査内容の修正整理	土木管理課
245		市営住宅管理事業	6,733	9,566	12,066,000	11,986,702	◆市営住宅の維持管理経費 ・R2年度から建替え後のタヶ丘団地を管理 ◆小寺団地解体撤去工事　2,860,000円	都市住宅課
246		市営住宅タヶ丘団地の建替え （市営住宅環境整備事業）	582,997	596,613	594,353,000	478,803,695	◆市営住宅タヶ丘団地の建替え ・市営住宅建設、周辺道路工事、既存建物解体実施設計ほか	都市住宅課
247		定住促進住宅管理事業	6,070	5,868	5,776,000	5,753,182	◆定住促進住宅(城東タウン)の維持管理	都市住宅課
248		住宅耐震化促進事業	2,404	4,225	4,077,000	3,350,000	◆木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修助成	都市住宅課
249		宮津与謝消防組合分担金	347,005	351,942	351,942,000	351,942,000	◆組合経費を構成１市２町で分担	消防防災課
250		消防団運営事業	33,788	当初予算 46,163 R2.9補正 3,757	48,217,000	42,652,359	◆令和２年４月１日時点 消防団員数360名 ◆主な消防団行事 ・火災予防週間(11･3月、防火広報、火災想定訓練) ・出初式(1月)	消防防災課
251		消防施設管理事業	8,022	5,812	9,426,000	9,350,432	◆消防車両の点検・車検・修繕　1,339千円 ◆消火栓、防火水槽の修繕　2,429千円	消防防災課
252		水防事業	600	600	601,000	600,105	◆自治会等の水防活動に対し土のう資材を支給支援 ・49自治会、土のう袋12,000枚、山土35杯	消防防災課
253		防災活動事業	2,774	当初予算 3,822 R2.6補正 2,000	5,667,000	4,270,577	◆みやづ情報メール運用管理　825千円 ◆自主防災組織助成金　80組織、471千円 ◆指定避難所における感染防止対策の強化　1,980千円	消防防災課

		事　　業　　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　　業　　の　　概　　要	課　名
254		防災施設管理事業	5,201	5,624	5,778,000	5,711,214	◆防災行政無線の保守点検業務委託　3,890千円 ◆防災行政無線の修繕　396千円	消防防災課

市民との協働

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
255		議会運営事業	5,706	当初予算 7,634 R2.12補正 △ 1,066 R3.3補正 △ 1,012	5,556,000	4,614,667	◆議会基本条例を踏まえた議会活性化の取組の推進 （インターネット録画配信、一般質問通告一覧表 新聞折込み、会議録検索システム、議会だより等）	議事調査課
256		職員研修事業	743	1,616	1,500,000	400,428	◆職員研修の実施	総　務　課
257		人事管理事業	11,399	7,737	8,197,000	7,053,884	◆人事管理業務	総　務　課
258		自治功労者等表彰事業	283	176	183,000	181,121	◆自治功労者等表彰	総　務　課
259		総合計画策定事業	384	1,100	1,245,000	1,014,203	◆第７次総合計画の策定に係る策定委員会等の開催 ・タウンミーティング(5ﾃｰﾏ×2回)開催 延べ81人参加 ・新宮津市総合計画策定委員会　６回開催	企　画　課
260		まち・ひと・しごと創生有識者会議運営事業	200	372	227,000	108,880	◆まち･ひと･しごと創生有識者会議の運営 ・まち･ひと･しごと創生有識者会議　１回開催	企　画　課
261		公平委員会運営事業	324	264	264,000	258,924	◆公平委員会の運営及び委員研修等	監査事務局
262		自治会活動支援事業	36,817	17,546	17,546,000	17,230,376	◆自治会活動への支援 ◆自治会集会施設等の整備への補助	総　務　課
263		自治振興交付金事業	2,093	3,110	3,110,000	3,108,561	◆財産区の収入の一部を地域振興に係る経費として 自治会に交付（上宮津財産区、世屋財産区関係）	農林水産課
264		選挙管理委員会運営事業	728	750	750,000	727,634	◆選挙管理委員会の運営	総　務　課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
265		統計調査事業	3,558	9,970	9,970,000	8,790,699	◆統計調査の実施	総　務　課
266		監査委員運営事業	3,785	当初予算 3,915 R2.12補正 △ 295	3,631,000	3,627,396	◆監査の実施及び監査委員の研修	監査事務局
267		市債償還元金 市債利子 一時借入金利子	1,403,376	1,290,426	1,286,244,000	1,283,545,742	◆市債の償還金（元金･利子） ◆一時借入金利子	財　政　課

その他

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
268		公共施設マネジメントの推進 （財産管理事業）	13,480	9,800	8,520,000	8,443,086	◆公共施設再編方針の策定 ◆施設再編方針に基づく個別施設計画（案）の作成 ◆市有財産処分に向けた測量調査、鑑定評価等	財　政　課
特1		土地建物造成事業特別会計	165,235	当初予算 9,230 R2.6補正 138,420	147,650,000	142,487,685	◆宅地造成･公共用地等の造成事業実施 ◆令和元年度収支に赤字が見込まれるため、令和２年度歳入を令和元年度の歳入不足に充当） ・繰上充用額142,358千円	企　画　課
特2		国民健康保険事業特別会計	2,162,626	当初予算 2,193,663 R2.9補正 21,150 R2.12補正 △ 70	2,214,743,000	2,132,329,606	◆国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者に必要な保険給付、保健事業を実施	税務・国保課
特3		後期高齢者医療特別会計	323,416	365,849	365,849,000	356,171,194	◆原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等、医療の適切な確保を図るため、京都府後期高齢者医療広域連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制度の安定的な運営を実施	税務・国保課
特4		介護保険事業特別会計	2,880,156	当初予算 2,916,321 R2.9補正 78,889 R2.12補正 △ 180	2,995,030,000	2,870,594,027	◆介護保険事業の運営	健康・介護課
特5		介護予防支援事業特別会計	13,077	18,384	18,384,000	11,350,589	◆要支援１、２の認定を受けた者に対するケアプランの作成等	健康・介護課
特6		休日応急診療所事業特別会計	21,268	21,386	21,386,000	19,728,430	◆日曜･祝日･年末年始における内科･小児科救急診療体制の確保 ・開所日数71日　受診者数217人	健康・介護課
特7		財産区特別会計	6,183	35,768	35,768,000	21,859,839	◆各財産区の運営	農林水産課
特8		水道事業会計	993,684	当初予算 1,500,988 R2.9補正 △ 17,471 R2.12補正 △ 775 R3.3補正 5,490	1,488,232,000	1,026,567,508	◆安全でおいしい水の供給 ・水道事業の管理・運営	上下水道課

		事　業　名	R元年度 決 算 額 （千円）	R2年度 当初予算額 （千円）	R2年度 最終予算額 （円）	R2年度 決 算 額 （円）	事　業　の　概　要	課　名
特９		下水道事業会計	－	当初予算 1,901,481 R2.9補正 △ 9,982 R2.12補正 △ 33,173 R3.3補正 500	1,858,826,000	1,763,409,144	◆公共用水域の水質の保全と生活環境の向上 ・下水道事業の管理・運営	上下水道課

人件費の推移（全会計ベース）

（単位：円）

区分	職員数（4/1）	ﾗｽﾊﾟｲﾚｽ指数	議員		委員等報酬		市長等特別職職員（H29～教育長含む）		一般職職員（H29～教育長除く）			退職手当組合負担金（特別職・一般職）	臨時職員賃金	これらに係る共済費	計
			報酬	手当	各種委員会等報酬	会計年度任用職員報酬（～R元 嘱託職員報酬）	給料	手当	給料	手当（時間外勤務手当除く）	時間外勤務手当				
平成29年度	235	97.5	66,661,666	21,490,625	116,063,134	168,911,029	21,444,000	8,898,150	902,650,737	462,464,374	132,391,000	200,100,367	46,550,681	368,756,410	2,516,382,173
平成30年度	233	96.8	59,037,627	18,197,874	124,993,868	167,942,977	27,479,999	8,655,299	894,617,499	461,550,277	119,650,000	195,710,636	45,133,150	368,512,706	2,491,481,912
令和元年度	223	96.9	55,800,000	18,181,487	116,535,258	169,778,935	21,984,000	9,161,499	866,829,523	441,009,585	73,545,000	164,511,947	48,373,997	352,495,762	2,338,206,993
令和2年度	218	96.8	55,803,223	17,914,125	66,023,331	217,345,500	21,984,000	9,026,825	843,225,744	447,856,695	62,751,585	151,463,852	0	335,359,004	2,228,753,884
前年度比	△ 5	△ 0.1	3,223	△ 267,362	△ 50,511,927	47,566,565	0	△ 134,674	△ 23,603,779	6,847,110	△ 10,793,415	△ 13,048,095	△ 48,373,997	△ 17,136,758	△ 109,453,109

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	地域生活を支える交通対策 （公共交通空白地有償運送支援事業・地方バス路線運行維持対策事業）	充実	ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
35,661 千円	45,768 千円	54,364 千円	75,021,000	69,896,639		6,117,500	3,400,000		60,379,139	58,853 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H25.10：宮津与謝エリア上限200円バス社会実験開始
・H27. 4：上宮津小の宮津小への統合により上宮津線の系統追加
・H27.10：宮津与謝エリア上限200円バス社会実験を２年間延長
・H29. 4：日置世屋線の木子への延伸、島陰新宮線の由良及び宮津市街地への延伸、養老・日置中の橋立中への統合により専用スクールバス運行
・H29.10：宮津与謝エリア上限200円バス本運行開始
・H30. 4：日ヶ谷線の薮田への延伸
・H30.10：丹後海陸交通(株)から、運転手不足のため枝線6路線からの運行撤退の申し入れ。以後、路線再編に向けて協議開始
・R 2. 4：上宮津線、養老線及び日ヶ谷線が廃止。新たに、地域主体による運行を開始

目的・目標

交通弱者を中心とした地域住民の移動手段及び鉄道路線からの二次交通手段を確保するため、地域主体の公共交通空白地有償運送事業及び路線バスの運行経費等を支援し、利便性向上等を進め適切な交通網の維持を図る。

期待される効果等

■市民参加の状況
・地域住民の代表、事業者等で構成する地域公共交通会議において、ダイヤ、運賃、路線等について協議
・住民主体による公共交通空白地有償運送を実施。

■期待される効果
・買物通院等移動の確保・利用者拡大による健全な公共交通の維持
【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】
KPI：200円バス利用者数 R2:35万人（H30：33万人）
KPI：公共交通空白地　R2：0集落（H30：4集落）

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■公共交通空白地有償運送支援事業　6,569,618円
○上宮津地区、養老・日ヶ谷地区、由良地区の公共交通空白地有償運送事業を支援

団体名	運行開始	乗車人員(人)	補助金額(円)	交付金額(円)
上宮津有償運送運営協議会	R2.4	638	1,859,430	360,000
橋北移送サービス運営協議会	R2.4	687	1,314,770	360,000
由良有償運送運営協議会	R2.10	78	883,028	180,000
合計		1,403	4,057,228	900,000

・実施団体の車両リース料　1,136,560円
・その他消耗品等　188,430円
○栗田地区200円タクシーの運行
・日本交通㈱宮津営業所への委託料　271,560円　（利用件数　260件）
・チケット発行経費　15,840円

■幹線路線への支援（伊根線・蒲入線・経ヶ岬線・与謝線）45,860,000円
乗車人員 245,642人　運行経費 187,260,439円
■枝線路線への支援（日ヶ谷線・養老線・田井線・上宮津線・島陰新宮由良線・日置世屋線）17,452,000円
乗車人員 3,407人　運行経費 18,025,000円
■田井地区バス回転場用地賃貸借料及び文珠地区バス回転場整備　15,021円

成果

・地域の協力を得る中で、利便性も向上した形で枝線路線の再編を行うことができた。
・上限200円バスの目標利用者数を導入前の2.0倍(34万人)とする中で、令和２年度（R1.10～R2.9)は、新型コロナウイルス感染症の影響による学校の休校及びインバウンド等の観光利用の落ち込みにより、対前年度比約28%減と目標を達成できなかった。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
■200円バス利用者数　R2目標：35万人 ⇒ R2実績：25万人　（R3目標：36万人）
■公共交通空白地　R2目標：0集落 ⇒ R2実績：4集落　（R3目標：0集落）

課題・検証

令和３年度中に策定予定の京都府北部地域連携都市圏公共交通計画及び宮津市地域公共交通計画により、広域並びに宮津市内の公共交通のあり方を検討し、持続可能で誰もが利用しやすい交通体系の整備を目指す必要がある。

担当部署	企画財政部　企画課　企画政策係	TEL	0772-45-1664	2

（単位：円）

事業名	いきいき健康長寿のまち"みやづ"推進事業	充実	ビジョン基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算 ※前年度繰越含む
46,387 千円	40,445 千円	29,389 千円	28,127,000	27,578,628		1,830,000		5,610,569	20,138,059	33,220 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・本市の高い高齢化率、介護認定率及び医療費の増加傾向を踏まえ、保健事業の充実により健康寿命の延伸を図ることが必要
・「医療保険制度の適正かつ効果的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」（R元.5施行）にて、市町村による後期高齢者の保健指導充実等が規定

目的・目標

病気の早期予防･早期発見や運動面、栄養面など多様な視点から市民の主体的な健康づくりを支援するとともに、高齢者のフレイル予防を含めた保健事業を充実させ、健康寿命の延伸を図る。

期待される効果等

・健康寿命の延伸
・介護給付費、医療費の抑制

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■早期予防・早期発見の推進　27,171,080円
○受診率の推移

	H29	H30	R1	R2（前年比）
特定健診	45.6%	44.8%	44.4%	― ※
特定保健指導	12.8%	25.6%	13.6%	
胃がん検診	18.8%	16.1%	13.2%	8.4%（△4.8%）
肺がん検診	39.0%	36.3%	34.6%	29.7%（△4.9%）
大腸がん検診	39.4%	36.7%	31.2%	28.6%（△2.6%）
乳がん検診	42.5%	38.6%	36.5%	30.0%（△6.5%）
子宮がん検診	36.2%	34.0%	30.5%	25.6%（△4.9%）

※R2年度特定健診受診率・特定保健指導実施率は、R3年末頃に確定

○R2特記事項
・新型コロナ感染防止のため「胃がん、乳がん、子宮がん検診」を別日程で実施
・推定塩分摂取量、アルブミンの検査を新たに実施
・保健指導については、高齢者サロンでのフレイル予防などを実施
・健康、介護、医療の情報から健康課題を分析

■健康づくりの推進（健康相談、教室など）　407,548円
○栄養教室（減塩、低栄養予防、骨粗しょう症予防など）114回　928人参加
○健康相談　福祉教育総合プラザほか、各公民館で実施。24回・延132人参加

成果

後期高齢者の保健指導の充実を求める中で、新型コロナ感染防止のため予定通りの実施は困難であったが、高齢者サロンでの健康指導、健康状態不明者（健診、医療とも未受診）の状態を把握した。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］

課題・検証

・Ｒ１からのがん検診有料化、Ｒ２は新型コロナ感染に係る懸念の影響もあり住民健診の受診率が落ちている。

担当部署	健康福祉部　健康・介護課　健康増進係	TEL	0772-45-1624	3

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	スポーツを通じた人とまちの元気づくりに向けて （スポーツ振興事業・市民体育館整備事業）	一部 新規	ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略 政策パッケージ	5．時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
8,362　千円	6,963　千円	10,300　千円	10,300,000	7,947,846	982,872	1,841,000		2,504,000	2,619,974	5,913　千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H20．3：宮津市スポーツ振興計画策定
・H30.12：第2期宮津市スポーツ推進計画策定
　基本理念
　「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」

目的・目標

第2期宮津市スポーツ推進計画に掲げる「ライフステージに応じたスポーツの推進」「多様なスポーツを支える環境の充実」「まちに夢と元気を与える競技スポーツの振興」「スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進」の4つの基本目標に基づきスポーツ施策を推進する。

期待される効果等

・スポーツ実施率の向上
・競技力の向上
・全国的、広域的な大会への出場件数の増加
・スポーツ交流人口の増加
・市民体育館トレーニング機器の更新による利用者の安心安全の確保と利便性向上
・スポーツを通じた健康づくりの推進

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

○スポーツ振興事業　2,838,874円
■ライフステージに応じたスポーツの推進　559,574円
◆第2回宮津市民スポーツDAYと連携したSOMPOボールゲームフェスタの開催
年長児・小学生を対象にトップアスリートによる競技体験や技術指導等により、スポーツに触れる機会の創出やスポーツ交流の実施
・参加者　141名（うち年長児・小学生98名、保護者43名）
・内　容　年長児・小学校低学年【あそビバ!!】
　親子で行うボールを使った運動
　小学校高学年【キッズチャレンジ】
　ラグビー、サッカー、バレーボール、バスケットボール
◆巡回ニュースポーツ教室、各種スポーツ教室等の計画・実施
■まちに夢と元気を与える競技スポーツの振興　2,162,600円
全国大会等出場激励金8件・懸垂幕掲出6件、宮津市スポーツ協会への支援
■スポーツ交流によるまちの元気づくりの推進　116,700円
全国的、広域的なスポーツ大会開催支援1件
○市民体育館整備事業　5,108,972円
■多様なスポーツを支える環境の充実
トレーニング室大型トレーニング機器（サーキットステーション）更新ほか

成果

・年長児、小学生を対象に市民スポーツDAY（SOMPOボールゲームフェスタ）を開催し、トップアスリートの指導のもとボールゲームの楽しさや技術指導等によるスポーツに触れる機会の創出や他校児童との交流を図ることができた。
・市民のスポーツの活動拠点である市民体育館のトレーニング室大型トレーニング機器（サーキットステーション）を更新することにより、利用者の安全確保と利便性の向上を図ることができた。

課題・検証

・スポーツの多様化が進む中、観光や健康増進など地域特性を活かした取組が求められることから、全国的、広域的なスポーツ大会等の誘致によるスポーツツーリズム（スポーツ×旅行・観光）などを推進していく必要がある。
・スポーツ実施率の向上

担当部署	企画財政部　企画課　企画政策係	TEL	0772-45-1664	5・6

（単位：円）

事業名	新し尿処理施設整備準備事業	継続	ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算 ※前年度繰越含む	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算 ※前年度繰越含む
― 千円	10,698 千円	20,548 千円	20,548,000	6,435,710		526,000			5,909,710	13,024 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H31.1：整備候補地について、地元から調査同意（地質調査）を得る。（H31.3　地質調査着手）
・R元.7：地質調査結果及び施設建設について説明を行い、施設建設への同意を依頼。
・R元.12：整備候補地への施設建設について、地元から同意を得る。

目的・目標

し尿、浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定を図るため、新し尿処理施設（下水道希釈投入施設）の早期整備を目指す。

期待される効果等

・し尿、浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定確保

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■新し尿処理施設用地等に関する不動産鑑定評価業務　1,052,920円
下水道希釈投入施設の建設に向け、当該土地（宮津湾浄化センター用地及び宮津市し尿処理施設用地）の不動産鑑定評価を実施

■新し尿処理施設用地等に関する用地測量及び分筆登記　2,157,100円
現し尿処理施設用地の整理を図るため、用地測量及び分筆登記を実施

■新し尿処理施設の基本設計　3,179,000円（部分払い）
基本設計業務委託に係る積算及び入札準備事務等の管理諸費等

■事務費　46,690円

成果

新し尿処理施設の整備に向け、基本設計及び用地の整理を行い、事業の進捗に取り組んだ。

課題・検証

・し尿処理施設の建設コスト削減

担当部署	建設部　上下水道課　施設整備係 市民環境部　市民環境課　環境衛生係	TEL	45-1634 45-1617	7

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	ため池ハザードマップの作成（農業基盤整備事業）	新規	ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
－ 千円	－ 千円	2,541 千円	2,618,000	2,618,000		2,618,000			0	― 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）		実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容	
背景・経緯	R元.7：農業用ため池の管理及び保全に関する法律の施行	事業実績	■農業水路等長寿命化・防災減災事業　2,618,000円 農業用ため池を管理・所有する地域住民とのワークショップ等を通じ、農業用ため池の地域特性の把握を行った上で、災害による堤防決壊時、浸水予想区域や浸水到達時間、避難場所のマップ化など避難情報の整備を行い、各戸へ配布を行った。 宮津市HPでも公表している。 ・対　　象　防災重点ため池 ・箇 所 数　2ヶ所　【国分地区国分池・田原地区前田池】 ・委 託 費　2,618,000円 ・委 託 先　京都府土地改良事業団体連合会 ・委託期間　令和2年5月11日～令和2年9月30日
目的・目標	人的被害が発生するおそれのある「防災重点ため池」について、マップの作成を通じて流域住民等の防災意識の向上を図るとともに、スピーディーな避難行動等につなげる。	成果	災害時、地域住民による避難方法の周知及び防災意識の向上が図れた。
期待される効果等	市民の安心・安全で健やかな暮らしの実現	課題・検証	
		担当部署	産業経済部　農林水産課　産業基盤係　TEL　0772-45-1627

令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	地域の安全と安心を守る暮らしの基盤整備 （道路新設改良事業・未就学児等緊急交通安全対策事業）	一部 新規	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	―
			総合戦略 政策パッケージ	5．時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算 ※前年度繰越含む	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算 ※前年度繰越含む
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
70,225　千円	74,657　千円	158,461　千円	183,260,000	107,184,486	48,837,973		53,700,000		4,646,513	161,311　千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

社会資本整備総合交付金等を活用し、生活に密着した道路を計画的に点検・整備を行う。
- H24：橋梁長寿命化修繕計画策定
- H25：道路ストック点検実施
- H26：宮津市通学路交通安全プログラム策定
- H26～H29:近接目視による橋梁、トンネルの定期点検
- R1.6:未就学児集団移動経路の緊急点検実施
- R1.9:教育・保育施設管理者・道路管理者・警察との合同点検実施

目的・目標

道路・橋りょう等の老朽化が進む中、道路ストック点検、橋梁長寿命化修繕計画及び宮津市通学路交通安全プログラムに基づき、施設の計画的な整備・修繕や長寿命化を図り、安全で安心して暮らせる快適な生活環境づくりを進める。

期待される効果等

市民が安全で安心して過ごし続けられるよう、快適な暮らしの基盤の維持・整備に努め、道路の機能性や安全性を図ることができる。
○児童・生徒の安全な通学環境の確保
○道路施設の危険性に対する道路利用者の安全確保

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

（単位:円）

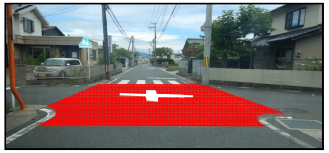
	名称	金額	概要
工事費	中田橋関連道路改良工事	12,756,700	中田橋接道に伴う道路改良
	中田線(中田橋)上部工架設工事	21,213,900	上部工架設
	波路上司線撥雲洞トンネル付属設備工事	1,241,900	照明設備　N=13基(LED化)
	宮津中学校線道路改良工事	21,762,400	通学路安全対策(路肩拡幅)
	駅裏安智線1号橋他橋梁保全工事	3,554,100	健全度Ⅲの緊急度の高い橋梁の修繕　3橋
	惣宮村線他未就学児集団移動経路安全対策工事	12,487,200	危険箇所17箇所中10箇所の対策
	脇狩場線道路改良工事	1,196,800	自然斜面(渓流)からの浸水対策
	小田辛皮線他道路改良工事	15,189,900	危険法面対策等事業
	(小計)	89,402,900	
委託費	中橋惣線道路改良工事に伴う建物調査業務	1,595,000	道路拡幅により支障となる建物調査
	橋梁定期点検業務	9,253,200	定期点検N=44橋(2順目)
	中田橋耐震部材詳細設計業務	165,000	耐震部材照査
	浦館線測量設計業務	5,472,500	国土強靭化に伴う危険法面の測量設計
	特別単価調査	291,500	PC桁特別単価調査
	(小計)	16,777,200	
事務費等		1,004,386	需用費、使用料等
合計		107,184,486	

成果

事業実績に記載のとおり、道路の機能性や安全性の向上を図ることができた。

従　前

改良



課題・検証

宮津市通学路交通安全プログラムに基づき、早期・計画的な整備・修繕を進めていく必要がある。

担当部署	建設部　土木管理課　土木係	TEL	0772-45-1629	9・231

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	河川整備事業	新規	ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	—
			総合戦略政策パッケージ	5．時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算 ※前年度繰越含む	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算 ※前年度繰越含む
－ 千円	－ 千円	120,000 千円	118,666,000	56,458,285			56,300,000		158,285	207,195 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

■頻繁に発生する滝馬川流域の浸水被害
［床上・床下浸水］
・H16.10　台風23号
・H25.9　台風18号
・H29　台風18号　台風21号
・H30　７月豪雨　台風24号

■滝馬川河川改修促進協議会と意見交換等を重ね、令和元年度に詳細設計を実施
■宮津市国土強靭化地域計画策定（令和元年12月）

目的・目標

地域住民が安全・安心に生活できるよう、頻発する滝馬川流域の浸水被害の軽減を図る。

期待される効果等

・河川整備による浸水被害の軽減と、地域住民の安全・安心の確保

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

（単位：円）

	名称	金額	概要
工事費	滝馬川河川整備工事	33,500,000	前払金支出
	（小計）	33,500,000	
委託費	滝馬川測量設計業務委託	10,877,900	測量設計
	滝馬川用地測量業務委託	7,471,200	用地測量,用地調査費
	滝馬川地質調査業務委託	4,207,500	地質調査
	（小計）	22,556,600	
公有財産購入費		401,685	5筆
合計		56,458,285	

成果

滝馬川整備計画に基づき、第１工区関連用地の取得及び第１工区（L=104m区間）の工事に着手し、地域住民の安全・安心の確保に向けた事業の進捗を図った。

課題・検証

昨年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」を踏まえ、早期・計画的に河川整備を進めていく必要がある。

担当部署	建設部　土木管理課　土木係	TEL	0772-45-1629	10

（単位：円）

事業名	日置地区公民館の移転整備（公民館整備事業）	充実	ビジョン基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	5．時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
－ 千円	1,257 千円	88,600 千円	88,820,000	88,819,510	22,048,706	563,500	65,500,000		707,304	－ 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

施設の老朽化により、大規模改修または建設整備が必要となっている日置地区公民館について、旧日置中学校を利活用し、移転整備するもの。

H26.4：日置中学校を橋立中学校に統合（H29年3月廃校）
H30.7：日置地区自治連合会から「旧日置中学校の校舎を地区公民館･連絡所として活用すること」などについての要望
R元.7：日置地区公民館移転工事実施設計

目的・目標

日置地区公民館を旧日置中学校校舎に移転整備し、公民館活動及び地域コミュニティ活動の活性化、地域振興を図るもの。
あわせて、災害時における避難所機能も整備。

期待される効果等

・公共施設マネジメント推進
遊休施設（廃校舎）を活用した公共施設の再編
・生涯学習機会、健康増進、地域防災等の充実

事業実績

■日置地区公民館移転整備 88,819,510円
・工事請負費　87,692,000円
旧日置中学校校舎の一部（１階部分）を日置地区公民館（地区連絡所機能を含む）に改修
（整備内容）鉄筋コンクリート造３階建　1,583㎡のうち1階部分639.77㎡
事務室、会議室（洋室1、和室1）、多目的ホール、図書室、調理実習室
多目的トイレほか
・備品購入費ほか　1,127,510円
事務機器、電化製品

成果

移転整備により、公民館活動及び地域コミュニティの活動の拠点機能を充実するとともに、災害時における避難所機能を併設したことにより、防災機能も向上した。
日置地区公民館利用状況
H29:1,731人、H30:1,755人、R元:1,734人、R2:1,056人

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］

課題・検証

「新型コロナウイルス感染症」の拡大、緊急事態宣言などにより、施設の利用制限、公民館活動の自粛等で、利用率が低迷した。
withコロナ、afterコロナにおける公民館活動の事業展開の検討が必要。

担当部署	教育委員会事務局　社会教育課　社会教育係	TEL	0772-45-1642	11

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	災害に強い森づくり事業	新規	ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
－ 千円	－ 千円	0 千円	3,503,000	3,501,280		3,500,000			1,280	38,500 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・台風23号（H16.10）、集中豪雨（H20.7、H30.7）等により国分地区仏川・三谷川流域で山腹法面の崩壊や河川氾濫等が発生。関係自治会から土砂流出対策の要望
・R元.12　関係自治会及び地権者説明会を開催し、事業への協力を依頼
・R02.3　事業化に必要な保安林指定同意及び土地使用承諾
・R02.5　府実施箇所の決定

目的・目標

治山施設の整備や森林整備を実施し、地域の安全・安心を図る。

期待される効果等

市民の安心・安全で健やかな暮らしの実現

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■災害に強い森づくり事業　3,501,280円
森林の荒廃や渓流の浸食が見られる国分地区（仏川）において、土砂流出対策として、治山ダム整備のための測量設計及び竹林伐採を行った。

・森林整備（竹林整備）　0.22ha
・測量設計（治山ダム１基ほか）　一式

成果

竹林整備等の実施により、地域の安全・安心の向上が図れた。

課題・検証

担当部署	産業経済部　農林水産課　産業基盤係	TEL	0772-45-1627	12

（単位：円）

事業名	子育ての輪づくり支援 （地域子育て支援事業）	充実	ビジョン基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	4．若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
15,004 千円	14,458 千円	16,418 千円	15,370,000	15,320,905	4,773,000	5,438,300			5,109,605	18,676 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H29.11：宮津阪急ビル内に子育て支援センター「にっこりあ」を開設、利用者支援事業を開始。
・R2.4　：会員同士が相互に子育ての援助活動を行うファミリー・サポート・センター事業の預かり場所に「にっこりあ」等を活用できるよう制度改正するほか、ベビーマッサージ等の乳児向け事業を拡充。

目的・目標

子どもを育てることに楽しさを感じられる環境づくり及び地域ぐるみでの子育て支援をより積極的に推進するため、子育て支援センター「にっこりあ」を中心として、保護者同士の交流を促進し、地域の子育て支援の核となる人材の育成につなげる。
・京都府「子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金」の内示

期待される効果等

みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現
・地域ぐるみでの子育て支援の推進
・地域の子育て支援の核となる人材の育成

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■子育て支援センターにっこりあの運営　7,952,869円
（(福)城東福祉会に委託）

■利用者支援事業の実施　6,192,856円
（(福)城東福祉会に委託し、子育て支援センターにっこりあで実施）

■宮津市ファミリー・サポート・センターの運営　177,210円

■子育ての輪づくり支援事業　997,970円［9月補正］
○子育て世代の交流促進・人材育成　500,000円
（(福)城東福祉会に委託し、子育て支援センターにっこりあで実施）
・親子向けワークショップの開催　3講座・計5回
・子育て支援センター職員対象の研修会　3回
・子育てサークル・サロン等への貸出遊具の購入
○LINEを活用した情報発信　299,970円
（宮津メディアセンターに委託）
○おやこライター養成講座の開催　198,000円

成果

・多様な催しを通じて、親子や子育て家庭同士が交流できた。
・子育て家庭の様々な相談に応じた。
・子育て支援を担う人材育成について職員が研鑽を深めた。
・きめ細かな子育て情報をLINEで届ける体制を構築し、定期的に配信した。

課題・検証

よりきめ細かで効果的な情報発信の内容、体制の充実。

担当部署	健康福祉部　社会福祉課　子育て支援係	TEL	0772-45- 1621	14

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	質の高い学力の充実・向上と地域とともにある学校づくり（小中一貫教育推進事業）	充実	ビジョン基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	4．若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
13,407 千円	11,261 千円	11,289 千円	11,345,000	11,281,917		1,207,020		6,000,000	4,074,897	― 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H28．3：宮津市教育振興計画策定
・H28．7：宮津市小中一貫教育研究推進協議会設置
・H29．1：宮津市小中一貫教育基本方針策定
・H29.12：宮津市小中一貫教育推進基本計画策定
・H30．2：宮津市学力向上プラン策定

目的・目標

宮津市教育振興計画における基本方針「明日の宮津を創る子どもの育成」に位置付ける“質の高い学力の充実・向上”“心身ともに健やかな子どもの育成”を推進するとともに、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」を目指す。

期待される効果等

・系統性を重視した教育課程編成による学力向上
・「小１プロブレム」「中１ギャップ」等の解消
・質の高い学力の充実・向上
（基礎・基本の徹底、言語活動を通じた表現力の育成
学習意欲の向上）
・地域連携による社会に開かれた教育課程の実現

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

栗田学院・宮津学院での小中一貫教育を本格実施するとともに、リモート授業等も活用し4小学校（吉津小・府中小・日置小・養老小）での連携学習の充実を図った。また、学力サポートコーディネーターによる算数・数学の学力向上を図るとともに、認知能力と非認知能力を一体的に育むための保幼小接続に係る取組などを進めた。

■小中一貫教育推進事業　11,281,917円
○「学力サポートコーディネーター（指導主事）」による算数・数学の指導力向上
市内6小学校への訪問指導（児童の指導補助、教員の授業改善に係る指導など）
○「未来を拓く学校づくり」推進事業の展開
※京都府教育委員会からの委託事業（R元年度から３ヶ年、宮津学院で実施）
認知能力と非認知能力をバランス良く育てる教育の研究
（就学前からの非認知力の向上、あいさつ運動、指導力向上研修の実施など）
○宮津市教育オンラインフォーラム動画配信
（小中一貫教育の取組状況等の市民への周知）
配信開始日：令和3年3月5日（金）
内容：実践報告「ふるさとみやづ学」と「地域とともにある学校」について
○小中一貫教育専門職員の配置（1名）

成果

・小学校への中学校教員の乗り入れ授業や、学力サポートコーディネーターの訪問指導を通して、教員の授業力向上を図ることができた。
（学力向上プランに基づき、教育振興事業において、漢字能力検定を活用した語彙力向上や英語検定を活用した表現力向上を図ることができた。）

・小中一貫教育の取り組みを基盤として、学院（中学校校区）単位でコミュニティ・スクールの本格導入を進めることができた。

課題・検証

小中一貫教育の推進（学力向上プランに基づく取組）と併せて、コミュニティ・スクールの取組を推進することにより、「質の高い学力の充実・向上」と「地域とともにある学校づくり」を一体的に進めていく必要がある。

担当部署	教育委員会事務局　学校教育課　学校教育係	TEL	0772-45-1641	16

（単位：円）

事業名	のびのび放課後クラブ事業	充実	ビジョン基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	4．若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
97,336 千円	59,116 千円	36,599 千円	38,492,000	36,021,655	10,793,650	9,683,000		6,057,769	9,487,236	37,016 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・S41.4：宮津のびのび放課後児童クラブ開設、H15.9：吉津のびのび放課後児童クラブ開設、H20.11：府中放課後クラブ開設、H21.7：養老わいわいクラブ開設、H22. 4：由良浜っこ児童クラブ開設
・H30. 1：宮津のびのび放課後児童クラブを宮津小学校新校舎内に移設
・H31. 3：栗田のびのび放課後児童クラブ、府中のびのび放課後児童クラブ施設完成
・R元.11：吉津のびのび放課後児童クラブを吉津小学校内に移転整備
（地域運営の由良浜っこ児童クラブ及び府中放課後クラブはH31.4より、養老わいわいクラブはR2.2より学校敷地内等での市直営実施（法人委託）を開始する中で終了）

目的・目標

保護者の多様な雇用形態に対応し、次代を担う人材を育成するため、安全･安心に放課後等を児童が過ごすことができるよう放課後児童クラブの充実を図る。

期待される効果等

・学校敷地内等での運営施設数：4箇所（R２）

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

名称	開設場所	利用人数	開設時間	運営方法
宮津	宮津小学校新校舎内1階	105名	【平日】下校時～午後7時【土曜･長期休業等】午前7時30分～午後7時	直営
吉津(新設)	吉津小学校校舎内1階	16名		法人委託
栗田	栗田小学校敷地内建物	11名		法人委託
府中	府中小学校校舎内1階	21名		法人委託

■市直営の宮津のびのび放課後児童クラブ運営　17,720,910円
■栗田・吉津・府中のびのび放課後児童クラブ運営　16,219,575円

○４月21日～５月20日までの臨時休校及び５月31日までの学校教育活動の段階的再開にあたり、放課後児童クラブを臨時に開設。
■臨時開設経費　：552,846円（宮津）　1,528,324円（栗田・吉津・府中）
（■利用自粛や臨時休校に伴う利用者負担額について、251,480円還付を行った。）

成果

・吉津のびのび放課後児童クラブを小学校敷地内に移転整備し、受入環境の充実が図られた。
・コロナウイルス感染拡大防止対策による学校の臨時休校中には、放課後児童クラブを臨時で開設し、感染防止対策をしながら、受け入れを行った。
・開設時間を引き続き午後７時までとし、保護者の多様な雇用形態に対応した。

課題・検証

よりきめ細やかな受入体制の充実、指導員等の質の向上

担当部署	教育委員会事務局　学校教育課　学校教育係	TEL	0772-45-1641	18

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	学校給食運営事業	一部新規	ビジョン基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	4．若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
207,457 千円	198,340 千円	209,895 千円	238,195,000	232,999,630		4,501,700	23,600,000	51,974,728	152,923,202	211,475 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

第１期宮津市子ども･子育て支援事業計画(H27.2)、宮津市教育振興計画(H28.3)、学校施設整備年次計画(H29.8)等に基づく学校教育環境の整備･充実など
⇒H28. 4～：幼稚園教育・保育の充実
（３年教育の実施、一時預かり事業の開始）
H30. 8～：ｾﾝﾀｰ方式給食開始
（中学校給食開始、４小学校ｾﾝﾀｰ方式化へ移行）
R元.10～：幼児教育・保育の無償化

目的・目標

就学前の教育･保育環境の充実、保幼小中で一貫した食育の推進等を図るため、令和3年度からの幼稚園給食開始に向けて必要な準備を進めていく。

期待される効果等

［宮津市教育振興計画 基本方針１の実現］
幼稚園給食全園で実施

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

【幼稚園給食の導入に向けて】
令和３年４月からの幼稚園給食（センター方式給食）の開始に向け、配膳室等を整備するなど必要な準備を行った。
■令和３年度からの幼稚園給食開始に向けた準備　30,374,900円
○給食配膳室等実施設計　2,090,000円
○給食配膳室等の整備（宮津幼稚園、栗田幼稚園）　22,284,900円
・宮津幼稚園：給食配膳室の整備（空き教室を改修）
・栗田幼稚園：ランチルームの整備（栗田小学校内調理実習室と兼用）
○給食用備品の購入など　6,000,000円
・食缶、園児用食器、配膳台、牛乳保冷庫、喫食用の机・椅子ほか

【学校給食の運営】
平成30年度２学期から導入した民設民営によるセンター方式給食及び自校給食（２小学校）の運営を年間を通して実施した。
■学校給食の運営経費　202,624,730円
○センター方式給食提供分　198,940,765円
・4小学校・2中学校における学校給食運営経費（学校給食調理等業務委託料ほか）
○自校方式給食提供分ほか　3,683,965円
・2小学校における学校給食運営経費（報酬ほか）

成果

幼稚園給食開始に向けた準備を整え、就学前の教育・保育環境の充実、子育てにかかる保護者の負担軽減を図った。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
■中学校完全給食実施数
H30目標：全校 ⇒ H30実績：全校（R2目標：全校）

課題・検証

安全・安心な学校給食を提供する中での食育・給食指導の充実。

担当部署	教育委員会事務局 学校教育課　学校給食・施設係	TEL	0772-45-1662	19

（単位：円）

事業名	強い農業づくり支援事業 （元気な営農推進事業と里の地域資源活用事業を統合）	充実	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	1．しごとをつくり、安心して働けるようにする		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
40,352　千円	26,630　千円	7,623　千円	8,604,000	7,686,752		4,520,000			3,166,752	500　千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

〔スマート農業〕
- R元～　京都府が「スマート農林水産業実装チャレンジ事業」を創設

〔オリーブ〕
- H25～26　オリーブ栽培の実証を開始
- H27　経営戦略の策定　日伊文化交流協会との連携協定の締結
  実証結果を踏まえ栽培の開始　加工品生産基盤の支援
- H28～30　オリーブ産業をマネジメント･けん引する「オリーブオイル宮津」の設立
- R元　宮津オリーブ生産者の会（44会員）の設立

目的・目標

農業者及び農業者団体が行うスマート技術（機械及び設備）の導入を支援し、作業性と品質・生産性の向上を図る。
また、オリーブ生産者の技術や品質向上のための取組を支援し、オリーブの産業化を図る。

期待される効果等

- 作業の効率化・省力化及び品質･生産性の向上
- 新たな特産品開発
- 観光消費の拡大や外貨獲得

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■スマート技術農業機械等の導入を支援　4,520,000円（府補助金4,520,000円）

事業実施主体	事業内容	事業費(円)	補助率	補助金額(円)
認定農業者（松尾地区）	食味・収量センサー機能付きコンバインの導入	6,820,000	3/10	1,860,000
上宮津無農薬米部会	水田除草機の導入	4,060,100	4/10	1,624,000
杉末農家組合	遠赤外線乾燥機の導入	2,072,400	1/2	1,036,000

■オリーブの品質向上への支援　671,800円
◇オリーブ生産者組織への支援　300,000円
　オリーブの産業化を進めるために、「宮津オリーブ生産者の会」が実施するオリーブの栽培･加工技術及び品質の向上を図る取組を支援
◇搾油機の点検整備　371,800円
　衛生管理強化のための整備と自主整備用の備品等の購入

■地域おこし協力隊の活動支援等　2,494,952円
◇地域おこし協力隊の配置（継続1名：R2.9月任期満了）
　人材の定住を促進し、地域活性化を図るため、市内オリーブ生産者の支援等
◇地域おこし協力隊の起業支援補助金
　オリーブ事業の起業を支援（R2.3月任期満了者1名）

成果

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
■オリーブの出荷量
R2目標：出荷量1.0t⇒ R2実績：荷量0.79t

課題・検証

オリーブの品質の維持･向上、ブランド力を高めるため、生産者の連携をより密にしていくことが重要。また一方で、オリーブ栽培の取組を市民に浸透させ、市内外に特産品として発信していくことが必要。

担当部署	産業経済部　農林水産課　農林水産係	TEL	0772-45-1626	20

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	強い水産業づくり支援事業 （海の地域資源活用事業から名称変更）	充実	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	1．しごとをつくり、安心して働けるようにする		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
4,763　千円	2,820　千円	1,894　千円	1,893,000	1,608,000		218,000			1,390,000	1,100　千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・漁獲量の減少や魚価の不安定等により、安定的な経営が難しい状況となっている。
・漁業者の高齢化や従事者の減少により、生産力が低下している。

目的・目標

漁業者・漁業団体が行うスマート技術（機械、施設）の導入を支援し、作業性と品質・生産性の向上を図る。
また、漁業者等が実施するつくり育てる漁業の取組を支援し、漁業経営の安定化、多角化を推進する。

期待される効果等

・漁業所得の向上
・作業の効率化・省力化及び品質・生産性の向上

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■スマート技術導入への支援　218,000円（府補助金218,000円）

事業内容	実施主体	事業費	補助対象経費	補助率	補助金額
丹後とり貝生産用アシストスーツ、水中ドローンの導入	栗田とり貝育成振興漁業者会	487,850円	487,850円	4.5/10	218,000円

■つくり育てる漁業の推進　1,390,000円

事業内容	実施主体	事業費	補助対象経費	補助率	補助金額
岩がき育成筏設置事業	京都府漁業協同組合	3,686,806円	3,351,642円	1/6	550,000円
原木魚礁設置事業		1,766,600円	998,600円	4/10	390,000円
漁場整備事業		900,000円	900,000円	1/2	450,000円
合計		6,353,406円	5,250,242円		1,390,000円

成果

・原木魚礁設置…釣り延縄漁業の資源繁殖、漁獲効率が向上
・漁場整備…プラスチックごみ、ヒトデ等が海底から除去され漁場環境が改善
・岩がき育成筏等整備…育成量の増大、作業の効率化により漁業生産が拡大
・アシストスーツ等導入…とり貝育成の作業性、生産性が向上

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
■ナマコ等育成水産物の出荷額
R2目標：3,600万円 ⇒ R2実績：2,121万円

課題・検証

水産物の安定生産に向けて、引き続き、さらなる事業の推進、生産者・関係機関等の連携が必要。

担当部署	産業経済部　農林水産課　農林水産係	TEL	0772-45-1626	22

（単位：円）

事業名	浜町にぎわいづくり推進事業	充実	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	1．しごとをつくり、安心して働けるようにする		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算 ※前年度繰越含む
62,400 千円	58,292 千円	33,989 千円	37,489,000	33,975,111	4,818,160	6,214,500		5,892,210	17,050,241	31,243 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H26：浜町立体駐車場の取得（市営化）
・H27：観光交流センターオープン、道の駅登録、宮津まちづくり会議報告書の提出
・H28：地域振興拠点の具体化に向けた宮津商工会議所による事業パートナーの選定
・H29：道の駅内にパイロット事業施設「おさかなキッチンみやづ」オープン
（パイロット事業期間：H29.8～R2.7）

目的・目標

浜町地区周辺を魅力ある集客ゾーンとし、地域産業の振興及びまちなかの活性化を図る。

期待される効果等

・運営の効率化
・サービス・集客の向上
【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】
観光交流人口　R2：310万人（H30：297万人）
観光消費額　R2：150億円（H30：95億円）
外国人観光客宿泊数　R2：6万人（H30：4.2万人）

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■道の駅「海の京都　宮津」及び立体駐車場の運営等　33,975,111円

○道の駅「海の京都　宮津」の運営　19,400,344円
＊R2.8より観光案内所、農産物等直売所、飲食物等販売所、平面駐車場を一体的に指定管理　［指定管理者：ハマカゼプロジェクト株式会社（R2.8～R7.3）］
＜主な経費＞指定管理者委託料　7,334,000円ほか
＜実　績　等＞・観光案内所来場者数 39,044人
・レジ通過人数 農産物等直売所:79,048人、飲食物等販売所:22,100人
・売上 農産物等直売所:108,438千円、飲食物販売所:31,666千円
＊観光客の受入体制整備（島崎公園の臨時駐車場化、平面駐車場区画増等）に着手（執行額930,160円（看板の整備等）、繰越額2,553,000円）

○立体駐車場等の運営　14,574,767円
＊R2.4より24時間開場を実施、R2.8より料金体系の変更、R2.12より精算機等リニューアル
＜主な経費＞警備、清掃、管制システム保守に係る業務委託料　8,398,566円
施設修繕　1,617,980円　ほか
＜実　績　等＞・立体駐車場利用台数　184,204台

成果

・コロナ禍の厳しい状況の中、引き続き浜町地区のにぎわい創出やまちなか観光に寄与した。
・指定管理者制度の導入（R2.8～）により施設の管理運営を一体的に行うことができた。
・道の駅来訪者数：H30 162,965人、R1 171,162人、R2 140,202人

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
・観光交流人口　R2目標:310万人 ⇒ R2実績:214万人　※新型ｺﾛﾅの影響による減
・観光消費額の拡大　R2目標:150億円 ⇒ R2実績:75.5億円　〃
・外国人観光客宿泊数 R2目標:6万人 ⇒ R2実績:0.6万人　〃

課題・検証

引き続き、浜町を起点としたさらなるまちなかのにぎわいの創出のため、指定管理者の支援及び安心安全に利用できる施設管理に努める必要がある。

担当部署	産業経済部　商工観光課　商工係	TEL	0772-45-1663	24・58

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	魅力ある商いづくり事業	継続	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	1．しごとをつくり、安心して働けるようにする		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算 ※前年度繰越含む
― 千円	― 千円	6,804 千円	12,604,000	6,274,000		3,037,000			3,237,000	18,850 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H24　：特産品等振興事業補助金を創設
・H25.2：学校法人大和学園・宮津市連携協定を締結
・H26　：宮津市魅力ある商いのまちづくり支援事業補助金を創設

目的・目標

農林水産業と商工業、観光業との連携を深め、６次産業化、地産地商（消）等を推進し、地域経済力を高める。
また、市内の空き家及び空き店舗を活用した新規出店を促進し、商店街の活性化や観光商業化を図る。

期待される効果等

・新たな土産物開発や新規出店による観光消費額の拡大
・地元産品のブランド化、高付加価値化
【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】
・観光消費額 R2：150億円（ H30:95億円）
・空き店舗を活用した新規出店数
６年間で20件（H26～H30：16件）

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■魅力ある商いのまちづくり支援事業補助金　4,470,000円
空き家等を活用し新規出店する者に対し、改修費及び運営費を支援
・補助額　空家等店舗改修支援　2分の1（上限1,000千円）
　　観光商業化支援（運営費支援の上乗せ）　2分の1（上限1,000千円）
・実　績　4件　4,470,000円（うち、観光商業化支援3件、2,080,000円）

■特産品等振興事業補助金　1,000,000円
市内の農林水産物を使用した特産品づくりや販路開拓を強化するため、商工会議所が行う伴走支援による商品開発等の取組を支援
＜会議所支援内容＞・補助額10分の10（上限100千円）・実績　10件　1,000,000円

■大和学園との連携事業　804,000円
＜料理メニュー･商品開発アドバイザー事業＞
既存商品の改良や新規商品の開発指導、アドバイスを大和学園講師が実施
・実績　2事業者（延べ2回派遣）
＜食のブラッシュアップセミナー＞
大和学園講師による飲食店の料理人等を対象とした食のレベルアップ（QSCの向上やインバウンド対応など）を目指したセミナーを開催
・実績　3回開催　延べ参加人数17人（実人数9人）
※栗田小学校５年生が考えた特産品メニューの商品化　5事業者が４品をメニュー化

成果

・宮津市創業支援計画（R2.6.26認定）に基づき創業希望者等への包括的な支援を実施
　市への創業相談者数 11名（目標3名）、商工会議所の創業指導者数 12名（目標7名）、創業者数11名（目標5名）
・創業ゼミ2020（特定創業支援等事業）参加者数 2名

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
・観光消費額　R2目標：150億円 ⇒ R2実績：75.5億円
・空き店舗を活用した新規出店数　目標:6年間で20件 ⇒ 実績:6年間で18件（H27～R2）

課題・検証

・市内経済活動のさらなる活性化を図るため、創業等に軸足を置いた制度の創設
・関係機関（商工会議所、金融機関、大和学園、大学等）と連携を深め、市内事業者等支援の充実を図る必要がある

担当部署	産業経済部　商工観光課　商工係	TEL	0772-45-1663	25

（単位：円）

事業名	大河ドラマ「麒麟がくる」ゆかりの地観光推進事業	新規	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	1．しごとをつくり、安心して働けるようにする		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
－ 千円	－ 千円	3,000 千円	3,000,000	2,969,628	923,000			1,000,000	1,046,628	― 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H23.4:「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」設立(広域連携組織)
・H24.8:「細川忠興公・ガラシャ夫人生誕450年記念事業実行委員会」設立
・H30.4:2020年大河ドラマ「麒麟がくる」放送決定
・H31.1:「大河ドラマ「麒麟がくる」宮津市推進協議会」設立
・R2.1～12:大河ドラマ「麒麟がくる」放送

目的・目標

大河ドラマ放送を契機に、城下町宮津の礎を築いた細川ゆかりの地として、宮津市街地の歴史文化を情報発信し観光誘客を推進するとともに、市民に対しては歴史文化を深堀りし意識醸成することで、地域への愛着心の向上を図る。

期待される効果等

○宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI
・観光交流人口　R2:310万人（H30：約297人）
・観光消費額の拡大　R2:150億円（H30:約95億円）
・外国人観光客宿泊数　R2:6万人（H30：約4.2万人）
○市民の地域への愛着心の向上
【市民参加の状況】
宮津市推進協議会に市民団体等30団体が参画

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■大河ドラマ「麒麟がくる」宮津市推進協議会事業補助金：2,195,368円
【実施した主な事業】
○観光ガイド養成講座（44人参加）
期日：令和2年10月9日（金）、10月16日（金）、10月23日（金）
内容：ドラマゆかりの地に関わる観光資源のガイド養成講座を開催した。
○細川ゆかりの地WEEKin宮津・天橋立の開催（350人参加）
期日：令和2年10月27日（火）～11月1日（日）
内容：大河ドラマ等身大パネル展示やVR体験等を実施した。
○細川ゆかりの地ガイドツアーの開催（19人参加）
場所：天橋立、盛林寺ほか
内容：細川ガラシャ、忠興、明智光秀にまつわるコースのガイド付ツアーを開催した。
○城下町宮津冬のまちなみキャンドル「Inori」の開催
期日：令和2年12月1日（火）～28日（日）
内容：大手川城壁やふれあい広場をライトアップを行った。
○情報発信
御城印作成、ポスター、ガイドブック等の作成
■12府市町で構成する協議会への負担金：750,000円、旅費：24,260円

成果

・推進協議会に市民団体等30団体が参画するはど、地域の歴史文化についての再認識と地域への愛着の醸成が図れた。
・大河ドラマに関連づけた各種イベント等を通じ、宮津の歴史文化について広域的にPRできた。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
・観光交流人口　R2目標:310万人 ⇒ R2実績:214万人　※新型ｺﾛﾅの影響による減
・観光消費額の拡大　R2目標:150億円 ⇒ R2実績:75.5億円　〃
・外国人観光客宿泊数　R2目標:6万人 ⇒ R2実績:0.6万人　〃

課題・検証

・大河ドラマ終了後も、継続して歴史文化に焦点を当てた事業を行い、誘客に繋がる情報発信や市民の意識醸成に繋げる。

担当部署	産業経済部　商工観光課　観光係	TEL	0772-45-1622	26

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	食の魅力づくり推進事業	新規	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	1．しごとをつくり、安心して働けるようにする		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
― 千円	― 千円	― 千円	2,348,000	2,348,000		2,348,000			0	― 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H30.11：宮津漁師町観光商業施設（ととまーと）指定管理者制度による運営開始
・R02.09：宮津地域振興拠点施設（道の駅）指定管理者制度による運営開始
・R03.02：京都府「食の京都TABLE」整備支援事業実施計画の承認

目的・目標

宮津市街地の観光商業施設（ととまーと）及び地域振興拠点施設（道の駅 海の京都宮津）が行う「食」の魅力向上の取組みを支援することで、集客力の向上等を図るもの。
（京都府の「食の京都TABLE」整備支援事業費補助金の活用による）

期待される効果等

食を中心とした施設の魅力向上を図り、地域農林水産物の消費量の増加と観光誘客数の増加

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■観光商業施設等の食の魅力向上の取組支援　2,348,000円
地域の「食」が味わえるイートイン機能や物販機能、情報発信機能、地域食材等の集荷拠点機能など、「食の京都TABLE」としての施設整備の取組みを支援
・「食の京都TABLE」整備支援事業
事業実施主体：府域の農林水産物直売所や卸売市場、道の駅等
補　助　率　：１／２以内（消費税を除いた事業費）

対象施設	実施主体	取組内容	総事業費	支援額
海の京都 宮津	ハマカゼプロジェクト株式会社	道の駅において地元食材等を活用した「食」の魅力向上（①地元食材を活かした食事の提供のための厨房機材(冷蔵庫、作業台等)の導入、②まごころ市HPの制作）	4,604千円	1,373千円
ととまーと	宮津フードファクトリー合同会社	観光商業施設ととまーとにおける海の幸の魅力向上（いけすとして活用できる水槽の導入）	2,145千円	975千円

成果

食を中心とした施設の魅力向上により、地域農林水産物の消費量や観光誘客数を増加するための体制整備を行うことができた。

課題・検証

引き続き情報発信や地元食材等供給力の改善に取り組み、更なる食の魅力づくりに努める必要がある。

担当部署	産業経済部　商工観光課　商工係	TEL	0772-45-1663	27

令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	シティプロモーションの強化 （シティプロモーション事業、広報活動事業）	一部 新規	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略 政策パッケージ	３．みやづへ人の流れをつくる		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算 ※前年度繰越含む
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
6,700　千円	6,407　千円	16,067　千円	23,887,000	19,338,731	2,970,000	9,568,100		980,400	5,820,231	11,850　千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H30.5：市議会総務文教委員会の所管事務調査において、選ばれるまちになるための情報発信に係る「シティプロモーション戦略」の必要性について報告
・H31.4：シティプロモーションを推進するため、組織を再編し、企画課魅力発信係を設置

目的・目標

住民が地域に愛着を持ち、移住者からも選ばれるまちを目指す。

期待される効果等

・本市の認知度向上、イメージアップ
・シビックプライドの醸成
・移住・定住者に選ばれるまちの構築

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■宮津市ホームページリニューアル　10,190,880円
外部有識者のアドバイスの下、情報発信の重要ツールであるホームページのセキュリティ及びコンテンツ基盤を強化するためのリニューアル

■デジタルコンテンツの制作　2,970,000円
Webライターによる写真等を用いたデジタルコンテンツを制作委託し、市ホームページやSNSで発信

■シティプロモーションの推進　107,800円
大学教授をファシリテーターとして、市民と共に創る情報発信に向けた動画づくりのワークショップを４回開催

■広報活動事業　6,070,051円
・広報みやづの発行
　毎月１回の広報誌を発行
・映像･SNS等魅力発信業務
　宮津暮らしや行政施設の紹介等の動画コンテンツの制作及び発信、市の公式SNSを活用した情報発信
・宮津市ホームページ保守管理
　サーバー情報のバックアップ、不正アクセスの監視･解析など

成果

・市ホームページをリニューアルし、スマートフォン対応、ユーザー導線の向上やセキュリティ対策の向上を図ることができた。
・市ホームページ内のデジタルコンテンツの充実やSNSの活用により、情報発信力の強化を図ることができた。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
■公式Facebookのいいね！数
R2目標：500件 ⇒ R2実績：248件

課題・検証

・市ホームページを通じた情報発信力の強化には、デジタルコンテンツの継続した制作が必要。

担当部署	企画財政部　企画課　魅力発信係	TEL	45-1609	28

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	宮津湾にぎわいづくり促進事業	充実	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
293 千円	200 千円	600 千円	600,000	328,630					328,630	15,000 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H19.4　京都府から宮津ヨットハーバーの無償譲渡を受け、田井自治会に無償貸付
・H19～H30　宮津湾にぎわいフェスタの開催
・H20.3　海の駅として登録
・H22.9　みなとオアシスたいみやづとして登録

目的・目標

海を活かした宮津の魅力をつくり、観光誘客等による地域の活性化を図るため、マリンスポーツや船舶など海に親しむ施設として、海の駅及びみなとオアシスたいみやづとして登録されている田井宮津ヨットハーバーを拠点とした、宮津湾のにぎわいづくりを推進する。

期待される効果等

・ヨットハーバーを拠点とした宮津湾にぎわいづくり
・ヨットハーバーの利用者の増加（観光客の増加）

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■宮津湾利活用検討事業　128,630円

宮津の海を活用した更なる魅力向上を図るため、田井宮津ヨットハーバーを中心とした田井臨海エリアの賑わいづくりに向け、大学の有識者をはじめ関係団体とともに、ヨットハーバーのあり方等について検討を行った。

○田井臨海エリアにぎわいづくりワーキンググループ

開催日		内容	参加者
第１回	令和2年9月30日(水)	現状説明、現地視察、ワークショップ	23名
第２回	令和2年11月9日(月)	将来像(案)の提示説明、地域連携等の検討	17名
第３回	令和2年12月14日(月)	利活用戦略の提示説明	17名

〈参加団体〉
Hotel＆Resorts京都宮津、宮津市ヨット協会、丹後海陸交通㈱、天橋立観光協会、関西電力㈱宮津エネルギー研究所、京都府立宮津天橋高等学校、京都府立海洋高等学校、田井自治会、京都府立青少年海洋センター、京都府水産事務所、京都府港湾局、京都府丹後広域振興局、近隣マリン事業者、宮津市

■B＆G艇庫の管理　200,000円

成果

ヨットハーバーのあり方や田井臨海エリアの海を活用した賑わい創出に向けて、関係者と対話することでその認識を共有することができ、新たなヨットハーバーの運営やエリアのにぎわい創出の契機が出来たことから、具体な次のステップ（田井宮津ヨットハーバーの新たな運営者の公募･決定、にぎわいづくり実行委員会の立上（令和３年事業））へ繋がった。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］

課題・検証

田井臨海エリアの魅力創出とともに、宮津湾全体、更には京都舞鶴港などとの連携による海の活用が望まれる。

担当部署	企画財政部　企画課　定住・地域振興係	TEL	0772-45-1607	29

（単位：円）

事業名	もうひとつの京都「光のアトリエ」支援事業	新規	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	5．時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
－ 千円	－ 千円	2,000 千円	2,000,000	2,000,000	1,000,000	308,000			692,000	2,000 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

H27　　：天橋立パーク＆クルーズ実証実験、天橋立砂浜ライトアップ実証実験、成相寺紅葉ライトアップ
H28～H31：天橋立砂浜ライトアップ、成相寺紅葉ライトアップ

目的・目標

本市における観光客の滞在時間を延ばし観光消費額を増加させるため、夜の賑わい創出を推進し、周遊型・滞在型観光への転換を図る。

期待される効果等

・遊覧船が発着する海のテーマパーク、観光の起点としての浜町（道の駅）確立、天橋立地区の夜の賑わい創出
・地域住民、観光、商工関係者と協議、協力しながら賑わいづくりを実施する。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■ライトアップ・イベントによる夜の賑わいの創出　2,000,000円
京都府が行った光や映像、音によるアート・プロジェクト「もうひとつの京都ー光のアトリエ」事業と併せ、地域（文珠・府中）が取り組むライトアップ事業に対し、補助金を交付し支援を行った。

【実施主体】文珠・府中ライトアップ実行委員会
【実施時期】7月11日～11月23日
【取組内容】
○天橋立砂浜ライトアップ
○成相寺紅葉ライトアップ
京都府が行う光や映像、音を駆使したイベントや、地元交通事業者が行うナイトクルーズ船運航など他事業とのコラボにより、夏から秋に向けた夜の賑わいを創出し、誘客や滞在時間延長に繋がる取り組みを行った。

成果

・イベントと併せナイト＆クルーズ船の運航を行い、遊覧船が発着する海のテーマパーク、観光の起点としての浜町（道の駅）の確立、天橋立地区の夜の賑わい創出に繋がった。
・地域住民、観光、商工関係者と協議、協力しながら夜間の賑わいづくりを創出し、滞在期間の延長や誘客に努めた。
（イベント期間中の7月～11月　観光入込客：1,461千人）
［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］

課題・検証

京都府「光のアトリエ」事業がR３年度で終了することから、R４年度以降の事業継続、事業展開について事業主体との協議が必要

担当部署	産業経済部　商工観光課　観光係	TEL	0772-45-1622	32

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	天橋立の国内暫定リスト入りを目指して（世界遺産登録推進事業）	充実	ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	1．しごとをつくり、安心して働けるようにする		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
1,427　千円	1,416　千円	1,414　千円	1,414,000	1,152,000	0	576,000	0	500,000	76,000	1,414　千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

H19.6　：天橋立世界遺産登録可能性検討委員会設置（京都府）
H19.9　：世界遺産暫定一覧表候補提案書を文化庁に提出（京都府･1市2町）　⇒次点の「Ⅰa」評価
H19.12　：天橋立を世界遺産にする会設立
H26.3～　：「宮津天橋立の文化的景観（府中･文珠）」が国重要文化的景観に選定
H28.10　：「成相寺旧境内」が国史跡に指定
R元.　：「天橋立世界遺産登録可能性検討委員会」を「天橋立世界遺産登録推進会議」に発展的改組（京都府）

目的・目標

府や近隣自治体と連携し、世界遺産登録に向けた活動を推進することで、地域の宝である天橋立の魅力向上と住民の誇りの醸成を図る。

期待される効果等

・天橋立の保全継承
・天橋立及び周辺資源の国内外への幅広い情報発信

事業実績

「天橋立を世界遺産にする会」に対し補助金を交付するとともに、関連機関と連携の上、その活動を支援した。

■研究及び普及啓発事業
①天橋立世界遺産講座の開催（於:歴彩館（京都市）4回　受講者数延246名）
・10/8「世界遺産と天橋立」（金田章裕：歴彩館長）
・10/15「雪舟「天橋立図」の面白さ」（福島恒徳：花園大学教授）
・10/22「雪舟「天橋立図」と日本海交流」（伊藤太：山城郷土資料館）
・11/5「雪舟「天橋立図」と丹後国分寺跡」（森島康雄：丹後郷土資料館）
②パネル展示「天橋立の魅力」展の開催（2会場　観覧者数約1,250人）
・宮津市会場　1/23～2/ 8（17日間　於：浜町ギャラリー）
・与謝野会場　3/ 9～3/16（ 8日間　於：知遊館エントランスホール）
③雪舟生誕600年記念フォーラムの開催（11/5　於:成相寺　受講者数約20人）
テーマ「雪舟「天橋立図」と中世都市府中」
・「美術史から見た雪舟「天橋立図」と都市」（島尾新：学習院大学教授）
・「中世の宗教都市と雪舟「天橋立図」」（鋤柄俊夫：同志社大学教授）

■機運醸成のための普及啓発事業
①関連イベントとの連携及びＰＲ活動
②普及啓発グッズ作成、メディアを通じたＰＲ活動

成果

・初めての試みとして、京都市内で連続講座を開催。京都市の方に、天橋立の価値や世界遺産登録に係る情報を伝えることができた。
・1月放映の「ブラタモリ」をはじめ、天橋立の価値や魅力に係る番組放映など、メディアによる情報発信の機会が充実してきている。

課題・検証

有識者の調査研究を通じて明らかにされた、天橋立の持つ新たな価値の発見や再評価を進めるとともに、世界遺産登録に向けての機運醸成として、地元、広域での情報発信や普及啓発活動等の更なる充実が必要。

担当部署	教育委員会事務局　社会教育課　社会教育係	TEL	0772-45-1642	34

（単位：円）

事業名	文化財保存活用地域計画の策定に向けて （文化財保護・活用推進事業）	新規	ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン重点戦略	—
			総合戦略政策パッケージ	—		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
— 千円	— 千円	2,500 千円	2,162,000	1,500,000	1,408,000	0	0	0	92,000	2,000 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

H2 ～H17：「宮津市史」編纂刊行、旧三上家住宅の整備等
H14～　：市内遺跡発掘調査開始
H19～　：天橋立世界遺産登録・まちなか観光等の取組開始
H20～　：文化的景観の取組開始
⇒国指定（H26.3府中地区、H27.1文珠地区）
H26～　：日本遺産登録に向けた取組開始
⇒R元現在3件認定
（北前船、丹後ちりめん、成相寺）
H31.4　：改正文化財保護法施行
（文化財の計画的な保存・活用の推進）

目的・目標

過去の取組の成果を踏まえ、本市の歴史文化を改めて網羅的に把握し、文化財の保存・継承・活用による「まちづくり・ひとづくり」に資するマスタープランとなる地域計画を策定し、市総合計画等と整合を図りつつ「明るく豊かな宮津」づくりを推進する。

期待される効果等

・文化財保存活用に関する市民の意識涵養
・新たな資料の掘り起こしと価値付け（新規指定等）
・文化財の防犯、防災計画等の充実
・地域での世代間交流やコミュニティの再構築
・他部局や市民団体が行う関連事業との連携と効率化

事業実績

文化財保存活用のマスタープランとなる「宮津市文化財保存活用地域計画」について、令和5年度文化庁による認定をめざし、計画策定に係る調査等を実施した。

■事前把握　491,762円
宮津市により過去に刊行された市史や調査報告書、調査歴や調査データの保管状況の確認など、市内文化財に係る既存調査成果のデータ整理を実施

■調査事業　982,300円
市民を対象に市民が大切に感じる文化遺産や文化的景観等に関する意識調査（アンケート）を委託事業として実施
・委託先　立命館大学衣笠総合研究機構
・対象　　市民2,000人（無作為抽出）

■事務費　25,938円

成果

今回整理したデーターベースや意識調査の結果により、計画策定のみならず、今後の文化財指定や保存活用の在り方等について、指標を得ることができた。

課題・検証

既存の調査事業の精度や把握状況については、地域間で大きく差があるという課題も明らかになり、今まで調査が不足している地域の文化財の調査事業を進めていく必要がある。

担当部署	教育委員会事務局　社会教育課　社会教育係	TEL	0772-45-1642	35

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	東京2020オリンピック聖火リレー事業 東京2020パラリンピック聖火リレー事業	新規	ビジョン基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
－ 千円	－ 千円	5,250 千円	1,320,000	1,320,000		833,860			486,140	2,131 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R元. 6:オリンピック聖火リレー実施市町村の公表
・R元.12:オリンピック聖火リレーコース及び聖火ランナーの公表
・R 2. 2:パラリンピック聖火リレー採火式の実施市町村の公表

目的・目標

障がいがある人や児童生徒を含め市民がオリンピック・パラリンピックを身近に感じることで、夢と希望を与える機会の創出を図るとともに、一人一人に豊かな「スポーツごころ」を育む機会とするもの。あわせて宮津の魅力を世界に発信するもの。

期待される効果等

・市民に夢と希望を与える機会の創出
・一人一人に豊かな「スポーツごころ」を育む機会の創出
・宮津市の魅力を国内外へ発信

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■東京2020オリンピック聖火リレー事業　1,320,000円

・聖火リレー実施に係る警備計画作成
安全に聖火リレーが実施できるよう、各関係機関との連携のもと警備計画を作成した。
※新型コロナウィルス感染症により、東京2020オリンピックが1年延期されることが決定し、聖火リレーも令和3年5月に延期が決定。

成果

・聖火リレーは1年延期となったが、各関係機関と連携し警備計画を作成できた。
令和3年度には、警備計画に基づき安全な聖火リレーを実施する。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］

課題・検証

・新型コロナウィルス感染症対策を行い、聖火リレーを実施する。

担当部署	企画財政部　企画課　企画政策係	TEL	0772-45-1664	36

（単位：円）

事業名	魅力あるまち“みやづ”にUIJターン推進事業	充実	ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	３．みやづへ人の流れをつくる		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
20,190 千円	12,835 千円	15,377 千円	19,777,000	12,920,126	1,400,783	4,998,500			6,520,843	19,433 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

少子高齢化や若者の流出などによる急激な過疎化･人口減少が進む中で、都会では地方への移住希望者が増加しているため、本市への定住につなげるＵＩＪターンの仕組みを構築

H23.9：みやづUIターンサポートセンターを設置
H27.4：京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置。定住促進などの共同事業を行う。
H29.8：宮津市空家空地対策協議会を設置

目的・目標

関係人口の創出及びUIJターン希望者の受入推進による定住人口の増加を図るため、「みやづUIターンサポートセンター」等により本市の魅力と生活環境の良さを広く発信するとともに、空家等を活用した定住支援を行う。また「地域とともに空家をなくす」を基本方針に、所有者等･行政･地域･事業者等が連携、協働して総合的な空家空地対策を推進する。

期待される効果等

・首都圏等都市部への情報発信強化による定住世帯の確保
・地域（自治会、地域会議）等との連携による,空家等の掘り起こし及び確保
・京都府により指定された移住促進特別区域による地域主体の移住受入の取組

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■ＵＩターンサポートセンターの運営等　2,331,826円
・空き家等情報バンクシステムの運営　・ＵＩターン希望者へ情報提供、相談
・移住、交流イベントへの出展
空き家等登録数　住宅15件　店舗0件
空き家等契約成立数　住宅13件　店舗1件　定住実績　11世帯23人

■定住支援空き家等改修事業補助金　9,997,000円
空き家等情報バンクシステム登録者で、市内に定住した者に対して空き家等の改修費や家財撤去費の一部を支援した。
○交付決定数　8件（うち、移住促進特別区域内 7件）

■京都府北部地域連携都市圏事業負担金　505,000円
京都北部移住ネットワークづくり、合同企業説明会等の実施

■総合的な空家空地対策の推進　80,300円
空家空地対策協議会の運営、管理不全な空家等の情報提供及び助言、空家等管理不全状態判定調査を実施した。

■地域おこし協力隊の募集　6,000円
地域等が主体で進める地域課題解決の取組を支援するために、地域等に配置する「地域課題解決型地域おこし協力隊」の募集活動を行った。

成果

・UIターンサポートセンター：空き家等情報バンクシステムの運営や移住希望者のサポートを行い、移住定住促進及び地域の活性化に貢献することができた。
・定住支援空き家等改修事業補助金：空き家等の改修を支援し、空家の利活用を促進することができた。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
■みやづUIターンサポートセンターを通して定住した世帯数
R2目標：100世帯（6年間で）　⇒ R2実績：　96世帯189人（6年間で）

課題・検証

・移住希望者へのマメな情報発信によるつなぎ止めや、先輩移住者とつなげることによる意識変容の促しなど、きめ細やかな対応・移住支援をしていく必要がある。

担当部署	企画財政部　企画課　定住・地域振興係	TEL	0772-45-1607	37

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	次世代人材育成事業	継続	ビジョン基本施策	—	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	2. みやづを担う次代の人づくり		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
9,268 千円	11,598 千円	9,816 千円	9,816,000	8,819,597	7,500				8,812,097	150 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

H27.10：宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、本市独自の方針として「みやづを担う次代の人づくり」を設定
H28.8 ：市内高校と連携した人材育成、創業セミナー等を実施
H29.11：宮津市地域おこし協力隊（提案型）３人を委嘱

目的・目標

人口減少が進む地域におけるコミュニティ維持のため、地域活動への参画や、新たな視点での課題解決等に取り組む人材の育成を行う。

期待される効果等

地域資源を活用し自らしごとを生み出す新規起業家や第二創業者を輩出する。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■提案型地域おこし協力隊の活動　8,804,597円
○地域おこし協力隊の配置　7,804,597円
提案型地域おこし協力隊員 3名を引き続き委嘱
地域団体等の活動支援などの地域協力活動や、起業に向けた実証実験等を実施
○地域おこし協力隊の起業支援補助金　1,000,000円
地域おこし協力隊員の任期終了後の起業を支援した
・事業内容：おにぎりカフェの厨房及び店舗設備の整備

■市内高校との連携事業　15,000円
将来のみやづを担う人材の育成を目的に、市内の高校と連携し、市内の事業者等との意見交換やヒアリングなどを実施し、生徒が「しごと」に対して向き合う講座等を開催。
・宮津高等学校　総合的な探究の時間における生徒の探究テーマに対する地域・事業所とをつなぎ、意見交換やヒアリングを実施
・海洋高等学校　産官学意見交流会において高校生が進める研究に対する民間事業者等との意見交換を実施
※京都暁星高校はコロナ等の対応のため未実施

成果

・提案型地域おこし協力隊：3年間の活動期間で、地域活動支援を通して地域の人との関係性を作り、地域の人の協力も得ながら、任期満了後の「定住と生業」の基盤を作ることができた。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
■地域おこし協力隊員数
R2目標：延べ100人（6年間で）　⇒ R2実績：延べ41人（6年間で）

課題・検証

提案型地域おこし協力隊については、3名全員が定住につながり、地域に根ざした生業を築くこともでき、一定の成果と言えるが、今後の募集にあたっては、普通に移住して起業しようとしている人との棲み分けなど、一定方向性の整理が必要である。

担当部署	企画財政部　企画課　定住・地域振興係	TEL	0772-45-1607	38

（単位：円）

事業名	大学等地域活動連携推進事業	充実	ビジョン基本施策	—	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	3. みやづへ人の流れをつくる		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
— 千円	554 千円	1,000 千円	1,000,000	867,000	433,500				433,500	1,000 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

H27.10：宮津市まち･ひと･しごと創生総合戦略において、「みやづへの人の流れをつくる」を設定
R元.7：宮津市大学等連携事業補助金交付要綱を制定
７大学等と連携協定を締結

目的・目標

本市における大学活動を支援することにより、フィールドワーク等の調査研究や地域等とのワークショップの開催等による人の流れをつくるとともに、大学側のリソースを活用した本市の地域課題の解決を図る。

期待される効果等

・大学等の研究フィールドワークに本市を活用することによる人の流れの創出
・地域課題の解決

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■宮津市大学等連携事業補助金　867,000円
３大学から、本市の課題等に対する解決策５プロジェクトの提案を受け、地域団体と協働して事業を実施した。

プロジェクト名	大学等	協働団体	取組概要
地域資源の活用と発信に向けた協働事業	京都大学	上宮津21夢会議	意見交換や地域資源探索などのﾌｨｰﾙﾄﾞ実習、海森里連携の取組など
世代間交流促進を通じた日置ｺﾐｭﾆﾃｨ活性化事業		日置地域会議	ｱﾝｹｰﾄ作成のための住民参加型ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ、ﾆｭｰｽﾞﾚﾀｰの発行と配布など
まごころ市地域賑わい拠点事業		宮津まごころ市組合	ｱﾝｹｰﾄ調査結果の可視化と組合員へのﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ、PR動画の試撮など
上宮津地域ビジョン策定のためのわかものヒアリングプロジェクト	福知山公立大学	上宮津地域会議	子育て世代の母親対象ｱﾝｹｰﾄ調査と地域住民へのﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ、宮津わかもの会議との連携によるﾜｰｸｼｮｯﾌﾟなど
府中地域の観光まちづくりデザイン	京都産業大学	府中をよくする地域会議	現地調査による地域資源の掘り起こしと、観光体験ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの提案など

成果

・課題等の洗い出しによる具体的な提案や基礎調査のまとめなど、大学側のリソースを活用することで地域の将来を考えていくきっかけとなった。
・大学と地域団体等が協働して事業を進めることで、本市への人の流れを作り、関係人口の創出に寄与した。

課題・検証

本事業に対する地域の満足度は高く、新たな地域団体の取組拡大を図る必要がある。

担当部署	企画財政部　企画課　定住・地域振興係	TEL	0772-45-1607	39

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	まちづくり応援事業	継続	ビジョン基本施策	—	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
45,990 千円	42,905 千円	10,200 千円	11,900,000	9,480,000		586,600		8,000,000	893,400	11,800 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・地域会議：H19より各地区で地域会議設置。現在全地区で地域会議設立。各地区の特色に応じ、様々なまちづくり活動が展開
・まちづくり補助金等：H20のふるさと寄附税制、市民3大プロジェクトを契機に、まちづくり補助金を創設。以降、コミュニティ助成金等とともに多くの市民活動を支援

目的・目標

市民と行政の協働の重要な核となる地域会議活動を充実させるとともに、市民や地域等におけるまちづくり活動を促進し、市民と行政の協働を推進する。

期待される効果等

・市民によるまちづくり活動、地域活動の拡大
・地域コミュニティのより一層の充実
＜市民参加の状況＞
・地域会議：地域課題解決のための会議体への参画等
・まちづくり補助金、コミュニティ助成金：多くの市民活動の促進

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■地域会議交付金　1,100,000円（11地域会議×100,000円）
地域住民による地域課題解決のための会議体「地域会議」への活動支援
・11地域会議…宮津中部、宮津西部、宮津東部、宮津城南部、上宮津、由良、府中、日置、世屋、養老、日ヶ谷

■宮津市まちづくり補助金　380,000円（３団体）
市民団体等によるまちづくり活動への支援（市民による審査会において内容審査）
・時の響き実行委員会：歴史文化の発信・ふるさと学習等を行う芸術祭・アウトリーチ活動（演奏会）などの実施(70千円)
・歴史芸能劇「天の波濤」製作委員会：地域の歴史を題材とした歴史芸能劇上演に向けた練習・準備等の実施(200千円)
・上宮津・杉山エコガイドの会：東屋の設置やウォークツアーの実施など、杉山を核とした魅力発信事業を実施(110千円)

■宮津市コミュニティ助成金　8,000,000円（４団体）
(一財)自治総合センターの助成制度を活用し、自治会のコミュニティ活動を支援
・集会所備品等整備：国分自治会(2,500千円)
・祭用備品整備：滝馬自治会(2,500千円)
・集会所備品整備：大島自治会(1,300千円)、江尻自治会(1,700千円)

成果

・地域会議交付金：地域の課題解決事業等を支援し、市民協働を推進できた。
・まちづくり補助金：市民団体等によるまちづくり活動を支援することができた。
・コミュニティ助成事業：地域コミュニティの更なる結束に貢献することができた。

課題・検証

「共に創る みんなが活躍する 豊かなまち“みやづ”」を実現していくには、市民、行政が一緒に話し合い、知恵を絞り、力を合わせ、互いに得意分野を活かして地域課題を解決していく必要がある。そのためには、地域の人財づくりとともに職員の意識改革・人材育成も合わせて行う必要がある。

担当部署	企画財政部　企画課　定住・地域振興係	TEL	0772-45-1607	40

令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	ふるさと納税事業	継続	ビジョン基本施策	—	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	5．時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
36,557 千円	36,745 千円	59,695 千円	78,249,000	76,387,556					76,387,556	74,998 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

H20.6 ：国の税制改正に伴い、ふるさと宮津応援寄附を創設
H27.4 ：国のふるさと納税ワンストップ特例制度開始
H27.10：納税サイトへの業務委託、クレジットカード決済、ふるさと納税ワンストップ特例制度の導入

目的・目標

個人住民税の寄附金税制、いわゆる「ふるさと納税」制度である、ふるさと宮津応援寄附の受入を推進し、年間１億2,000万円の収納を目標とする。

期待される効果等

・産品を通じて市の魅力を市内外に発信

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■ふるさと宮津応援寄附の推進　76,387,556円
寄附件数　7,647件、寄附金額　160,845,365円（令和元年度85,481千円）
※別途、信金中央金庫から企業版ふるさと納税による10,000千円の寄附
納税サイト等を通じた全国に向けてのＰＲ，寄附受付と返礼品の送付等

・納税サイト
ふるさとチョイス、さとふる、楽天ふるさと市場、ふるなび、ふるさとプレミアム、さといこ

・取扱産品数
52事業者 276品

成果

・ふるさと産品の充実や納税サイトへの業務委託、クレジットカード決済の実施等により、寄附額を確保することができた。

課題・検証

・新たな返礼品の造成
・写真など、返礼品の見せ方の再考

担当部署	企画財政部　企画課　魅力発信係	TEL	45-1609	41

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	避難所における感染防止対策 （防災活動事業）	コロナ対策	ビジョン基本施策	―	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
― 千円	― 千円	― 千円	2,000,000	1,980,000	990,000	990,000			0	― 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R2.3.28：新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針
（政府対策本部、三つの密を避ける、接触機会の低減）
・R2.4.1：避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について
（内閣府・消防庁・厚労省、基本的な感染症対策の徹底）
・R2.4.7：避難所における新型コロナウイルス感染症への更なる対応について
（内閣府等、パーティションなどの工夫等留意事項）
・R2.5.27：避難所等確保緊急促進事業費補助金の創設
（京都府の令和2年5月補正）

目的・目標

出水期を控え、避難所における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の強化を図るもの。

期待される効果等

市が開設する指定避難所における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、間仕切り資材を常備することにより、市民の安心感の醸成と感染防止の対策強化に寄与する。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■災害備蓄品の購入配備 1,980,000円
ワンタッチパーテーションを市指定避難所全12か所に配備（12か所×5張り）
・自立式スチールベルト一体四面構造
・アルミ敷きマット付

2.1m×2.1m×高さ1.8m

成果

指定避難所における感染防止対策が強化できた。

課題・検証

本事業とあわせ、別事業予算を活用し、非接触型体温計・消毒液・マスク・使い捨て手袋などの衛生用品も配備したことにより、指定避難所の感染防止対策は一定完了した。

担当部署	総務部　消防防災課　消防防災係	TEL	0772-45-1605	42

（単位：円）

事業名	子どものための感染防止対策の強化 （新型コロナウィルス対策事業、新型コロナウイルス感染拡大防止事業）	コロナ対策	ビジョン基本施策	—	ビジョン重点戦略	—
			総合戦略政策パッケージ	—		

H30決算	R1決算	R2当初予算 ※前年度繰越含む	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
— 千円	2,041 千円	5,207 千円	44,858,114	30,970,047	22,750,670	8,188,000			31,377	— 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R2.3月：国内感染者の拡大を受け、市内保育所や放課後児童クラブ等における感染防止対策を実施。
・R2.4.16：緊急事態宣言が全国へ拡大。4～5月に学校等の臨時休業を実施。
・R2.6.12：国の二次補正案の可決・成立。

目的・目標

学校等を再開する中、子ども達の「感染防止対策」を強化するため、保育所(園)、小・中学校、幼稚園、放課後児童クラブ等において、衛生用品の購入など必要な対策を講じる。

期待される効果等

新型コロナウイルス感染症対策の強化

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■保育所・子育て支援センター等における感染防止対策の強化　9,220,220円
○公立保育所3所、子育て支援センターの備品及び衛生用品購入　1,812,840円
○民間保育園・認定こども園6施設への購入補助　2,998,000円
●令和元年度からの繰越分　4,409,380円
・放課後児童ｸﾗﾌﾞ、子育て支援ｾﾝﾀｰの備品及び衛生用品購入　1,689,255円
・公立保育所3所の備品及び衛生用品購入　1,371,125円
・民間保育園・認定こども園6施設への購入補助　1,349,000円

■学校・幼稚園における感染防止対策等の強化　18,362,076円
○学校･幼稚園の備品及び衛生用品購入
（小・中学校：17,000,000円　幼稚園:1,000,000円）
・消毒液や非接触型体温計等の保健衛生用品の購入
・教室の換気等に必要なサーキュレーター等の購入
・空き教室等で授業を実施する際に必要な備品(ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ)等の購入 など
○学校の保健衛生用品の購入　338,670円
・マスク、手指消毒薬、使い捨て手袋等

■放課後児童クラブにおける感染防止対策の強化　3,387,751円
・エアコン、冷風扇、液晶テレビ他

成果

各施設において新型コロナウイルス感染症対策が図られた。

課題・検証

担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係 教育委員会事務局学校教育課学校教育係	TEL	0772-45- 1621 0772-45- 1641	43

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	新型コロナウイルス感染症対策給付金事業	コロナ対策	ビジョン基本施策	―	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
－ 千円	－ 千円	－ 千円	1,812,200,000	1,780,266,730	1,780,266,730				0	－ 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R2.4.7 ：新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の閣議決定
・R2.4.16：緊急事態宣言の全国への拡大
・R2.4.20：新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の変更閣議決定
・R2.4.30：国の補正予算案の可決・成立

目的・目標

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に基づき、迅速かつ的確に家計への支援を行うため、特別定額給付金及び子育て世帯への臨時特別給付金を給付する。

期待される効果等

家計への支援を迅速に行うことにより、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う市民の経済的負担を軽減する。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■特別定額給付金支給　1,761,484,215円
〇給付額：1,752,600,000円
〇事務費：8,884,215円
（時間外手当、会計年度任用職員報酬、郵送料ほか）
【給付概要】
・給付世帯等：8,430世帯　17,526人（1人当たり10万円）
（対象世帯：8,469世帯、給付率：99.5%）
・給付期間：R2.5.13～8.17

■子育て世帯への臨時特別給付金支給　18,782,515円
〇給付額：17,730,000円
〇事務費：　1,052,515円
（会計年度任用職員報酬、システム対応委託料、郵送料ほか）
【給付概要】
・対象世帯等：児童手当を受給している世帯　1,032世帯
・対象児童：０歳から15歳まで1,773人（１人当たり1万円）

成果

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に基づき、特別定額給付金及び子育て世帯への臨時特別給付金について、迅速かつ的確に支給し家計への経済的支援を行った。

課題・検証

担当部署	健康福祉部　社会福祉課 地域福祉係・子育て支援係	TEL	45-1618 45-1621	48

令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	水道使用料金の減免 （水道事業会計繰出金）	コロナ対策	ビジョン基本施策	―	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
―　千円	―　千円	―　千円	35,031,000	35,031,000	35,031,000				0	－　千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R1.7：宮津市水道事業ビジョン策定
・R2.1：「宮津市水道使用料金等審議会」からの答申
　　（水道使用料金等の見直し）
・R2.3：水道使用料金等の改定に係る「宮津市水道事業給水条例」の一部改正
・R2.10～：水道使用料金の改定（平均33%の増額改定）

目的・目標

新型コロナウィルス感染症の影響により、生活及び経済的に大きな影響を受けている市民・事業者を考慮し、水道使用料金の値上げ額相当分の減免を行う。

期待される効果等

新型コロナウイルス感染症による影響による、市民・事業者の経済的負担を軽減する。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■水道使用料金の減免に伴う水道事業会計への繰出金　35,031,000円
水道使用料金の減免（水道事業会計）
・対 象 者：全市民及び事業者等
・減 免 額：水道使用料金の改定に伴う増額分
・減免期間：R2.10月請求分からR2.12月請求分まで（3か月間）

成果

水道使用料金の値上げ額相当分の減免を行い、市民・事業者の経済的負担を軽減することができた。
【水道事業会計における減免実績】
・減免件数：　30,758件
・減免金額：35,032,448円

課題・検証

担当部署	建設部　上下水道課 管理係	TEL	45-1635	51

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	飲食店等応援商品券事業	コロナ対策	ビジョン基本施策	―	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
― 千円	― 千円	― 千円	35,806,500	35,805,319	35,805,319				0	― 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民生活に大きな影響が生じるとともに、本市の観光入込客数が激減し、飲食や宿泊等の観光業の売上が著しく減少。

目的・目標

市民生活支援及び飲食店等への経済的支援として、市内飲食店及び宿泊施設で利用できる商品券（宮津市飲食店等応援商品券：額面500円）を発行し、全世帯に配布する。

＊1人当たり2,000円（18歳までの児童は3,000円）の商品券を全世帯に配布

*配布時期：令和2年9月上旬～中旬頃

期待される効果等

飲食店等で活用できる商品券を配布することで、家計への支援を行うとともに、消費を喚起するもの。

また、休校解除後も新しい生活様式の中で負担増となっている子育て世帯の経済的負担を軽減するもの。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■飲食店等応援商品券事業　35,805,319円（事務費含む）

○商品券の概要

対象者及び配付額等	①：基準日（R2.8.1）において、宮津市の住民基本台帳に登録されている方 ・1人当たり2,000円（児童は3,000円）　・17,511人（額面37,155千円） ②：基準日の翌日～R3.2.28までの間に誕生し、本市の住民基本台帳に出生により登録された新生児 ・1人当たり3,000円　・40人（額面120千円）
使用場所	宮津市内の飲食店・宿泊施設で、事前に取扱店舗として登録された店舗 ・登録店舗　108店舗（84事業者）
使用方法	登録店舗で飲食等のサービスの提供の対価として商品券を使用 ※支払金額1,000円ごとに500円券１枚使用可（1,000円未満の場合は１枚使用可）
使用期間	商品券発送（9月上旬以降）から令和3年3月31日まで（1か月延長）

○換金額　31,239,500円（換金率約84%　79事業者で利用）

○事務経費　4,565,819円（商品券郵送料3,422千円、商品券印刷費924千円ほか）

成果

特に新型コロナウイルスにより大きな影響を受けている市内飲食店等に特化した支援を行うことができた。また、市民の家計負担の軽減を図ることができた。

課題・検証

引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けて経営状況が悪化した市内事業所の経営継続・安定化、市民生活支援に努める必要がある。

担当部署	産業経済部　商工観光課　商工係	TEL	0772-45-1663	52

令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	新型コロナウイルス感染症対策給付金事業 （ひとり親世帯臨時特別給付金事業）	コロナ対策	ビジョン基本施策	―	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
―　千円	―　千円	―　千円	25,880,000	25,862,987	25,862,987				0	―　千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R2.4.16：緊急事態宣言の全国への拡大
　　4月～5月に学校等の臨時休業を実施。
・R2.6.12：国の二次補正案の可決・成立

目的・目標

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯の負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給する。

期待される効果等

家計への支援を迅速に行うことにより、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う市民の経済的負担を軽減する。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■ひとり親世帯臨時特別給付金支給　25,862,987円
・給付額：24,680,000円
・事務費：　1,182,987円（会計年度任用職員報酬、郵送料、事務用品他）

【給付概要】
(ｱ)基本給付（再支給あり）
①R2.6月分の児童扶養手当受給者　131世帯×50,000円＝6,550,000円　×２回
第2子以降　91人×30,000円＝2,730,000円　×２回
②公的年金等受給者　12世帯×50,000円＝　600,000円　×２回
第2子以降　10人×30,000円＝　300,000円　×２回
③家計急変者（児扶手当全部停止等）　５世帯×50,000円＝　250,000円　×２回
第2子以降　７人×30,000円＝　210,000円　×２回
(ｲ)追加給付
上記①②のうち、新型コロナの影響により、収入が大きく減少している者
68世帯×50,000円＝3,400,000円

成果

児童扶養手当受給世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変したひとり親世帯に対して給付金を支給することで、各世帯の経済的負担を軽減した。

課題・検証

担当部署	健康福祉部　社会福祉課　子育て支援係	TEL	0772-45- 1621	54

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	新型コロナウイルス感染症対策給付金事業 （子育て世帯生活応援給付金事業）	コロナ対策	ビジョン基本施策	—	ビジョン重点戦略	—
			総合戦略政策パッケージ	—		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
— 千円	— 千円	— 千円	5,000,000	4,700,000	4,700,000				0	- 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）		実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容	
背景・経緯	・R2.4：緊急事態宣言が全国へ拡大、 4～5月に学校等の臨時休業を実施 ・R2.6：子育て世帯臨時特別給付金を支給 （児童手当（本則給付）受給世帯が対象） ・R2.8：ひとり親世帯臨時特別給付金を支給 （児童扶養手当受給世帯等が対象） ・R2.9：飲食店等応援商品券（子育て世帯加算）を 配布予定（全世帯が対象）	事業実績	■子育て世帯生活応援給付金支給　4,700,000円 ・給付額：4,700,000円 ［給付概要］ ・対象世帯　住民税非課税世帯　115世帯 ・対象児童　0歳から18歳まで　235人 ・支給額　対象児童1人あたり20,000円
目的・目標	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、「新しい生活様式」のもとで子育てを行う家庭の経済的・精神的負担が増加しており、特に経済的な影響を受けやすい低所得の子育て世帯についてはその影響が大きいことから、低所得の子育て世帯を支援するため給付金を支給する。	成果	低所得の子育て世帯に対して給付金を支給することで、各世帯の経済的負担を軽減した。
期待される効果等	家計への支援を迅速に行うことにより、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う市民の経済的負担を軽減する。	課題・検証	
		担当部署	健康福祉部　社会福祉課　子育て支援係　TEL　0772-45- 1621

（単位：円）

事業名	学校における1人1台ICT端末整備等(GIGAスクール構想)の推進(小学校施設整備事業、中学校施設整備事業)	コロナ対策	ビジョン基本施策	―	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
―　千円	―　千円	―　千円	142,000,000	141,994,600	72,694,600		69,300,000			―　千円

実施前の方針等(予算説明資料から転記)

背景・経緯

・R1.12　：国においてR5年度までを目途に「ＧＩＧＡスクール構想(学校における1人1台ＩＣＴ端末整備等)」がスタートする。
・R2.4.21～R2.5.20　：宮津市立の6小学校･2中学校･2幼稚園を新型型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業。
R2.5.21より感染防止対策をしながら段階的再開
・R2.4　：国補正予算で「ＧＩＧＡスクール構想」のR2年度中への前倒しが図られる。

目的・目標

「WITHコロナ」「AFTERコロナ」を見越しながら、新学習指導要領が目指す「豊かな学び」(知識･技能の習得のみならず、思考力･判断力･表現力等や学びに向かう力･人間性等の育成)を実現するため、「今後の子ども達の新たな学びの基盤」となる環境(学校ＩＣＴ環境)の整備を図る。（国補正予算の活用）

期待される効果等

・日常的にＩＣＴを活用できる環境の構築
・情報活用能力の育成による質の高い学力の充実・向上

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■学校の児童生徒1人1台端末環境・高速通信ネットワーク整備 141,994,600円
児童生徒1人1台端末環境を整備するとともに、1人1台端末利用等に対応できる学校ネットワーク環境を整備

○GIGAスクール構想における宮津市立学校情報環境整備業務　141,994,600円
・端末整備（1,040台）80,600,628円
タブレット端末、キーボード付ケース、端末管理用ソフト、端末保証、導入設定、画面転送装置
・ネットワーク整備　61,393,972円
LAN配線工事、電源キャビネット、ネットワーク機器、無線アクセスポイント、ネットワーク設定

【小学校施設整備事業】　99,801,328円
端末整備（728台）　56,802,828円　　ネットワーク整備　42,998,500円
【中学校施設整備事業】　42,193,272円
端末整備（312台）　23,797,800円　　ネットワーク整備　18,395,472円

成果

1人1台端末及び使用する上でのネットワーク環境について整備が完了し、ICTを活用した教育の推進の基盤整備が図られた。

課題・検証

ICTを活用した新たな学びの構築、活用方法について検討していく。

担当部署	教育委員会事務局　学校教育課　学校教育係	TEL	0772-45-1641	56

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	宮津天橋立観光Ｖ字回復に向けた誘客推進 （宮津天橋立観光V字回復推進事業、海水浴場施設管理運営事業、水産業施設改修事業）	コロナ対策	ビジョン基本施策	—	ビジョン重点戦略	—
			総合戦略政策パッケージ	—		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
－ 千円	－ 千円	－ 千円	40,486,000	39,137,380	39,137,380				0	－ 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の観光入込客数が激減し、飲食や宿泊等の観光業の売上げが著しく減少。

目的・目標

感染防止対策を強化し、観光誘客による観光産業の回復を図るとともに、アフターコロナを見据えた持続可能な観光地づくりに向け、観光コンテンツの造成と反転攻勢に備えた観光基盤の整備を図る。

期待される効果等

・アフターコロナを見据え、旅行会社と連携することで、中長期的な観光誘客を図る。
・安心・安全な観光地として受入環境を整備する。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■GO TO MIYAZU観光ブランディング事業　28,267,660円
観光産業のＶ字回復のため、オール宮津の推進体制「GO TO MIYAZUタスクフォース」が旅行会社等と連携して行う取組を支援した。
○実施主体：GO TO MIYAZUタスクフォース
構成団体：宮津市、天橋立観光協会、宮津商工会議所、宮津天橋立観光旅館協同組合、旅行会社など
○事業内容：高付加価値旅行商品の造成（134プラン）、販売促進や、京阪神を中心に観光プロモーションを行ったほか、感染防止対策セミナー（40人参加）を行い、コロナ禍での受入体制を整備した。
※高速バスを活用した宮津カニバス事業は、コロナ感染症影響拡大を受け中止

■宮津エール花火の打上げ　6,917,400円
市内宿泊者への満足度向上を図るとともに、事業者や市民へのエールの意味を込め、7月から9月の週末等において、宮津湾、天橋立地区において花火の打上げを行った（計30回）

■観光施設の感染防止対策の強化　3,952,320円
○海水浴場（市内3箇所）　2,910,000円
・感染防止ガイドラインを作成した。
・監視員1名を増員し、感染防止対策の実践、周知を行った。
○海洋つり場　1,042,320円
・感染症予防対策に係る水道給水施設の改修、啓発看板の新規設置などを行った。

成果

コロナ禍において、感染防止対策を徹底しながら、新たな商品造成など、一連の観光支援事業に取り組んだことで、観光入込客の落ち込みを最小限に抑えることができた。
※事業期間中の当初目標値　誘客数23,840人⇒実績推計値：34,686人（145%）
消費額850,700千円⇒実績推計値：652,324千円

課題・検証

■観光ブランディング事業：新たに造成した各種商品の今後の活用方法
■宮津エール花火　：ライトアップ事業等と連動し、飲食店舗等の夜間延長に繋がる効果的な実施方法の検討

担当部署	産業経済部　商工観光課　観光係	TEL	0772-45-1625	57

（単位：円）

事業名	公共交通事業者への支援 （公共交通事業者支援事業）	コロナ対策	ビジョン基本施策	―	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算 ※前年度繰越含む
― 千円	― 千円	― 千円	66,705,000	58,192,000	58,192,000				0	8,511 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R2.3
新型コロナウイルス感染症の流行による移動自粛の動きが広まる
・R2.4.16～R2.5.25
全国緊急事態宣言
・R2.6.19
全国の移動自粛解除
※WILLER TRAINS㈱ 3月～6月：運輸収入67%減
・R2.7月～11月
京都府の特別警戒基準到達及び感染拡大に伴うGoToキャンペーンの一時停止、移動自粛マインド等により定期外運輸収入が減少
※WILLER TRAINS㈱ 7月～11月：運輸収入40%～50%減
・R3.1.14～R3.2.28
京都府緊急事態宣言
※WILLER TRAINS㈱ 12月～3月：運輸収入30%～60%減

目的・目標

地域の公共交通は、国の緊急事態宣言に伴い全国的な移動自粛措置がとられる中においても、地域の移動手段として機能維持されてきたが、需要減に伴う減収により財務面での事業存立基盤が揺らいでいる状況から交通事業者へ運行支援するもの。

期待される効果等

■地域鉄道等の安定確保
【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】
KPI：京都丹後鉄道利用者数R2:200万人（R1:158万人）
■住民及び観光客の都市間移動の確保

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■交通事業者への事業継続支援　37,192,000円
○鉄道事業者への支援（WILLER TRAINS㈱）31,834,000円
・第１回目（R2.3～R2.6分）　18,538千円　※全体支援額 164,633千円
・第２回目（R2.7～R2.11分）13,296千円　※全体支援額 118,075千円
※京都府、兵庫県及び沿線5市2町による協調支援　全体支援額　282,708,000円
対象期間　令和2年3月～令和2年11月
○タクシー事業者への支援（日本交通㈱宮津営業所）1,500,000円
100千円/台×15台（宮津区域担当台数）
※100千円/台：小規模事業者等事業継続支援金の支給額を準用
○高速バス事業者への支援（丹後海陸交通㈱）3,858,000円
※沿線2市1町による協調支援　全体支援額　9,410,000円
（参考）
路線バス事業者への支援（丹後海陸交通㈱）
原則、路線バスは欠損補助となる仕組みの中で、現行制度の生活交通路線維持補助金による運行支援を行った。

■京都丹後鉄道の基盤強化及び利用促進への支援（KTRへの支援）21,000,000円
【繰越事業】交付決定額 29,336,000円のうち、前払金額 21,000,000円

成果

コロナ禍で利用者が減少する中、特急列車や高速バスの一部運休、タクシーの減便などの措置が取られているが、交通事業者の撤退はなく、地域の輸送サービスを維持することができた。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
KPI：京都丹後鉄道利用者数R2:106万人（R1:158万人）

課題・検証

新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、利用促進策の取り組みも継続していく必要がある。

担当部署	企画財政部　企画課　企画政策係	TEL	0772-45-1664	59

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	新型コロナウイルス対応資金特別支援事業 (融資に係る利子補給及び信用保証料の助成)	コロナ対策	ビジョン基本施策	—	ビジョン重点戦略	—
			総合戦略政策パッケージ	—		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
— 千円	— 千円	— 千円	7,210,000	6,846,145	6,846,145				0	2,800 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R2.4.2：新型コロナウィルス感染症経済対策会議の開催
※市内商工・観光事業者等の現状報告及び意見交換等を行うとともに、市長より市内事業者の資金繰りに対する市独自支援実施の表明
・R2.4.23：利子補給・信用保証料の助成について申請受付開始

目的・目標

新型コロナウイルスの影響を受けて経営状況が悪化した市内の中小企業者を支援するため、コロナウイルス対応に要する融資に係る利子補給及び信用保証料助成を行う。

期待される効果等

新型コロナウイルスの影響を受けて経営状況が悪化した市内中小企業者の経営継続・安定化を図る。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■新型コロナウイルス対応資金特別支援事業 6,846,145円

○利子補給　1,597,210円（事務費4,680円を含む）

対象者	市内中小事業者であって、R2.1.29～R3.3.31までの間に新型コロナウイルス対応に要する融資を実行したもの ※国府制度により実質無利子化となる要件を満たす者等は除く （上限3,000万円　※R2.7より4,000万円に見直し）
利子補給	支払利息の10/10（融資実行から３年以内）
実績	18件（17事業者）、1,592,530円の利子補給を実施

○信用保証料助成　5,248,935円

対象者	国のセーフティネット保証制度等に基づく市長の認定を受け、京都府中小企業融資制度貸付制度のうち、新型コロナウイルスに係る融資を実行したもの
助成額	支払った信用保証料の10/10（補助上限額40万円）
実績	22件（21事業者）、5,248,935円

※R3以降の利子補給に係る財源として、新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給基金を造成（R2積立額400万円）

成果

新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた市内事業所等を対象とした国府の支援制度と連携を図りながら、資金繰り支援を行うことにより、市内事業所の事業継続に資することで、地域経済力・雇用の維持に努めた。

課題・検証

引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けて経営状況が悪化した市内事業所の経営継続・安定化に努める必要がある。

担当部署	産業経済部　商工観光課　商工係	TEL	0772-45-1663	60

（単位：円）

事業名	新型コロナウイルス対応休業要請対象事業者支援事業	コロナ対策	ビジョン基本施策	―	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
― 千円	― 千円	― 千円	21,200,000	21,200,000	21,200,000				0	― 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R2.4.16：新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けた「緊急事態宣言」の対象区域を全都道府県に拡大。
京都府も「特定警戒都道府県」に指定
・R2.4.17：京都府が「新型コロナウイルス感染拡大防止のための京都府における緊急事態措置」を決定。
施設の使用制限(R2.4.18～5.6)を要請
・同日　：緊急事態宣言に伴う宮津市長コメント公表
同じく施設使用制限を要請

目的・目標

京都府緊急事態措置に基づく休業要請等に協力いただいた中小企業、個人事業主に対して支援給付金を支給する府制度に合わせて、市も同額の支援給付金の上乗せを行うもの。

期待される効果等

休業要請等に協力することで収入が減となった市内中小企業者の経営継続･安定化を図る。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■新型コロナウイルス対応休業要請対象事業者支援事業 21,200,000円

対象者	京都府緊急事態措置に基づく休業要請等に協力いただいた中小企業･個人事業主 ※京都府と同一
給付要件	緊急事態措置発令前(令和２年２月１日以降)または発令後、速やかに休業等の対応を開始し、令和２年５月６日まで継続して協力いただいた事業者　※京都府と同一
給付金額	中小企業　20万円（京都府20万円に上乗せ） 個人事業主　10万円（京都府10万円に上乗せ）
実績	163件(中小企業等49件・個人事業主114件)　21,200千円

※時短協力金R3.1.14～2.7分については、京都府が実施する支給に係る費用の一部を負担（京都府緊急事態措置協力金事業負担金7,000千円を繰越）
※時短協力金R3.2.8以降分については、京都府が全額費用負担し市町村負担なし

成果

新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた市内事業所等を対象とした国府の支援制度と連携を図りながら、休業等を行った市内事業所への支援金支給を行うことにより、市内事業所の事業継続に資することで、地域経済力･雇用の維持に努めた。

課題・検証

引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けて経営状況が悪化した市内事業所の経営継続･安定化に努める必要がある。

担当部署	産業経済部　商工観光課　商工係	TEL	0772-45-1663	61

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	新型コロナウイルス対策事業者等緊急支援事業	コロナ対策	ビジョン基本施策	―	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算 ※前年度繰越含む
― 千円	― 千円	― 千円	55,002,000	55,001,351	55,001,351				0	85,000 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R2.4.2：第1回新型コロナウイルス感染症経済対策会議の開催
・R2.5.8：第2回新型コロナウイルス感染症経済対策会議の開催
事業者の倒産防止や事業継承に向け、市独自の支援策の検討を表明

目的・目標

新型コロナウイルス感染症対策に係る事業者支援（第2弾）として次の事業を実施

【小規模事業者等事業継続支援金】
新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を大きく受けた事業者等の事業継続を支援するため、使途を限定しない支援金を支給

【新型コロナウイルス対策事業者等支援補助金】
京都府の新型コロナウイルス感染症に対応した事業継続・売上回復につながる補助金の採択を受けた事業者等に、補助金を受けた後の自己負担額の一部を支援

【飲食店等応援プロジェクトの推進】
市民等が市内の飲食店等を応援するため、クラウドファンディングで先払い商品券を取扱う飲食店等応援プロジェクトを実施

期待される効果等

【小規模事業者等事業継続支援金】
事業者等によって異なる負担が大きい固定経費（家賃、リース料、過去の設備投資に係る借入の償還金、雇用維持に係る経費など）のいずれにも充当できる支援金により、事業者等の事業継続に資する。

【新型コロナウイルス対策事業者等支援補助金】
京都府の補助金等の採択を受けた事業へ追加支援を行い負担軽減を図ることで、各企業等が行う新型コロナウイルス感染症に対応した事業継続・売上回復につながる取組の後押しを行う。

【飲食店等応援プロジェクトの推進】
市民等の飲食店等を応援したい気持ちを形にすることができ、厳しい環境下における飲食店等の当面の活動資金を支援する。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■小規模事業者等事業継続支援金　51,021,351円（事務費含）
・主な支給要件：小規模事業者又は個人事業者であって、令和2年1月から5月までのひと月の事業収入が前年同月比で30％以上減少している等の要件を満たすもの（業種指定なし）
・支給額：一律10万円
・実　績：510件　51,000千円

■新型コロナウイルス対策事業者等支援補助金　3,680,000円
・補助対象者：京都府の新型コロナウイルス感染症に対応した事業継続・売上回復につながる補助金の採択を受けた事業者等（農林水産事業者を含む）
・補助率等：補助対象経費から府の補助金を差引いた額の1/2、原則上限5万円
・実　　績：88件　3,680千円

■飲食店等応援プロジェクトの推進　300,000円
市内飲食店等を応援するクラウドファンディングを行う組織（宮津天橋立飲食店等応援プロジェクト推進協議会）の活動経費を支援
・主な活動：事業者指定型の先払い商品券の取扱、飲食店等の募集・登録、市民等へのPR活動ほか
・実　　績：応援実績98件、2,216,500円　宮津エール飯のPR　夏30店舗、冬15店舗

成果

新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた市内事業所等を対象とした国府の支援制度と連携を図りながら、売上が減少した事業所への支援金や新型コロナウイルス感染症に対応した補助金への追加支援等を行うことにより、市内事業所の事業継続に資することで、地域経済力・雇用の維持に努めた。

課題・検証

引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けて経営状況が悪化した市内事業所の経営継続・安定化に努める必要がある。

担当部署	産業経済部　商工観光課　商工係	TEL	0772-45-1663	62

（単位：円）

事業名	地区連絡所等におけるWeb会議システムの整備 （電算管理事業）	コロナ対策	ビジョン基本施策	―	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
－ 千円	－ 千円	－ 千円	9,000,000	8,998,977	8,998,977				0	－ 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・R2.4：新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の全国への拡大
・R2.5：緊急事態宣言の解除及び新たな生活様式の提示
・R2.6：国の第２次補正予算可決成立及び全国の移動自粛解除

目的・目標

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを下げるための社会的環境を整備するため、窓口対応や地域住民との会議におけるオンライン対応ができる環境を整備するとともに、感染症発生時において市役所機能の維持等を図るもの。

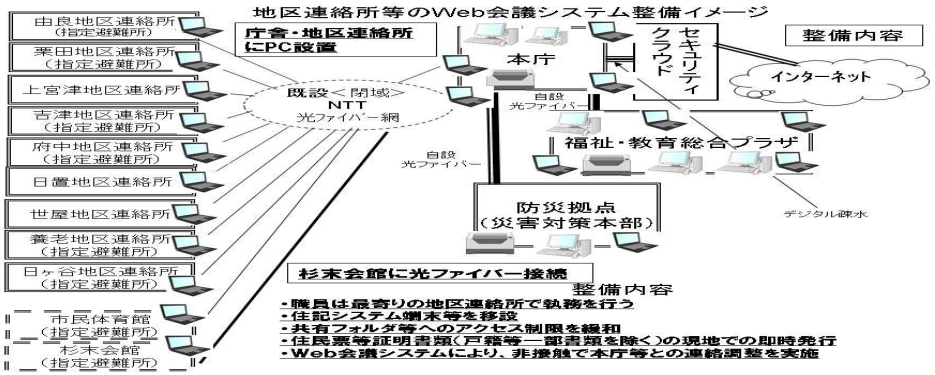
期待される効果等

・地区連絡所における窓口の利便性向上（来庁者の各地区分散）及び感染リスクの低減
・新型コロナウイルス感染症発生時の市役所機能の維持
・指定避難所との情報共有の強化・迅速化

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■Web会議システムの整備　8,998,977円
市庁舎、地区連絡所等へのWeb会議システムの整備
・市庁舎及び地区連絡所等へ配置するＰＣ・Webカメラ等の購入
・ネットワーク環境の整備



成果

・各地区連絡所における非接触窓口対応（モニター越しでの受付・相談の実施）
・市役所と地域住民等とのオンライン会議環境の構築
・感染拡大時の市役所機能の維持（リスクヘッジオフィスへの職員の分散配置）
・指定避難所における情報のリアルタイム共有

課題・検証

全国的に「新しい生活様式」が定着する中、本市においても地域住民等とのwebによる協議等を定着させていくことが必要

担当部署	総務部　総務課　情報推進係	TEL	0772-45-1602	64

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	「新しい働き方」に向けた環境づくり （“新しい働き方”テレワーク環境整備事業）	コロナ対策	ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	３．みやづへ人の流れをつくる		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
― 千円	― 千円	― 千円	900,000	738,982	738,982				0	― 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、「新しい生活様式」を積極的に取り入れることが求められている。
・テレワークが普及し、住みやすく良い環境で暮らしながら仕事をする新たな働き方の定着を進めていく必要がある。

目的・目標

市内事業者をはじめ、市民団体や学生などが、市内で気軽にテレワークやオンライン会議などができる環境を整備し、働き方の新しいスタイルの定着を図る。

期待される効果等

・新しい働き方の推進

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■テレワーク等の環境整備　738,982円
市内事業者をはじめ、市民団体や学生などが気軽に会議などに使えるテレワーク環境を整えるため、福祉・教育総合プラザ内にインターネット環境とオンライン会議用のモニター等を整備した。

＜整備場所＞
福祉・教育総合プラザ　第１・第２・第３コミュニティルーム

＜整備内容＞
・オンライン会議用モニターの設置
・Webカメラ、マイク、スピーカー、接続ケーブル、無線ルーター等の付属品一式

＜供用開始＞
・令和3年1月25日

成果

・新しい働き方の定着に向けた環境を整えることができた。

課題・検証

・市内のテレワークやワーケーションを推進するため、民間の施設整備支援や中核拠点が必要。

担当部署	企画財政部　企画課　定住・地域振興係	TEL	0772-45-1607	65

令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	農山村活性化事業 （元気な里づくり推進事業から名称変更）	充実	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	1．しごとをつくり、安心して働けるようにする		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳					R3当初予算
					国庫支出金	府支出金	市　債	その他	一般財源	
3,017　千円	3,921　千円	4,100　千円	4,100,000	4,028,021		25,000			4,003,021	2,100　千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

地域会議等を主体に、地域課題解決に向けた里力再生計画の策定、話し合い活動や、実践活動（京都府「命の里」事業）等に取り組んできた。

・H22.6月　上宮津地域会議を発足
・H28.4月　上世屋定住促進協議会を発足
・R元.7月　上宮津地域会議内にビジョン策定チームを発足

目的・目標

農山村が抱える課題を解決するため、地域自らが取り組む実践活動等を支援し、集落の活性化を図る。

期待される効果等

地域連携による地域課題の解決と農村集落の活性化

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■農村集落活性化に向けた取組への支援　25,000円（府補助25,000円）

地域の目指す方向性や課題を関係者で共有し、人･組織づくり、場所づくり、安心づくりなどの「コミュニティ維持強化」や、なりわいづくりなどの「ビジネス強化」に向けた地域の計画づくりを支援（R元からの継続事業）

・事業主体　上宮津地域会議
・事業内容　地域ビジョン策定に必要な専門家の招へい、地域でのアンケート調査
・事業費　50,042円
・補助金額　25,000円（補助率1/2）

■地域おこし協力隊の活動支援等　4,003,021円

地域外の人材の定住を促進し、地域活性化を図るため、地域おこし協力隊を配置（継続者1名：任期H30.6月～R3.6月）
・府指定無形民俗文化財「藤織り」の製品化や伝承の活動を行った。
（上世屋定住促進協議会がサポート）

成果

上宮津地区では、移住者も含めて地域の目指す方向性や課題を共有し、計画づくりの取組みに参加している。地域住民との交流が深まることで定住につながり、「コミュニティ強化」が進んでいる。
上世屋地区の地域おこし協力隊は、任期満了後も定住する予定。

課題・検証

・上宮津地区の地域ビジョンを実践していくための役割分担や人材育成が必要
・地域おこし協力隊が、任期満了後も地域コミュニティーに参画し、安定的に定住すること

担当部署	産業経済部　農林水産課　農林水産係	TEL	0772-45-1626	78

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	有害鳥獣対策事業	充実	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	—
			総合戦略政策パッケージ	—		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
13,849 千円	73,167 千円	24,390 千円	24,390,000	20,095,903		7,643,800			12,452,103	29,917 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

H26.4～ ニホンザル宮津A群の個体数調整を実施（伊根町と共同）
H26.6　鳥獣被害対策実施隊（以下「実施隊」）を設置
H26.7～ 実施隊によるサルの追払い･捕獲活動を実施
H27.9～ 実施隊によるシカの銃器捕獲を実施
H29.3　宮津市鳥獣被害防止計画（H29～R元）を策定
R2.3　宮津市鳥獣被害防止計画（R2～R4）を策定
R2.5～ 有害鳥獣処理施設等を稼動

目的・目標

有害鳥獣被害に対応するため、駆除対策、防除対策、生息環境管理対策を、猟友会や地域と一体となって総合的に実施することにより、農林業及び生活環境への被害の低減を図る。

期待される効果等

・有害鳥獣による農林業及び生活環境への被害の低減
・営農意欲の低下や荒廃農地の発生の防止

〔市民参加の状況〕
捕獲檻の見回りやサルの追い払い活動など、地域住民が被害低減に向け取組

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■**有害鳥獣の捕獲　10,796,000円（府補助金6,892,000円）**
イノシシ、ニホンジカ、ツキノワグマ、小動物等の捕獲・処分（猟友会等へ委託）
■**鳥獣処理施設の管理運営　6,590,571円**
減容化処理による有害鳥獣処理施設、中間保管施設の運営（猟友会へ委託）
■**ニホンジカ対策の強化　946,714円（府補助金320,000円）**
市内で被害が拡大しているニホンジカの捕獲強化を継続
・メスジカ捕獲強化　狩猟期間中の捕獲に対する報奨金を支給
・鳥獣被害対策実施隊による巻き狩りを実施
■**ニホンザル対策　1,234,242円**
・宮津A群の個体数調整の実施（伊根町との共同事業）目標 20頭/群に削減
・鳥獣被害対策実施隊の定期パトロール・捕獲、追払い資材ほか
■**クマ捕獲ほか　528,376円**
・鳥獣被害対策実施隊によるクマ檻設置
・宮津市鳥獣被害対策運営協議会への補助ほか

成果

・有害鳥獣の捕獲実績（R2）

種類	イノシシ	シカ	クマ	サル	小動物	鳥類	計
捕獲頭数	599	402	21	14	132	0	1,168
前年度比	△ 34	△ 12	△ 1	+5	+32	0	△ 10

・有害鳥獣処理施設の稼働実績（R2）

処理数量	28.0トン	処理回数	178回

課題・検証

・ニホンザルの被害防止対策、急増しているニホンジカの駆除対策の強化
・有害鳥獣の捕獲に従事する担い手の確保、捕獲鳥獣のジビエ活用
・有害鳥獣処理施設、中間保管施設の効率的な安定稼動

担当部署	産業経済部　農林水産課　農林水産係	TEL	0772-45-1626	90

（単位：円）

事業名	魅力ある観光地づくり支援事業	継続	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略
			総合戦略政策パッケージ	5．時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
48,286 千円	46,514 千円	45,465 千円	56,889,000	56,323,928	6,283,000	5,959,000		30,874,000	13,207,928	36,025 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

H27.7　　：京都縦貫自動車道の全線開通
H27.7～11：海の京都博の開催
H28.6　　：（一社）京都府北部地域連携都市圏振興社（以下「海の京都DMO」）の設立
H28.8　　：（公社）天橋立観光協会が海の京都DMOに統合参画（以下「海の京都DMO天橋立地域本部」）
H29.11　　：「日本版DMO法人」に登録。福知山観光協会が統合参画し、5市2町での観光推進体制が構築

目的・目標

日本の顔となる観光地を目指すため、天橋立に代表される観光資源の活用並びに、海の京都DMO及び海の京都DMO天橋立地域本部と連携して、観光入込客の増加、観光消費額の拡大を図る。

期待される効果等

○宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI
・観光交流人口　R2:310万人（H30：約297人）
・観光消費額の拡大　R2:150億円（H30:約95億円）
・外国人観光客宿泊数　R2:6万人（H30：約4.2万人）
○先進性
海の京都DMO…観光協会を統合したDMOは全国初（H28）
天橋立観光案内所…日本政府観光局外国人案内所カテゴリーⅡに認定（H25）

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■**海の京都DMOの運営に係る負担金　17,570,000円**
海の京都エリアの観光地域づくりを進める海の京都ＤＭＯに対する負担金
【主な実績】
・海外向け商談会（12社153件）
・SNSによる情報発信の拡大
（インスタフォロワー数R1年度2,686件⇒R2年度8,017件）
・観光事業者等応援キャンペーン（クーポン利用者10,237人）

■**海の京都DMO天橋立地域本部（以下、天橋立観光協会）に対する支援　31,367,412円**
○宮津市観光振興交付金：　※19,449,000円
天橋立観光協会の運営、地域イベント支援、国内外へのプロモーション等を支援
※事業費には入湯税の減額分に係る追加支援（R3.3補正）含む
○観光情報発信補助事業：　1,350,000円
観光パンフレット（旅のかわら版）の作成、Web等メディアでの広報宣伝への支援
○天橋立駅観光案内事業：　10,568,412円
天橋立駅での観光案内業務及び外国人観光客に対する案内体制の強化への支援

■**観光分野において活躍する地域おこし協力隊の募集・活動支援　7,386,516円**
地域課題に取り組む、地域おこし協力隊2名の公募を行い、天橋立アクティビティセンターを拠点に行う活動を支援した。

成果

・海の京都DMOにより、各種調査の分析に基づいて観光プロモーション等が展開された。
・天橋立地域本部の広報宣伝活動や観光案内業務により、コロナ禍の影響下において、観光客の減少を最小限に食い止め、効率的な事業展開を実施できた。
・地域おこし協力隊による天橋立アクティビティセンターの活動を通じ、新たな天橋立の魅力づくりを進めることができた。

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］

・観光交流人口	R2目標:310万人	⇒	R2実績:214万人	※新型ｺﾛﾅの影響による減
・観光消費額の拡大	R2目標:150億円	⇒	R2実績:75.5億円	〃
・外国人観光客宿泊数	R2目標:6万人	⇒	R2実績:0.6万人	〃

課題・検証

■海の京都DMO、天橋立観光協会への支援⇒アフターコロナに向けた誘客策の実施
■地域おこし協力隊⇒任期終了後（R5.5）に向けた収益性の高い事業の展開が必要

担当部署	産業経済部　商工観光課　観光係	TEL	0772-45-1622	102

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	宮津与謝環境組合分担金等	継続	ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン重点戦略	—
			総合戦略政策パッケージ	—		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
388,213 千円	1,610,559 千円	529,942 千円	524,295,000	523,685,000		2,145,000	319,900,000		201,640,000	185,296 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H25. 4：1市2町で宮津与謝環境組合を設立。
・H25. 6：整備候補地の生活環境影響調査等実施。
・H27. 3：地元の建設同意
・H27.12：敷地造成工事着手
・H28. 4：DBO事業者と契約締結
・H28.11：敷地造成工事完了
・H29. 1：施設建設工事着手
・H31. 2：地元との施設設置協定等締結
・R 2. 4：施設試運転開始
・R 2. 6：宮津与謝クリーンセンター竣工
・R 2. 7：宮津与謝クリーンセンター稼動

目的・目標

宮津市、伊根町及び与謝野町で組織する宮津与謝環境組合において、令和２年４月からごみの全量受入を開始し、一般廃棄物の安定処理を図るもの。

期待される効果等

・資源物、廃棄物の適正処理による良好な生活環境の保全
・循環型社会及び低炭素社会の促進に寄与

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■宮津与謝環境組合分担金　518,395,000円　（本市負担割合：43.4883%）

単位：千円

	H29(決算)	H30(決算)	R1(決算)	R2(現計予算)	R3(当初予算)
組合事務局運営費	35,799	34,615	39,792	42,292	38,623
施設運営委託費	－	－	－	454,735	420,962
施設建設工事費	1,283,049	1,260,543	6,185,508	1,109,988	－
その他工事費	36,729	3,848	23,520	3,400	－
その他費用	8,680	3,292	6,814	37,527	29,693
歳出　計	1,364,257	1,302,298	6,255,634	1,647,942	489,278
市町負担金	837,969	892,684	3,703,431	1,192,032	415,276
国交付金	512,826	414,682	2,578,749	381,817	－
売電収入	－	－	－	44,999	50,000
その他収入	16,937	4,486	9,559	29,094	24,002
歳入　計	1,367,732	1,311,852	6,291,739	1,647,942	489,278
翌年度繰越金	3,475	9,554	36,105	－	－

■焼却灰等運搬業務　4,290,000円　　■地域振興交付金　1,000,000円

成果

■ごみ処理の状況（宮津市分）

区分	一般収集分	直接搬入分	合計
燃やすごみ	3,758.4トン	884.4トン	4,642.8トン
燃やさないごみ	794.4トン	117.6トン	912.0トン
資源ごみ	643.4トン	4.2トン	647.6トン
大型ごみ	18.6トン	181.2トン	199.8トン
有害ごみ	13.8トン	0.3トン	14.1トン
合　計	5,228.6トン	1,187.7トン	6,416.3トン

課題・検証

担当部署	市民環境部　市民環境課 環境衛生係	TEL	0772-45-1617	123

令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	男女共同参画推進事業	充実	ビジョン基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	4．若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		

H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
637 千円	362 千円	463 千円	963,000	788,488		352,100			436,388	974 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H11.　：男女共同参画社会基本法の公布・施行
・H13.　：配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（ＤＶ防止法）の公布・施行
・H14.　：宮津市男女共同参画基本計画-新ウインドプラン21-策定（H24.3期間満了）
・H27.　：女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）の公布・施行
・H29.3：宮津市男女共同参画基本計画～ウインドプラン2017～の策定（H29～H38）
・R元.9：京都府子育て環境日本一推進戦略策定

目的・目標

・男女の人権が等しく尊重され、喜びも責任もともに分かち合う男女共同参画社会の実現を目指す。

期待される効果等

・あらゆる分野における女性の活躍
・子育てしやすい環境の向上

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

宮津市男女共同参画基本計画～ウインドプラン2017～に基づき施策を実施
■女性団体の育成・支援　160,000円
■男女共同参画講演会の開催　38,000円
演　題「家族が笑顔になるための家事シェアのトリセツ講座 」
～効果的な家事シェアの手法～（参加者65人）
■ワーク・ライフ・バランス講演会の開催　149,858円
京都府子育て環境日本一推進戦略に呼応し、子育てにやさしい「職場づくり行動」の展開に向けて、企業経営者等を対象としたワーク・ライフ・バランス講演会を開催
演　題「企業力を高める 子育てしやすい 職場づくり」
～事例で学ぶテレワーク導入と働き方改革～（参加者23名）
■ワーク・ライフ・バランス啓発パンフレット作成・配付（1,500部）349,800円
ワーク・ライフ・バランスの必要性や企業メリット、テレワークの導入及び働き方改革の事例を内容とするパンフレットを市内の事業所に配付

※京都府「人権問題啓発事業補助金」及び「子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金」を活用

成果

■ワーク・ライフ・バランスの理解促進
ワーク・ライフ・バランス講演会受講者アンケート(回収率81%)では、参加者の94.1%がワーク・ライフ・バランスへの理解が深まったと回答

［宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略　ＫＰＩ］
■子育て応援企業の認定数
R2目標：5社 ⇒ R2実績：0社
■ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽ推進宣言企業
R2目標：60社 ⇒ R2実績：39社

課題・検証

事業所等のワーク・ライフ・バランス推進のため、先進事例やテレワーク等のより具体的な導入事例の紹介が必要

担当部署	市民環境部　市民環境課　人権啓発係	TEL	0772-45-1615	127

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	特別養護老人ホーム整備費等補助事業	継続	ビジョン基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算 ※前年度繰越含む	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
23,141 千円	9,531 千円	116,558 千円	116,558,000	115,250,750		63,377,000	43,200,000		8,673,750	8,807 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・S52.3：特別養護老人ホーム天橋園の竣工
・S63.3：特別養護老人ホーム天橋園の増築
　→H18.3：増築分をグループホーム・認知症対応型通所介護事業所に改修
・H29.9：特別養護老人ホームマ・ルート開設

目的・目標

築42年が経過し老朽化している特別養護老人ホーム天橋園等の改築により、第７期宮津市介護保険事業計画に定めるグループホームの拡大整備（定員増）を図る。また、平成29年に整備した複合型社会福祉施設マ･ルートの雇用を支援し福祉の充実及び雇用機会の拡大を図る。

期待される効果等

グループホーム入所待機者の解消及び雇用の促進・拡大を図ることができる。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■**施設整備費補助金　106,132,000円**
グループホーム等の拡大整備等を行った社会福祉法人北星会に対して補助金を交付
○整備補助金　　91,030,000円
・認知症高齢者ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ　整備後定員18名（9名増）
・認知症対応型ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ
○開設準備経費　15,102,000円［備品購入経費等］

■**雇用機会拡大補助金　1,000,000円**
介護サービス事業の開始に伴い新たに雇用された市内職員の純増数により補助金を交付し、雇用機会の拡大に努めた。
○特別養護老人ホーム及び総合実習センター「マ・ルート」

■**特別養護老人ホーム施設整備資金償還補助金　8,118,750円**
特別養護老人ホームの整備資金に係る償還金に対して補助金を交付
○社会福祉法人北星会（特別養護老人ホーム天橋の郷）
［平成18年度～令和7年度］

成果

第7次宮津市介護保険事業計画に定める整備をすべて予定通り完了し、定員増によりグループホーム入所待機者の解消に努めた。

課題・検証

担当部署	健康福祉部　社会福祉課　地域福祉係	TEL	45-1618

令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	公共土木施設災害復旧事業	継続	ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	—
			総合戦略政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する		

H30決算	R1決算	R2当初予算 ※前年度繰越含む	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
750,030 千円	714,563 千円	103,730 千円	103,730,000	96,567,100	72,256,933		22,100,000		2,210,167	－ 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

■公共土木施設の被災原因

○平成30年7月5日～8日の梅雨前線豪雨
○平成30年9月29日～10月1日の台風24号による豪雨
○度重なる災害で施工業者が不足しており、発注に遅れが生じている状況

目的・目標

集中豪雨等により被災を受けた公共土木施設（河川、道路、公園等）の早期復旧に努め、施設の機能回復を図るとともに、地域の安全と生活基盤の安定を図る。

期待される効果等

・災害復旧により被災した公共土木施設機能回復及び市民の安全安心が図れる。

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

平成30年発生災害　（単位：円）

	工種別	復旧箇所	事業費	備考
工事費	河川	3河川5箇所	79,401,500	
	道路	1路線1箇所	16,114,500	
	（小計）		95,516,000	
負担金、補助及び交付金			1,051,100	
合計			96,567,100	

成果

集中豪雨等により被災を受けた公共土木施設（河川、道路）の復旧工事により、地域の安全と生活基盤の安定を確保した。

課題・検証

全国的にゲリラ豪雨等による災害が頻繁に発生しているため、事前点検と適切な維持管理をはじめとした、公共土木施設強靭化の取組が急務である。

担当部署	建設部　土木管理課　土木係	TEL	0772-45-1629	235

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

事業名	市営住宅タヶ丘団地の建替え（市営住宅環境整備事業）	継続	ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	定住促進戦略
			総合戦略政策パッケージ	3. みやづへ人の流れをつくる		

H30決算	R1決算	R2当初予算 ※前年度繰越含む	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算 ※前年度繰越含む
314,088 千円	582,997 千円	596,613 千円	594,353,000	478,803,695	162,022,000	12,452,114	303,800,000	0	529,581	173,348 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・タヶ丘地区の公営住宅は、築50年以上経過
・H28～H29　基本設計
・H29　地質調査、実施設計
・H30～　住宅建設、既存住宅撤去

目的・目標

市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するため、宮津市公営住宅等長寿命化計画に基づき、若者世帯･高齢者世帯にとって魅力ある地域となるようタヶ丘団地を整備する。また住宅整備と併せ、市有地の有効活用を図ることで、地域の活性化、定住促進に繋げる。

期待される効果等

・老朽住宅の建替による住環境の改善
・定住人口の確保（概ね10世帯の新規入居）

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■タヶ丘団地の建替え　478,803,695円

○R2年度（現年予算分）　150,218,415円
（工事費）・住宅建設、府営住宅解体費　127,864,603円
・周辺道路整備　15,896,100円

（委託費）・工事監理、既存建物解体実施設計　6,060,700円
（その他）・備品購入費等　397,012円

○R2年度（繰越明許分）　328,585,280円
（工事費）・住宅建設、周辺道路整備　320,129,000円
（委託費）・工事監理　5,849,280円
（その他）・移転補償費、手数料　2,607,000円

成果

35戸規模の市営住宅を整備し、
・建替による移転入居：22戸（31人）
・公募による新規入居：11戸（21人）
に繋げた。

課題・検証

用途廃止予定市営住宅入居者のタヶ丘団地への移転入居の誘導

担当部署	建設部　都市住宅課　建築住宅係	TEL	0772-45-1631

（単位：円）

事業名	公共施設マネジメントの推進（土地売払収入・財産管理事業）	継続	ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	―
			総合戦略政策パッケージ	―		

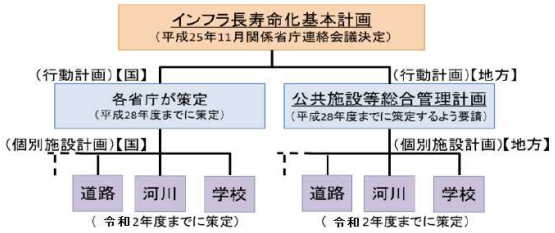
H30決算	R1決算	R2当初予算	R2最終予算額	R2決算額	財源内訳 国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	R3当初予算
― 千円	13,480 千円	9,800 千円	8,520,000	8,443,086		3,649,500			4,793,586	7,174 千円

実施前の方針等（予算説明資料から転記）

背景・経緯

・H25.11策定
インフラ長寿命化基本計画
↓
・H28.3策定
宮津市公共施設等総合管理計画策定
・R2.3策定（予定）
宮津市公共施設等再編方針書
・R2年度までに個別施設計画策定
・R3年度までに総合管理計画の改訂

【インフラ長寿命化計画の体系】



目的・目標

宮津市公共施設等再編方針書（R2.3策定予定）に定める個別施設ごとの具体の対応方針に基づき、維持・更新・廃止等に係る対策費用及び対策時期等を定める個別施設計画（投資計画）を策定し、公共施設等の適正配置と財政負担の軽減・平準化を図る。また、公共施設等適正管理推進事業債の活用には、個別施設計画への位置付けが必要なため。

期待される効果等

・公共施設の最適配置
・財政負担の軽減・平準化
・市民サービスの確保

実績、成果等（決算説明）・過去の議会からの意見及びその対応内容

事業実績

■公共施設再編方針の策定　86,806円
令和2年3月に作成した再編方針（案）に対し、市民説明会、個別説明会及び意見募集（パブコメ）において意見聴取を行い一部修正を加えた後、議会及び学識経験者や公募委員等による検討会議において意見交換を行った上で、令和2年9月に成案とした。

■個別施設計画（案）の作成　7,299,600円
施設の劣化調査、修繕・更新費用の概算事業費の試算等に係る業務を委託するとともに、公共施設マネジメント庁内検討会議において組織横断的な議論を行いながら令和3年3月に個別施設計画（案）を取りまとめた。
・業務名　宮津市公共施設個別施設計画策定支援業務（委託先：有限責任監査法人トーマツ）

■遊休市有財産の処分　1,056,680円
旧高齢者ふれあい交流施設、旧田井自然教育活用センター、旧日ヶ谷保育所の土地建物及び先着順公募の一部土地の4物件について測量調査・鑑定評価等を行った。

成果

■令和2年9月に再編方針書を策定し、議会全員協議会へ報告した。
・今後30年間で施設総量の30％削減と将来の修繕・更新費約236億円の削減見込み
・対象施設　224施設　　・計画期間　令和2年度～令和12年度

■令和3年3月に個別施設計画（案）を取りまとめた。
※その後一部修正を加え令和3年6月に成案とし、議会全員協議会へ報告した。
・施設利用者の満足度の長期安定的な維持・向上に努めるため、長寿命化等に必要な大・中規模改修を計画的に行う施設を定めるとともに、今後10年間に優先的に実施する対策とその概算費用を定めた。
・対象施設　再編方針において維持する施設とした101施設
・計画期間　令和3年度～令和12年度

■遊休市有財産の処分　土地売払収入：33,045千円
・旧高齢者ふれあい交流施設跡地は公募型プロポーザルで、安智の宅地は先着順公募により売却
した。

課題・検証

■施設所管部局において、地域や関係者と対話しながら、着実に施設再編を進める。
■第2期行財政運営指針に掲げる投資的経費の総枠の中で、他の投資的事業も含めた総合的な判断の下で長寿命化対策等を進める。

担当部署	企画財政部　財政課　資産活用係	TEL	0772-45-1611	268

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

会計名等	土地建物造成事業特別会計	設置目的	優良な宅地造成・公共用地等の造成事業の円滑な事業実施及び適正な経理を行うことを目的に設置

決　算

歳　　入①	令和2年度	令和元年度	増　減
1　事業収入	0	20,400,000	△ 20,400,000
2　国庫支出金	0	2,475,000	△ 2,475,000
3　財産収入	4,230	2,400	1,830
			0
			0
			0
			0
			0
			0
合　　計	4,230	22,877,400	△ 22,873,170

歳　　出②	令和2年度	令和元年度	増　減
1　総務費	0	0	0
2　事業費	25,000	6,570,127	△ 6,545,127
3　公債費	105,205	95,890	9,315
4　予備費	0	0	0
5　繰上充用金	142,357,480	158,568,863	△ 16,211,383
			0
			0
			0
			0
合　　計	142,487,685	165,234,880	△ 22,747,195

	令和2年度	令和元年度	増　減
翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0
実質収支（①－②－③）	△ 142,483,455	△ 142,357,480	△ 125,975

決算概要

○歳出見合いの収入（土地売払収入）が得られず、14,248万円の赤字決算となったことから、令和3年度歳入から令和2年度歳入に繰上充用を行った。

備　　考

○つつじが丘団地残区画数：33区画（73区画中40区画売却済）※令和3年5月末現在

担当部署	企画財政部　企画課　定住・地域振興係	TEL	0772-45-1607	特 1

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

会計名等	国民健康保険事業特別会計	設置目的	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者に必要な保険給付、保健事業を行う。

決　算

歳　　入①	令和２年度	令和元年度	増　減
1 国民健康保険税	396,265,690	405,461,614	△ 9,195,924
2 使用料及び手数料	175,202	188,300	△ 13,098
3 国庫支出金	3,914,000	0	3,914,000
4 府支出金	1,530,327,000	1,578,670,000	△ 48,343,000
5 財産収入	5	880	△ 875
6 繰入金	186,749,570	186,107,874	641,696
7 繰越金	17,555,406	5,361,251	12,194,155
8 諸収入	2,960,527	4,391,908	△ 1,431,381
合　　計	2,137,947,400	2,180,181,827	△ 42,234,427

歳　　出②	令和２年度	令和元年度	増　減
1 総務費	38,203,102	29,984,967	8,218,135
2 保険給付費	1,489,767,558	1,552,141,798	△ 62,374,240
3 国民健康保険事業費納付金	542,931,954	538,217,606	4,714,348
4 保健事業費	44,213,494	33,204,976	11,008,518
5 基金積立金	13,000,005	6,000,880	6,999,125
6 公債費	0	38,356	△ 38,356
7 諸支出金	4,213,493	3,037,838	1,175,655
8 予備費	0	0	0
合　　計	2,132,329,606	2,162,626,421	△ 30,296,815

	令和２年度	令和元年度	増　　減
形式収支③（①－②）	5,617,794	17,555,406	△ 11,937,612
単年度収支（③－前年度③）	△ 11,937,612	12,194,155	△ 24,131,767

決算概要

歳出においては、被保険者が引き続き減少（△1.6%）していることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関への受診者数減少に伴い１人当たりの保険給付費が減少（△1.1%）したことから、保険給付費は62,374千円の減（△4.0%）となった。国保事業費納付金は、府全体の１人当たりの医療費の増及び府全体における本市被保険者のシェア割合の増等により4,714千円の増（+0.9%）となった。保健事業費は、国保被保険者分のガン検診負担等の保健事業の拡充により、11,009千円の増（+33.2%）となった。

歳入においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した世帯を対象に減免（76件12,305千円）を行ったことから、保険税は9,196千円の減（△2.3%）となった。また、保険給付費の減等により、府支出金は48,343千円の減（△3.1%）となった。

この結果、単年度収支は、11,938千円の赤字となり、前年度繰越金を含む形式収支は5,618千円の黒字である。なお、国保事業基金は、令和2年度に13,000千円の積立を行い、年度末残高は177,194千円である。

備　　考

・年度末被保険者数　4,538人（△1.6%）　・1人当たり保険給付費（一般被保険者）320,946円（△1.1%）

担当部署	市民環境部　税務・国保課　国保年金係	TEL	45-1616	特２

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

会計名等	後期高齢者医療特別会計	設置目的	原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等、医療の適切な確保を図るため、京都府後期高齢者医療広域連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図る。

決　算

歳　　入①	令和２年度	令和元年度	増　減
1 保険料	257,574,920	230,264,584	27,310,336
2 使用料及び手数料	19,700	20,000	△ 300
3 国庫支出金	0	0	0
4 繰入金	97,689,672	88,819,011	8,870,661
5 繰越金	5,250,465	6,878,203	△ 1,627,738
6 諸収入	2,440,744	2,684,310	△ 243,566
合　　計	362,975,501	328,666,108	34,309,393

歳　　出②	令和２年度	令和元年度	増　減
1 総務費	2,518,127	2,580,065	△ 61,938
2 後期高齢者医療広域連合納付金	350,414,890	317,392,870	33,022,020
3 保健事業費	2,581,600	3,244,040	△ 662,440
4 諸支出金	656,577	198,668	457,909
5 予備費	0	0	0
合　　計	356,171,194	323,415,643	32,755,551

	令和２年度	令和元年度	増　　減
形式収支③（①－②）	6,804,307	5,250,465	1,553,842
単年度収支（③－前年度③）	1,553,842	△ 1,627,738	3,181,580

決算概要

歳出においては、保険料収入の増に伴う京都府後期高齢者医療広域連合への納付金の増（＋10.4%）により、総額として対前年比32,756千円の増（＋10.1%）である。
歳入においては、被保険者数は減少（△1.5%）となったが、保険料率の改定に伴う保険料の増等により、総額として対前年比34,309千円の増（＋10.4%）である。
この結果、単年度収支は、1,554千円の黒字となり、前年度繰越金を含む形式収支は、6,804千円の黒字である。

・年度末被保険者数　　4,125人（対前年度比△1.5%）
・1人当たり医療費（費用額）882,221円（対前年度比-5.0%）（府平均998,819円）
・新型コロナウイルス感染症の影響による減免　16件　1,095千円

備　　考

保険料率は２年ごとに改定（R2改定）

保険料率	H30・R1	R2・R3	増減
均等割率	47,890円	53,110円	5,220
所得割率	9.39%	9.98%	0.59%

担当部署	市民環境部　税務・国保課　国保年金係	TEL	45-1616	特３

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

会計名等	介護保険事業特別会計	設置目的	介護保険事業の運営を行う。

決　算

歳　　入①	令和2年度	令和元年度	増　減
1 保険料	551,319,770	571,261,245	△ 19,941,475
2 使用料及び手数料	42,210	42,900	△ 690
3 国庫支出金	746,491,655	724,047,170	22,444,485
4 支払基金交付金	740,845,211	726,328,683	14,516,528
5 府支出金	427,497,547	422,501,050	4,996,497
6 財産収入	2	984	△ 982
7 繰入金	457,743,251	438,067,218	19,676,033
8 繰越金	74,465,861	71,756,305	2,709,556
9 諸収入	1,157,559	616,094	541,465
合　　計	2,999,563,066	2,954,621,649	44,941,417

歳　　出②	令和2年度	令和元年度	増　減
1 総務費	66,018,440	69,905,218	△ 3,886,778
2 保険給付費	2,604,062,432	2,552,710,096	51,352,336
(項)介護サービス等諸費	2,349,004,229	2,299,533,105	49,471,124
(項)介護予防サービス等諸費	69,530,615	71,569,022	△ 2,038,407
3 地域支援事業費	157,199,055	171,402,290	△ 14,203,235
(項)介護予防・生活支援サービス事業費	106,508,666	114,879,820	△ 8,371,154
(項)一般介護予防事業費	493,690	873,926	△ 380,236
(項)包括的支援事業・任意事業費	49,920,848	55,364,522	△ 5,443,674
4 基金積立金	20,000,002	40,000,984	△ 20,000,982
5 公債費	45,205	71,917	△ 26,712
6 諸支出金	23,268,893	46,065,283	△ 22,796,390
7 予備費	0	0	0
合　　計	2,870,594,027	2,880,155,788	△ 9,561,761

	令和2年度	令和元年度	増　減
翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0
実質収支（①－②－③）	128,969,039	74,465,861	54,503,178

決算概要

・ 対前年度比で、歳入は1.5%増、歳出は0.3%減となった。
・ 保険料は、令和元年10月の消費税改定に伴う低所得者（第1～第3段階）に対する保険料軽減の拡充や、新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免等により、前年度比3.5%の減となった。
・ 保険給付費は一部サービスの利用増などにより増額となったが、地域支援事業費は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止したことなどにより、減額となった。
・介護保険事業の安定的な財政運営ができるよう基金の積み立てを行った。（令和2年度末基金残高 162,004千円）

備　　考

	65歳以上高齢者数	高齢化率	75歳以上高齢者数	要介護等認定者数（第1号）	事業対象者	要介護認定率
R3.3月末	7,328人	42.6%	4,112人	1,892人(支援695人、介護1,197人)	16人	26.1%
R2.3月末	7,380人	42.0%	4,169人	1,894人(支援663人、介護1,231人)	17人	25.9%
増減	52人減(△0.7%)	+0.6%	57人減(△1.4%)	2人減(△0.1%)	1人減(△5.9%)	+0.2%

担当部署	健康福祉部　健康介護課　介護給付係	TEL	45-1691	特４

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

会計名等	介護予防支援事業特別会計	設置目的	要支援１、２の認定を受けた者に対するケアプランの作成等を行う。

決　算

歳　　入①	令和2年度	令和元年度	増　減
1　サービス収入	9,676,410	9,191,150	485,260
2　繰越金	7,161,261	11,046,832	△ 3,885,571
3　諸収入		0	0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
合　　計	16,837,671	20,237,982	△ 3,400,311

歳　　出②	令和2年度	令和元年度	増　減
1　総務費	5,657,817	7,586,396	△ 1,928,579
2　事業費	4,692,772	4,490,325	202,447
3　諸支出金	1,000,000	1,000,000	0
4　予備費	0	0	0
			0
			0
			0
			0
			0
合　　計	11,350,589	13,076,721	△ 1,726,132

	令和2年度	令和元年度	増　減
翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0
実質収支（①－②－③）	5,487,082	7,161,261	△ 1,674,179

決算概要

【ケアプラン作成・給付管理実績】
南部圏域（宮津市地域包括支援センター）令和３年２月時点179人（令和２年２月時点173人）
※北部圏域（宮津北部地域包括支援センター）令和３年３月時点66人（令和２年３月時点61人）
【サービス計画数ほか】
南部圏域　延2,226件（令和元年：2,107件、平成30年：1,917件、平成29年：2,629件）　職員数　常勤５人＋非常勤５人＝10人
※北部圏域　延811件（令和元年：720件、平成30年：618件、平成29年：811件）職員数　常勤２人＋非常勤２人＝４人

備　　考

・要支援認定者数は令和３年３月末時点で695人（対前年比103.5%）、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントのサービス計画数は、南部圏域において延べ4,126件（令和元年：4,058件、平成30年：4,011件、平成29年：3,657件）、北部圏域においては延べ1,142件（令和元年：1,095件、平成30年：989件、平成29年1,061件）と年々増加している。
※宮津北部地域包括支援センターの運営費は委託料として、介護保険特別会計から支出（13,329,000円）

担当部署	健康福祉部　健康・介護課　介護予防係	TEL	0772-45-1620	特５

令和2年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

会計名等	休日応急診療所事業特別会計	設置目的	休日において医療を必要とする住民等に対し、応急的な診療を行うため、診療所を設置する。

決　算

歳　　入①	令和2年度	令和元年度	増　減
1　診療収入	1,527,925	9,629,977	△ 8,102,052
2　使用料及び手数料	0	10,800	△ 10,800
3　繰入金	7,751,000	4,755,000	2,996,000
4　繰越金	256,011	387,309	△ 131,298
5　諸収入	11,799,000	6,741,000	5,058,000
合　　計	**21,333,936**	**21,524,086**	**△ 190,150**

歳　　出②	令和2年度	令和元年度	増　減
1　診療事業	17,191,208	18,730,853	△ 1,539,645
2　公債費	2,537,222	2,537,222	0
3　予備費	0	0	0
			0
			0
合　　計	**19,728,430**	**21,268,075**	**△ 1,539,645**

	令和2年度	令和元年度	増　減
翌年度に繰り越すべき財源③	0	0	0
実質収支（①－②－③）	1,605,506	256,011	1,349,495

決算概要

【決算の特徴】
○診療体制　診療科目…内科・小児科、医師…一般社団法人与謝医師会に委託
○R2年度の診療日数　　71日（R元年度76日）
○R2年度の患者数　　217人（R元年度　1,089人）…前年比872人減（新型コロナウイルス感染症拡大の影響による受診者減）
【特記事項】
○休日応急診療所事業費分担金内訳
宮津市　建設費分　950,000円 ＋ 運営費分　6,801,000円　＝　7,751,000円
伊根町　建設費分　203,000円 ＋ 運営費分　1,251,000円　＝　1,454,000円
与謝野町　建設費分　1,385,000円 ＋ 運営費分　7,960,000円　＝　9,345,000円
○休日応急診療所整備に係る起債・償還の状況
借入額　42,500,000円（平成8年5月）、利率　3.4%、償還期間2025年度（令和7年度）まで30ヶ年

備　　考	休日における医療（内科及び小児科）を必要とする住民等に対して、適切な医療の提供が図られた。

担当部署	健康福祉部　健康・介護課　健康増進係	TEL	45-1624	特６

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

会計名等	財産区特別会計	設置目的	各財産区の円滑な運営を図る。

決　算

項　目		上宮津財産区	由良財産区	栗田財産区	吉津財産区	世屋財産区	養老財産区	日ヶ谷財産区	合計
歳入	R02決算額	18,118,534	586,622	3,764,472	3,172,157	225,086	670,579	306,799	26,844,249
	R01決算額	14,056,166	520,635	1,269,059	3,161,504	170,356	1,156,881	279,318	20,613,919
	増減額	4,062,368	65,987	2,495,413	10,653	54,730	△ 486,302	27,481	6,230,330
歳出	R02決算額	17,891,769	24,000	3,662,101	107,401	65,316	89,502	19,750	21,859,839
	R01決算額	4,144,688	24,013	705,086	594,150	77,918	614,853	22,519	6,183,227
	増減額	13,747,081	△ 13	2,957,015	△ 486,749	△ 12,602	△ 525,351	△ 2,769	15,676,612

○増減の主な理由

・上宮津、栗田財産区：〔歳入〕基金繰入に伴う増
〔歳出〕被災した管理道路、山腹の保全工事の実施に伴う増

決算概要

○上宮津財産区においては、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター（旧：緑資源機構）との分収造林事業(保育除伐)を実施し、森林資源の保全、水源かん養及び土砂流出の防備等に努めた。また、被災した管理道路の復旧を行った。
○栗田財産区においては、被災した山腹法面の復旧を行った。
○適正な財産区の管理運営及び適切な森林管理が図れた。

備　考

担当部署	産業経済部　農林水産課　産業基盤係	TEL	45-1627	特７

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

会計名等	水道事業会計	設置目的	安全でおいしい水を供給する

決　算

事業収益（３条）①	令和２年度	令和元年度	増　減
1 営業収益	420,608,098	403,586,809	17,021,289
給水収益	418,199,706	401,145,854	17,053,852
2 営業外収益	199,168,246	146,045,989	53,122,257
他会計補助金	63,337,000	22,633,000	40,704,000
長期前受金戻入	68,688,270	71,607,933	△ 2,919,663
資本費繰入収益	54,105,000	44,918,000	9,187,000
合　計	619,776,344	549,632,798	70,143,546

事業費用（３条）②	令和２年度	令和元年度	増　減
1 営業費用	495,364,177	511,652,579	△ 16,288,402
原水及び浄水費	122,146,943	125,444,811	△ 3,297,868
配水及び給水費	39,959,483	41,771,573	△ 1,812,090
総係費	68,646,236	56,714,238	11,931,998
資産減耗費	995,540	22,266,554	△ 21,271,014
2 営業外費用	53,860,123	61,723,175	△ 7,863,052
支払利息	52,234,921	56,248,358	△ 4,013,437
3 特別損失	29,819	905,999	△ 876,180
合　計	549,254,119	574,281,753	△ 25,027,634

資本的収入（４条）③	令和２年度	令和元年度	増　減
1 企業債	162,400,000	169,300,000	△ 6,900,000
2 加入負担金	4,598,000	6,310,720	△ 1,712,720
3 国庫補助金	8,479,000	5,230,000	3,249,000
4 他会計補助金・出資金	1,110,000	1,004,000	106,000
5 その他	0	0	0
合　計	176,587,000	181,844,720	△ 5,257,720

資本的支出（４条）④	令和２年度	令和元年度	増　減
1 建設改良費	235,302,588	199,927,295	35,375,293
拡張改良費	114,645,480	122,739,093	△ 8,093,613
浄水場整備費	108,359,900	51,179,700	57,180,200
災害復旧費	0	13,768,100	△ 13,768,100
2 企業債償還金	218,715,531	195,756,312	22,959,219
合　計	454,018,119	395,683,607	58,334,512

	令和２年度	令和元年度	増　減
収益的収支差引（純損益）①-②	70,522,225	△ 24,648,955	95,171,180
資本的収支差引　③-④	△ 277,431,119	△ 213,838,887	△ 63,592,232

※上段（収益的収支）は税抜き額
　下段（資本的収支）は税込み額

決算概要

【決算の特徴】
＜収益的収支＞
・水道料金改定による給水収益の増に加え、新型コロナウイルス感染症に係る減免（10月～12月）分を一般会計から繰り入れたことによる事業収益の増、水道管移設の減少に伴う資産減耗費の減などによる事業費用の減により、収支差引は、対前年度比95,171千円の増となる70,522千円の純利益を計上することとなった。
＜資本的収支＞
・企業債借入れの減や石綿管布設替の全域完了（拡張改良費）及び上宮津浄水場改修工事の着手及びその他の浄水場の設備更新（浄水場整備費）などにより、収支差引は、対前年度比63,592千円の減となる277,431千円の不足となった。

備　考

・令和２年度末起債残高：3,971,102,661円（対前年度比　△56,316千円）
・令和２年度の純利益の内、70,000千円については、建設改良積立金に積立予定。
・資本的収支の不足額については、消費税調整額（18,583千円）、損益勘定留保資金（258,848千円）で補てんした。

担当部署	建設部　上下水道課　管理係	TEL	45-1635	特８

令和3年9月定例会　　令和2年度決算　事業等説明資料

（単位：円）

会計名等	下水道事業会計	設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る

決　算

事業収益（３条）①	R2決算額	R2最終予算額	増　減
1 営業収益	240,207,656	259,629,000	△ 19,421,344
下水道使用料	239,582,398	259,244,000	△ 19,661,602
2 営業外収益	616,816,746	620,071,000	△ 3,254,254
他会計補助金	419,557,000	419,557,000	0
国庫補助金	650,000	1,000,000	△ 350,000
長期前受金戻入	181,709,005	181,708,000	1,005
資本費繰入収益	14,720,841	6,325,000	8,395,841
3 特別利益	15,708,640	10,510,000	5,198,640
合　計	872,733,042	890,210,000	△ 17,476,958

事業費用（３条）②	R2決算額	R2最終予算額	増　減
1 営業費用	735,559,980	770,933,000	△ 35,373,020
管渠費・ポンプ場費	23,857,039	34,635,000	△ 10,777,961
流域下水道維持管理費	248,334,849	271,729,000	△ 23,394,151
総係費	23,904,416	24,402,000	△ 497,584
減価償却費	438,163,676	438,167,000	△ 3,324
2 営業外費用	127,427,623	119,802,000	7,625,623
支払利息及び企業債取扱諸費	118,296,403	118,292,000	4,403
3 特別損失・予備費	3,477,584	8,352,000	△ 4,874,416
合　計	866,465,187	899,087,000	△ 32,621,813

資本的収入（４条）③	R2決算額	R2最終予算額 ※前年度繰越含む	増　減
1 企業債	419,600,000	575,200,000	△ 155,600,000
2 負担金	28,145,369	15,672,000	12,473,369
3 国庫補助金	33,247,320	31,397,320	1,850,000
4 他会計補助金	98,269,000	98,269,000	0
合　計	579,261,689	720,538,320	△ 141,276,631

資本的支出（４条）④	決算額	R2最終予算額 ※前年度繰越含む	増　減
1 建設改良費	161,116,981	211,421,000	△ 50,304,019
公共下水道費	115,379,663	163,929,000	△ 48,549,337
流域下水道費	45,737,318	47,492,000	△ 1,754,682
2 企業債償還金	717,765,049	717,766,000	△ 951
合　計	878,882,030	929,187,000	△ 50,304,970

	R2決算額	R2最終予算額	増　減
収益的収支差引（純損益）①-②	6,267,855	△ 8,877,000	15,144,855
資本的収支差引　③-④	△ 299,620,341	△ 208,648,680	△ 90,971,661

※上段（収益的収支）は税抜き額
　下段（資本的収支）は税込み額

決算概要

【決算の特徴】
○収益的収支…新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊事業所等の大口使用者の使用水量が減少したことに伴い、年間有収水量が減少したものの、流域下水道維持管理負担金の減や令和元年度の下水道事業特別会計の打ち切り決算により、消費税還付金を本年度に受け入れたことに伴う特別利益が増となったことなどから、損益計算では6,268千円の純利益を計上することとなった。
○資本的収支…令和元年度末において下水道施設整備は概成したものの、関連する舗装工事等を令和２年度に繰越して実施したこと等により、収支差引は、299,620千円の不足となった。

備　考

・令和２年度から公営企業会計を適用したことから、令和２年度決算額と最終予算額との比較とした。
・事業費用（3条）2営業外費用の決算額については、特定収入（補助金等）をもってまかなわれた資本的支出に係る控除できなかった地方消費税等を含む。（予算経理なし）
・令和２年度末起債残高：9,362,795,569円（対前年度比　△229,265千円）
・資本的収支の不足額については、消費税調整額（13,847千円）、損益勘定留保資金（285,773千円）で補てんした。

担当部署	建設部　上下水道課　管理係	TEL	45-1635	特９